

地方史情報 140

2019年11月

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	富山県	68	島根県	105
青森県	6	石川県	69	岡山県	106
宮城県	7	山梨県	71	広島県	110
秋田県	10	長野県	71	徳島県	112
山形県	11	岐阜県	77	愛媛県	113
福島県	11	静岡県	78	福岡県	114
茨城県	12	愛知県	82	佐賀県	116
栃木県	16	三重県	86	長崎県	116
群馬県	17	滋賀県	88	熊本県	117
埼玉県	21	京都府	89	宮崎県	117
千葉県	22	大阪府	92	鹿児島県	119
東京都	29	兵庫県	99	沖縄県	120
神奈川県	55	奈良県	102	寄贈図書	121
新潟県	65	和歌山県	104		

北海道

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目1-1 コーポ望 TEL011-299-6834
年5000円

◇72 2019.3 B5 6p

アイヌ民族新法、年度末成立確定

第23回アイヌ語地名研究大会 開催概要きまる／「アイヌ語正典」を
考える、地名サロン開催

伝説に出てくる巨鳥 フリーの話

追悼 明石一紀氏の報に接して

山下 栄光

中野 良宣

◇73 2019.4 B5 6p

アイヌ民族新法成立 「先住民族」明記、地域振興に交付金
もっと知りたいアイヌの心(1)

渡辺 隆
佐賀 彩美

◆浦幌町立博物館紀要

〒089-5614十勝郡浦幌町桜町16-1 TEL015-576-2009 2001年創刊
<http://www.urahoro-kyouiku.jp/education/>

◇19 2019.3 A4 32p

浦幌町立博物館所蔵の2018年度収蔵の蝶標本
厚内神社史
採集記録・観察記録

荒川 和子
木下茂／持田誠

北海道十勝地方からマルミノウルシを記録する 持田誠／池田守／池田順子
豊北海岸における外来種ブタクサの記録 持田 誠
資料紹介 大正十五年・昭和元年 教育雑件 浦幌村役場(4)
三浦直春・大和田努 解説

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11 TEL011-761-8014
年3000円 1985年創刊 <https://tonden.org/>

◇65 2019.5 B5 80p 1000円

巻頭言 巻頭『屯田』に思う
子思孫尊 貴重な遺品発見、ルーツに迫る
山鼻屯田兵五世 岩崎友紀さん
屯田兵と西郷隆盛の3通の手紙

後藤 良二
聞き手・梶田博昭

一西南戦争から141年、山鼻の子孫宅で発見
会津まつり藩公行列に出陣す
表紙から 『少年輝く白虎隊』

梶田 博昭
永峰 貴

昭和6年刊、著者・高木英一郎、発行・大同館書店
兵村の歴史 屯田永山村命名130年
屯田兵村ってどこにあるの？
屯田兵のデザイン考

鈴木 庄一
有馬 尚経

草鞋(旭川兵村記念館展示) 西南戦争で活躍した秘密兵器
古地図の散歩道 北海道石狩川図(山鼻屯田子孫所蔵) 明治8(1875)
年・開拓使地理課 石版・縦57cm横52cm

開拓の道筋を付けた三角測量
歴史探訪 松浦武四郎の生誕地 生家を訪ねて

宮内 隆一
武石 詔吾

屯田兵の父 永山武四郎の生涯を辿る(下) 北国 諒星
 一節抜粋 北国諒星著『青年公家・清水谷公考の志と挫折』(K)、関
 秀志編『札幌の地名がわかる本』(E)
 東京で百二十回忌法要 黒田清隆の遺徳を偲ぶ
 幻の名馬物語 (K)

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇372 2019.3 A4 8p

天塩川歴史資料館に託された想い 野崎 浩宜
 リニューアルオープン 旧永山武四郎邸と旧三菱鉱業寮 角 幸博
 北海道天然記念物展示館「沼田町化石体験館」開館10周年記念講演会 木村 方一
 江差追分札幌コンサート 舟山 廣治
 地震に耐えた「ホバツアラキリュウ」 櫻井 和彦
 「カツゲン」ことはじめ 雪印メグミルク(株)広報 I R 部 酪農と乳の歴史館
 古文書の魅力ー学芸員としてのこれまでの経験から 三浦泰 之
 博物館ひろば 歌オプナ林天然記念物指定90周年
 黒松内町ブナセンター 齋藤 均

◇373 2019.4 A4 8p

史跡キウス周堤墓群の継承 豊田 宏良
 新年度協会事業 多彩に保護・啓発
 昭和の記憶・平成の記録に文化財保護を想う 舟山 廣治
 シリーズ・伝える 汽笛が運んだ、文化と歴史の継承 横山 貴志
 国、道文化財の新指定 国指定重要文化財(歴史資料の部) カラフト
 ナヨロ惣乙名文書／国登録有形文化財(建造物) 札幌市旧三菱鉱業
 寮／道指定無形民俗文化財(風俗習慣) 姥神大神宮渡御祭
 武四郎の記念説明板設置 山仁郷土史研究会 中野 良宣
 地域の力が見つけた〈金〉の刀 オホーツクミュージアムえさし 高島 孝宗
 博物館ひろば 札幌の魅力 自然史から伝える
 札幌市博物館活動センター 山本 麻衣

◆北海道立北方民族博物館研究紀要

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1992年創刊

<http://hoppohm.org>

◇28 2019.3 B5

特集

人新世の北方漁業史：変わり続ける環境と社会に生きる北方民族 近藤 祉秋
内陸アラスカ・クスコティム川上流域におけるサケ漁業史と現代的課

題 近藤 祉秋
社会・環境適応におけるハンティの内水面漁撈の柔軟性 大石 侑香
トゥパ人の狩猟採集活動：モンゴル国北部タイガ地域における一事例

西村 幹也

中央ヤクーチア・チュラプチャ郡のウマ牧畜におけるアラスの重要

性と環境変化の影響について

中田篤／ステパン・グレゴレフ

日本人によるアリユート民族の研究(1)

春日部薫著『アリユート族に関する報告』(1943年)と注釈 野口泰弥／大島稔
資料紹介

サハリン島で発見された常平通寶の成分分析

中村和之／三宅俊彦／村串まどか／小林淳哉／セルゲイ V.ゴルブーノフ

北海道立北方民族博物館所蔵コリヤーク・コレクション公開の新たな

な試み：SNSを利用した現地との双方向的情報交換 呉人恵／笹倉いる美
資料 のりすと2018—北方研究データベース 笹倉いる美

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでる2・7ビル9階 TEL011-271-4220

1961年創刊 <http://hokkaido-bunkazai.jp>

◇91 2019.3 A5 80p

表紙写真解説 小樽市総合博物館運河館トピック展「史上初公開！タ

カシマアイヌを描いた絵巻物」

「創成川イースト」に思うこと

住吉 徳文

西蝦夷地タカシマのアイヌ民族を描いた絵巻物

菅原 慶郎

中世アイヌの戦いと二つの文獻

—『新羅之記録』と『新羅大明神御縁起』

関口 明

ニッポンサウルスからむかわ竜へ

木村 方一

占領下での開道八十年記念事業—昭和二十三年の北海道の歴史と展望

鈴木 仁

1945年8月15日の北海道の天気

山本 竜也

北海道一五〇年北海道(命名)の謎を探る

鈴木 博

大正五年の住宅地図

橋本とおる

重要文化財「八千代遺跡出土品」

森 久大

◆北方民族博物館だより 北海道立北方民族博物館

〒093-0042網走市潮見309-1 TEL0152-45-3888 1991年創刊 <http://hoppohm.org>

◇112 2019.3 A4 8p

企画展 融ける大地 温暖化するシベリア・中央ヤクーチア	中田 篤
講座 北海道博物館紀行「三浦綾子記念文学館」 講師：田中綾氏	笹倉いる美
講座 世界のサケマス事情 講師：市村政樹氏	中田 篤
ロビー展 ロシアのバッジコレクション	笹倉いる美
講座 知床の先史時代 講師：松田功氏	笹倉いる美
講座 北方民族の文様入門 講師：笹倉いる美	笹倉いる美
講座 A Iで色づけされた思い出の網走オホーツク	
講師：宇仁義和氏	笹倉いる美

◆茂呂瀾 室蘭地方史研究 室蘭地方史研究会

〒051-0002室蘭市御前水町3-5-7 関村和義方 TEL0143-24-0872 年3000円

◇53 2019.3 A5 118p 1000円

表紙解説 表紙絵に寄せて 室蘭市青少年科学館で展示されている蒸

気機関車(S L)「D51 560」 三木真由美

巻頭言 故本野里志会長に捧ぐ 関村 和義

追悼文

古代赤米復元の思い出―追悼・本野里志会長 久末 進一

本野里志先生のこと 松田 宏介

本野先生と研究会の旅 森 君江

島崎藤村の生涯を探る(1872年～1943年) 福田 隆三

鐵づくりの夢を捜す 久末 進一

栗林家の歴史紹介(2) 栗林商会と系列事業の盛衰 花田 敏行

室蘭の造り酒屋―津田酒造関連資料について 谷中 聖治



本室蘭小学校旧蔵 小野潭絵画資料報告
谷元旦のモロラン画稿
添田家文書を読む(7)
路傍の石標(2) 歴史的古道に「北海道」

松田 宏介
菊谷 彰
野尻 和朗
成田 弘

＊2018年3月に87歳で逝去された室蘭地方史研究会会長本野里志氏を追悼する。
本野氏は1970年、室蘭市内の道立清水ヶ丘高校教諭時代に同会に入会し、幹事、副会長を歴任し、会長として後進の指導に当たっていた。1985年の同会25周年の折には、清水ヶ丘高校郷土研究部の生徒を率いて市内の神社69社を調査し『室蘭の神社と祭り』をまとめた。また、『新室蘭市史』第6巻の編集委員を務めた。
久末進一氏は、1994年に同氏が室蘭文化連盟会長として室蘭・清水市姉妹都市交流会に出席した折りに、清水市立登呂博物館から古代赤米復元種粳の提供を受け、室蘭市の農水関係者や教育委員会を説得して、実験用水田で発芽させたエピソードとその意義を記す。

会長代行の関村和義氏は巻頭言で、本野氏が戦時中に飛行場製作作業などに従事した体験から、軍国教育を行う時代は絶対に抑えなければいけないと訴え続けたことを紹介し、この思いを後世に伝えることも会の永遠の課題であると述べる。是非この遺志を継いで欲しい。

青 森 県

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会

〒033-0022三沢市字園沢219-211 小比類巻満方 TEL0176-54-2583

2005年創刊

◇15 2019.3 B5 108p 1000円

《創立15周年記念特集 私が所帯をもった頃》

口絵 岡三沢神楽

解説・山本優

『上北新誌』に見る大正十四年の三沢(1)

故 河村 員伸

三沢村ものがたり(1)

米田 清蔵

創立十五周年記念特集 私が所帯をもった頃

前書き

編 集 子

私が所帯を持った頃

赤沼 晃

私の所帯を持った頃

津島 光

東京での体験記―結婚するまでの私

中里 豊子

昭和三十七年十一月

小比類巻満

私の新婚時代(三沢二中の五年間)

傳法 穎司

フジ製糖工場閉鎖と私が結婚した頃

馬場 操

三沢郷土史研究会十五年間を振り返る	中里 豊子
昭和十年代の谷地頭(夢心地で…)	沼田 石
パラムシリ(幌筵)島漂着記	皆川 勝信
市立岡三沢小学校校歌制定の経緯余話	小比類巻みつる
上北地方・市町村の変遷	小比類巻みつる

「三沢のむかしを語る会」(8)―三沢の方言を語ろう
 記録「三沢の方言を語る会」〔三沢の方言を語ろう〕
 基調となる話：馬場操／語る人：中里豊子・赤沼晃・種市嗣彦／司会：小比類巻満／記録：及川光男／受付：中里豊子
 感想文「三沢の方言を語る会」―三沢の方言を語ろう―に参加して
 坂本和子／赤沼晃／及川光男／石橋達夫
 ／山崎等／沼田石／種市嗣彦／中里豊子
 「北方領土交渉」について (みなかわ)
 童謡「ふるさと」考 (みつる)
 会報(第141号～第150号)

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

◇146 2019.3 B5 96p

元禄八・九年飢饉下の弘前藩における牢死について(下)	舘山 誠
生類憐みの令と弘前藩	篠村 正雄
「天気不勝」と自然の回復―天明飢饉後の豊穰祈念と除災の発源	浪川 健治
明治維新时期成立大名における隣藩関係―七戸藩を事例に	中野渡一耕

書評と紹介

六ヶ所村「尾張の牧」歴史研究会編『尾駁の駒・牧の背景を探る』	福田 友之
小口雅史編『律令制と日本古代国家』	十川 陽一
原口耕一郎著『隼人と日本書紀家』	遠藤 慶太
八戸の歴史叢書『八戸藩遠山家日記』第七卷	本田 伸
『青森県史 通史編1 原始・古代・中世』(第三章～第六章)	永田 英明
講演要旨『自然と政治の imbalance ―「天気不正」と「死刑除日」』	浪川 健治

宮 城 県

◆道鏡を守る会通信

〒989-6156大崎市古川西館3-4-35 本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円

◇2019-5A 2019.5 A4 2p

久しぶりに晴天下の道鏡禅師供養祭

宇佐八幡神託事件1250年探訪旅行／訃報 1月 佐伯眞登さんご急逝
「孝謙」、「称徳」の意味は？／道鏡は梵文にわたる(道鏡伝)／もし長
屋親王系が立つなら!?

◇2019-5B 2019.5 A4 2p

《3.11後の今Ⅲ》

大川小へ(2018.3)／大川小の事故がつきつけるもの／「NYから「忘
れない」」(朝日新聞関西版 2019.3.11)

離島振興のモデルだった旧魚島村最後の村長さん(弓削通信より)／佐
伯眞登氏を偲びながら／8年めの3.11(ニュースから)

◇臨時号 2019.5 A4 2p

講師 樋口薫さんに地中から見えてくる道鏡を

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室

〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科

Tel.022-795-6022 2005年創刊

◇14 2018.12 A5 202p

ポーランドにおける宗教と政治ーポーランド政府の共産主義政策にお
けるキリスト教的な観念と象徴 マルチン・シリェツキ／山田仁史・訳
岩手県江刺人首のキリスト教ー新たな教会の成立と信者数の変遷から

垣間見える時代背景

及川 宏幸

臨床宗教師活動を促進ないし阻害する諸条件

ー活動場所・時間・経済・健康の側面から

張 晨陽

〈東北大学形成期〉の解剖体慰霊の実態

ー『解剖體霊祭書類』を手掛かりに

田淵 彩加

「嬰霊」に関する信仰への通時的考察：

崇る胎児像と産死者救済儀礼から

陳 宣聿

仙台市における東北大学ムスリム留学生の一日五回礼拝の実態調査

アンディ・ホリック・ラムダニ

フィールド報告 「被災」する「研究者」

ー東日本大震災とネパール大震災を経て

工藤さくら

想い出の場所 チャクマ族の山村

谷山 洋三

◆東北文化研究室紀要

〒980-0862仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 1959年創刊

◇60 2019.3 B5 34p

鹽竈神社と吉見幸和

城所 喬男

怨霊の神格化—和霊信仰を事例に

劉 建華

2018年度東北文化研究室公開講演会

今、方言とどう向き合うか—実践方言学の世界

趣旨説明 実践方言学の世界

小林 隆

講演1 方言をどう生かすか—教育・継承の現在

竹田 晃子

講演2 方言で安心・安全—医療・看護・福祉と方言

今村かほる

◆史の杜 上廣歴史資料科学研究部門ニューズレター

東北大学東北アジア研究センター

〒980-8576仙台市青葉区川内41 Tel022-795-3196/022-795-4140

2013年創刊 <http://uehiro-tohoku.net>

◇7 2019.3 A4 8p

古文書のひろば

旧仙台藩領温泉古文書の活用と保存

高橋 陽一

譜代大名を支える家臣の日常業務

藤方 博之

御舟入堀に架設された大代浮動橋と賃銭橋

—宮城県県庁文書と渡辺家文書を通して

高橋 守克

史料保全の現場から 仙台藩砲術師範家に残された扁額をめぐる雑感

後藤 三夫

◆歴史 東北史学会

〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大学院文学研究科 日本史研究室

Tel022-217-6064 年4000円 1949年創刊

<http://www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/>

◇132 2019.4 A5 112+12p 2100円

自然と政治の imbalance —「天気不勝」と「死罪除日」

浪川 健治

「漢高体制」への一、二の視点

佐々木仁志

学会参加記 19世紀史のなかの明治維新：貫維新史を考える視角とし

ての「地域」—国際会議“Meiji Conference”から

石井章子／ティモシー・エイモス

報告

岩手県歴史民俗ネットワークの近年の活動

八木 光則

NPO法人宮城歴史資料保全ネットワークの被災史料レスキュー

佐藤 大介

山形県文化遺産防災ネットワークの活動から見えた課題

小林 貴宏

ふくしま歴史資料保存ネットワークの活動報告

阿部 浩一

書 評

青森県史編さん通史部会編『青森県史 通史編Ⅰ 原始・古代・中世』

吉田 敏／岡田清一

深井甚三著『加賀藩の都市の研究』

井上 拓巳

渡辺健哉著『元大都形成史の研究—首都北京の原型』

久保田和男

新宮学著『明清都市商業史の研究』

大田由紀夫

公開講演 2018年度東北史学会大会 公開講演要旨

自然と政治の imbalance —「天気不勝」と「死罪除日」

浪川 健治

ペンタルキア考—ヨーロッパ世界とキリスト教の五本山

大月 康弘

秋 田 県

◆秋田地名研究年報 秋田地名研究会

〒019-2112大仙市刈和野愛宕下167 新谷正隆方 年2500円 1985年創刊

◇32 2018.8 A4 23p 500円

ムラの序列と阿仁地方の村落名—「内」地名を農村社会学から探る

木村 清幸

「穂田原」と「於園」の地名—八幡神人の開発地名か

木村 清幸

地名文字の変移が示す“能代”の歴史

渡部 耕輝

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会

〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化出版内 TEL018-864-3322

年4000円 1974年創刊

◇125 2019.3 B5 4p

手指の算数

石郷岡千鶴子

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会

〒011-0909秋田市寺内児桜1-5-55 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333

1981年創刊 <http://w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html>

◇92 2019.5 B5 55p

真澄と寺内—墓碑が伝える真澄の故郷

石田 冲秋

随筆『筆のままに』における本居宣長の援用

金児 紘征

真澄が記録した小正月行事(3)—小正月の訪問者を読み解く

菊地 利雄

口承文芸研究史のなかの菅江真澄—世間話

星野 岳義

『ひろめかり』における図絵の配列について

清水川 修

真澄の一枚(24) 雪国の乾燥用具と保育用具

『粉本稿』より(大館市立栗盛記念図書館提供)

菊地 利雄

山 形 県

◆山形史学研究 山形史学研究会

〒990-0021山形市小白川町1-4-12

山形大学地域教育文化学部 歴史学研究室内

◇46 2018.8 A5 69p

明治一九年における山形県のコレラ流行

竹原 万雄

元禄期、村の負担軽減運動と新百姓取立

一出羽国村山郡山形藩領の村を事例として

森谷 圓人

近世酒田薬種商人の動向—大坂道修町薬種問屋との関係

小野寺雅昭

満洲開拓民送出と山形県—加藤完治の成功体験

三原 容子

紹介 須崎寛二編『羽州村山郡山辺郷杉下村資料集』

佐藤 継雄

福 島 県

◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会

〒963-8876郡山市麓山1-8-3 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306

1965年創刊

◇49 2019.3 A5 56p

阿武隈川の渡船場運営と役割について

柳田 和久

高持百姓だった郡山生まれの著名な俳人 佐々木露秀の家業と家系図

および墓

庄司 一幸

上杉の長城伝説について

広長 秀典

遺構紹介 守山藩の岩作戊辰陣場

広長 秀典

平成30年度史跡巡り 会津中街道・原方街道の舟運・陸運の様子と戊

辰戦争の戦跡を訪ねる

濱津 太

◆福島県民俗 福島県民俗学会

〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 TEL0242-28-6000

年4000円 1973年創刊 <http://fukushimafolklore.jimdo.com>

◇47 2019.3 A5 170p

2018年度公開講演会 特色のある福島県のはやま信仰(1)

—浜通つりの事例から

鈴木 昭英

『会津農書』にみる大豆の栽培と民俗

佐々木長生

川内村における正月行事の変化—近代化・震災を契機とした生活変容

金子 祥之

いわき市勿来町「國魂神社」の酒造りと粕摺み神事について

合原香須美

二本松神社例大祭

郭内太鼓台新調当初の話

喜古 康浩

オソフキ峠の山犬供養塔

佐藤 義正

じゃんがら念仏踊りにおける供養のかたち

—新盆まわりと復興関連イベントの比較から

齋藤りほん

資料紹介

史料 四家家『定例帳』

四家 久央

山口弥一郎の岩手県旧綾里村における津波調査ノート(1935年)につ

いて

辻本 侑生

民俗短信

福島県が生んだ古田武彦

菅野 拓

二本松神社例大祭の郭内若連会の六〇年記念式典

喜古 康浩

書評・書誌紹介

東京文化財研究所無形文化遺産部編『かりやど民俗誌 福島県双葉

郡浪江町菟宿地区』

大里 正樹

文化庁文化財部伝統文化課発行『平成二十八年度 変容の危機にあ

る無形の民俗文化財の記録作成の推進事業 小浜長折の三匹獅子

舞』

山口 拡

会津の御田植祭調査委員会編『会津の御田植祭』

内山 大介

赤沼博志『会津手語り 鍛冶屋編』

内山 大介

菅家博昭『地域資源を活かす 生活工芸双書 苧』

佐々木長生

伊達市教育委員会編『伊達地方の蚕種・養蚕・製糸関連用具(伊達

市文化財調査報告書第一集)』

岩崎 真幸

茨 城 県

◆現代民俗学研究 現代民俗学会

〒305-8571つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院人文社会科学研究科

歴史・人類学専攻内 2008年創刊

◇11 2019.3 B5 116p

郊外社会における民俗行事のあり方の多様化と近隣組織

—八王子市堀之内におけ道祖神祭の変容を事例として

岡田 航

コメント

徳丸 亜木

国立ハンセン病療養所栗生楽泉園の患者作業運営に見る制度的交渉	桜木真理子
つながりの中で生まれる技—神道香取流にみる技の復元	田邊 元
信仰に対する思考—佐渡島におけるムジナをめぐる民間信仰の民俗誌	山岸 哲也
干拓地の入植集落における民俗の生成について	
—滋賀県琵琶湖大中の湖干拓地の事例から	橋本 章
保養の想像としての現代の湯治—肘折温泉郷の事例	永岡 圭介
「復興儀礼」とは何か—「制作論的転回」と「復興コミュニティをデザインする知」をめぐる(木村周平・辻本侑生著「地域社会の災害復興と「復興儀礼」—津波被災地のある「失敗」事例から—『現代民俗学研究』10掲載論文へのコメント)	山 泰幸
災害復興を担う主体をめぐる	
—岡村健太郎『「三陸津波」と集落再編』を端緒に	辻本 侑生
2018年度年次大会記録	
趣意書 「科学的なもの」を民俗学する	
—「荒野」を「沃野」に変えていくために	廣田 龍平
コーディネーター報告	
「生きられたもの」としての科学を対象化する試みに向けて	廣田 龍平
第40回研究会記録	
趣意書 「競い」の光景—祭礼・芸能・スポーツ研究を展望する	伊藤 純
第1報告 「競い」にみる祭芸分離の諸相	伊藤 純
第2報告 綱引きからみるスポーツと民俗の間	中里 亮平
第3報告 「技法の復興」を目指す人々	田邊 元
コーディネーター報告	伊藤 純
第41回研究会記録	
趣意書 ジェンダー・セクシュアリティからみる近現代	
—民俗学と歴史学の視点から	菊田 祥子
第1報告	
日本都市の祭礼・祝祭にみるジェンダー・セクシュアリティ	菊田 祥子
第2報告 女兒の性的早熟論と植民地主義・帝国主義	
—利用される女兒のジェンダー・セクシュアリティ	小泉 友則
コーディネーター報告	菊田 祥子
第42回研究会記録	
趣意書 「憑きもの」研究の現代的可能性を探る	梅原潔／島村恭則
議論の概要	梅原潔／土取俊輝
第43回研究会記録	

趣意書 ヴァナキュラー文化研究の輪郭線	
ー野生の文化を考える、野生の学問を考える	菅 豊
イントロダクション 導入・ヴァナキュラー文化研究	
ー多義的で曖昧でふくよかな概念の輪郭線	菅 豊
第1報告 ヴァナキュラーの視点とその意義	小長谷英代
第2報告 ヴァナキュラー文学の研究手法	
ー『ヴァナキュラー文化と現代社会』のエッセンスと主張	ウェルズ恵子
コーディネーター報告	
実体的ヴァナキュラー文化研究へ向かって	菅 豊
2018年年次大会発表要旨 郊外における民俗行事の方向性の多様化と	
担い手の論理ー八王子市堀之内の道祖神祭りを例として	岡田 航
掲載論文訂正 『現代民俗学研究』第9号掲載論文 野口憲一著「「科学的農業」における人間性ーコンピューター管理によるイチゴの高	
設養液栽培の事例からー」について	菊池健策／徳丸亞木

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会

〒304-0056下妻市長塚乙77 TEL0296-43-3418 1976年創刊

◇44 2019.5 A5 129p

表紙の写真 下妻市指定文化財 考古資料「下栗法光寺の板碑 二面」	
新たに求めるもの	落合 幸雄
人はどう変わっていくのか	川口 浩己
下妻一高の樹木について	細野 晃一
便利さとそのリスク	根本 桂二
民俗資料調査員を受けて	齋藤 修一
Think Globally Act Locally	横瀬 晴美
夏祭り雑感(五所神社祭礼の思い出)	大塚 武彦
「広報しもつま」の創刊六十五年に寄せて	倉持 総男
読書ーその思い出	國府田 晋
福井県に所在する多賀谷三経ゆかりの地について	佐久間秀樹
伝統文化の体験出前講座に参加して(下妻市立豊加美小学校)	山中祐子(素祐)
猫明神	粉川 孝
村落の生み出す底力	植木 正明
灯籠流し	飯田みつ江
冬枯れの鬼怒川文学散歩	塚越 節
唐崎遺跡と豊田川	中島 成行
『源氏物語』の秘密	笠島 明

◆常総中世史研究 茨城大学中世史研究会

〒310-8512水戸市文京2-1-1 茨城大学人文学部 高橋修研究室

TEL029-228-8120 2013年創刊

◇7 2019.3 A5 179p 500円

鎌倉後期の「ゐ中」と「かまくら」

一長福寺本尊地藏菩薩坐像胎内文書から

笹岡 明

中世の水戸城と城下町

関口 慶久

戦国期常陸江戸氏の領域支配とその構造

泉田 邦彦

特集 高萩市朝香神社棟札の地域史

朝香神社棟札の翻刻と紹介

谷口 雄太

朝香神社棟札にみる中世の常陸北部一大塚氏を中心に

中根 正人

常陸国の里見氏に関する覚書一朝香神社棟札発見に寄せて

滝川 恒昭

川崎春二「常陸奥七郡城館図」に見る中世の常陸北部

一大塚氏を中心に

五十嵐雄大／山川千博

那珂市中世城郭遺跡分布・縄張調査報告(5)

一静・額田・堤・横堀・本米崎地区

茨城大学中世史研究会

笠間市旧岩間地区の「鎌倉街道」

川崎 史子

史料紹介 『鹿島事跡』所収「鳥栖無量寿寺文書」について

中根 正人

新刊紹介 那珂市歴史民俗資料館編『「小野崎家文書巻」調査報告書』

2018年度提出修士論文

戦国期東国大名の水軍編成の特質

大山 恒

豊臣政権の大名統制一政権機構の構造的特質について

戸澤英理香

木曾義仲に従った信濃国の武士たち

山田あずさ

◆長塚節の文学 長塚節研究会

〒300-2707常総市本石下4639 TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊

◇24 2019.5 A5 59p 1000円

追悼 長塚知子さん

追悼 長塚知子さん一節生家の守り人

桐原 光明

長塚知子氏追悼文

芝田 尚子

長塚知子氏追悼文

飯塚 知子

知子さんと「旅藝人」との絆

石坂 悦子

長塚知子さんを囲んで

飯島 雅行

長塚知子氏追悼によせて

岩渕 憲弥

やすらかに	岡田 光子
感謝を込めて	落合 君子
哀惜の石下	黒田 次郎
生家を訪ねた日のこと	高橋 尚美
節の熱い魂を支え続けた人 長塚知子さん	成井 恵子
石下での一日	平泉和美(大庭桂)
二人に捧げた舞台	松本 雅宏
長塚知子刀自を偲ぶ	山形 洋一
長塚知子さん	河合 宏
長塚節と水戸学の影響について	飯島 雅行
長塚節が母を詠んだ歌	岩渕 憲弥
長塚節研究会会報第9号(昭和46年12月)収録	山口 正
長塚節「土」表れた文書の方	桐原 光明
長塚節と島袋俊一	橋本 俊明
Kawamura 訳 Earth(1986)から読み解く『土』の難解部分	山形 洋一

栃 木 県

◆史 談 安蘇史談会

〒327-0004佐野市赤坂町229 大高八三郎方 Tel.0283-24-3232

年2000円 1985年創刊

◇35 2019.5 A4 238p

口絵写真 説明 『文明新誌』第壱号の表紙 (廣木)

巻頭言 新たな『佐野市史』編さんに期待したい 海老原脩治

史料紹介 森鷗村発行の『文明新誌』(3)

『文明新誌』に学んだ人々(安蘇郡の人々の作品) 廣木 雅子

『続・宮島清次郎』について 永島 正夫

渡辺崋山・門人たちと両毛文人のネットワークー《風竹図》(吉澤松堂

為書)・半香義会・書画会に関する資料を中心として 末武さとみ

蒲生君平生誕生二五〇年・明治維新一五〇年記念」

蒲生君平の業績と明治維新『山稜志』を中心として 阿部 邦

近世における下野国安蘇郡の庶民剣士たち 海老原脩治

伊能忠敬香取・鹿島両神宮と伊能忠敬の足跡を訪ねて 安蘇史談会

朝鮮通信使と朝鮮人參 陳 賢 徳

籠釣瓶花街酔醒の主人公 篠崎 澄子

栗野俊之氏の天徳寺宝篋研究について 川副 令

史料紹介 新発見の佐野家文書の写 足利庄梅園村のこと	鴨志田智啓
犬伏町の狒々退治について	川田 春樹
見返りの松	大川 圭吾
大塔宮護良親王子孫伝説秘話	上岡 一雄
「令和」の時代を迎えて	海老原脩治
唐澤義勇少年団縫田文次郎の第三回国際ジャンボリー遠征記(前編)	大高八三郎
分類別題名別索引一覧	
京谷博次前会長への追悼文	
京谷博次前会長との出会い、そして別れ	大高八三郎
先輩・師そして友人として	大川 圭吾
京谷前会長を偲んで	青山 守
	川田 春樹
京谷先生の「足で稼いで書く史談」	黒田 哲哉
	篠崎 澄子
もう一度酒を飲みながら…	永島 正夫
京谷博次会長をしのんで	廣木 雅子
ありがとうございました	海老原脩治

◆歴史文だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊

◇111 2019.4 A4 4p

《特集 文化財保護法の改正》

文化財保護法の改正について	石川 明範
下野市の文化財の保護と活用	山口 耕一
宇都宮市の文化財保護の取組について	今平 利幸

今が旬！ 館・展示・講座情報

栃木県立博物館 第一二三回企画展「下野の鎌倉街道一道を行き交 う人と物」	馬籠 和哉
栃木県立文書館 明治百五十年企画展「明治とちぎを築く一近代化 への取組と先人達の尽力」	山本 訓志

群馬県

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 TEL027-221-2346

1993年創刊 <http://www.asahi-p.co.jp>

◇52 2019.4 AB 36p

《旧大胡町と赤城南麓の地域特集》

歴史を掘る 白山古墳(前橋市苗ヶ島町)の和同開珎
地域からお預かりし、地域にお返しする

松本 浩一

—地域人材育成を通して恩返しを

大森 昭生

第26回 石川薫記念地域文化賞

研究賞 佐藤孝之／奨励賞 鈴木英恵

松田 猛

石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座(2) 要旨

上野三碑と古代寺院

松田 猛

発掘情報 赤城南麓における歴史地震の研究

—弘仁地震発生一二〇〇周年を迎えて

早田 勉

図録 ぐんま文化財

赤城南麓の文化財 一国・県指定文化財を中心にして

小島 純一

ぐんまの歴史入門講座

第198講 赤城南麓における終末期古墳

—截石組積石室古墳の集中分布について

前原 豊

第199講 越後北条氏と大胡城

山下 歳信

第200講 旧大胡町域の近世と幕末の前橋城再築について

関口 荘右

第201講 昭和二十二(一九四七)年九月カスリン台風と赤城南麓

—旧大胡町を中心として

鹿田 雄三

第202講 旧大胡町と赤城南麓の文化財 石造文化財の見方(41)

秋池 武

古文書解説入門講座(39) 古文書から歴史を読む

行路病人宿村継送り文書を読む—前橋市上大屋区有文書より

榎沢 恭子

地域づくりと文化遺産 城山(大胡城跡)保存に地域の力

松本 浩一

ぐんまの地方豪族 大胡実秀と法然・親鸞の交流

篠瀬 大輔

ぐんまの人物誌 豊国堂堂と『上毛及上毛人』

—県下の郷土史研究を支えた出版人

大野 秀彰

ぐんまの郷土芸能 前橋市大胡地区の郷土芸能

阿久澤智和

ぐんまの地名 大胡地域の地名

松本 浩一

研究・学習サークル活動紹介 大胡歴史研究会

茂木 允視

出版情報 地域の刊行物紹介

神宮 聡

ぐんまの自然と風土 歴史と暮らしが育んだ自然

深沢 啓一

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊

◇95 2018.12 B5 6p

「安堀」の地名をめぐって—伊勢崎市北西域における、灌漑水系と古

代水田遺構に関わる一視点

須田 茂

◇96 2019.6 B5 6p

新田荘の湧水の名称と地名

澤口 宏

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<http://blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/>

◇336 2019.4 A5 98p

新田荘の世良田郷一市・宿を伴う中世の環濠町の景観復元を目指して

須田 茂

生絹買継商島崎家と高山社の繋がり

関口 覺

市町村合併と神社整理—伊勢崎市を事例として

丑木 幸男

鎌倉における上野守護安達氏の館と寺—今小路西遺跡と無量寿院

峰岸 純夫

江戸前期「先祖書」の史料性—元総社松田氏を例に

松田 猛

動向 上野三碑—ユネスコ「世界の記憶」登録の前と後

前澤 和之

ぐんま絹遺産紹介 第10回

(18) 中居屋重兵衛の墓(嬬恋村)

黒岩 幸一

(19) 渡辺家住宅(玉村町)

中島 直樹

新刊紹介

横田雅博著『おきりこみと焼き饅頭—群馬の粉もの文化—』

永島 政彦

彦部家文書を紐解く会編『彦部家文書近世史料集』

落合 延孝

館林市史編さん委員会編『館林市史 特別編6 館林の町並みと建

造物』

大島登志彦

口絵 川井稲荷山古墳出土三角縁神獣鏡

—群馬県立歴史博物館蔵品資料(137)

右島 和夫

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会

〒379-2154前橋市天川大島町317-1 TEL027-223-2785

年4500円 1973年創刊 <http://www16.plala.or.jp/kuzira226/>

◇258 2019.3 A5 57p

口絵 西南戦争の終結を知らせる電報

井野 修二

群馬の市街地地学ハイキング(9) 伊勢崎コース

巨岩にまつわる信仰と伝説・王者の石棺と大用水路跡

矢島祐介／中島啓治／中村庄八／定村治／新井雅之

『白衣観世音建立之趣旨書』余話(2)―消えた英霊たち	田口 正美
『怨庵詩文集』を読む(前編)―明治初めの県政を記した漢詩文	井野 修二
大国主命の石碑―高崎市稲荷台町のシンボル	富所洋一郎
満洲弥栄村群馬屯の記録	東宮 春生
支部だより 藤岡支部(第87回)	
石の里と国宝の古碑を訪ねて(宇都宮)	輿水 泉
歴史散歩の報告(事務局企画)	
江戸を歩く(22) 中世・幕末の世田谷をあるく	山崎 正

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市南千木町2529-1 永島政彦方 1980年創刊

◇40 2019.3 A5 120p

山内上杉氏領国体制と国衆―長野氏と小幡氏を中心に	久保田順一
戦国時代の上武国境地域における曹洞宗の展開について	
―新田領・成田領を中心に	蛭間 健悟
沼田真田氏の自立―遺金問題を中心に	丑木 幸男
沼田まつりにおけるマンドウの変遷	市東 真一
東国美談の虚像と実像―原田重吉伝説を追って	前澤 哲也
書評 蛭神研究の大きな功績	
―『群馬の蛭神(群馬県蛭神総合調査報告書)』の刊行に寄せて	板橋 春夫

◆利根川 利根川同人

〒374-0122邑楽郡板倉町大高嶋1675 宮田毅方 TEL0276-82-0763 1981年創刊

◇41 2019.5 B5 144p

《特集 栗原文藏さんと小林茂さんを憶う》

栗原文藏さんの研究と「さきたま風土記の丘」	吉川 國男
昭和～平成の「武蔵武士」―栗原文藏さんを憶う	坂本 彰
栗原文藏氏主要文献目録	中島宏・編
小林茂氏と『木の股』民具考]	田部井 功
神子柴遺跡出土の黒曜石原石	栗島 義明
枡形遺跡の実存について	諸星 良一
津軽海峡墓景色―「亀ヶ岡文化」の北漸と再埋葬研究の真骨頂	鈴木 正博
群馬県地域における古墳時代製鉄関連遺構出土遺物の年代観	加部 二生
引間遺跡の輪宝墨書土器	大塚 昌彦
阿左美遺跡・元屋敷遺跡の輪宝墨書土器	大塚 昌彦
新川雷電山城跡の縄張りについて―新たに発見された城跡の概要報告	

天下一浄阿弥の研究

群馬県ハッ場ダム建設に関わる石川原遺跡発掘調査の見学

原 眞
川島 正一
坂本 彰

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市南千木町2529-1 永島政彦方 1979年創刊

◇157 2019.3 B5 4p

新田領の撰銭紛争における領主の立場

医療民俗学からみる『永禄日記』の可能性

近藤 聖弥
鈴木 英恵

埼 玉 県

◆埼玉地方史 埼玉県地方史研究会

〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18 埼玉県立文書館内 TEL048-865-0112
年3000円 1975年創刊 <http://saitama-chihoshi1952.blogspot.com>

◇75 2019.5 A5 52p

中世秩父の地域社会構造—高家秩父氏と児玉党・丹党の分析から
小特集 市町村における史料保存利用機関の設立

菱沼 一憲

小特集にあたって—「地域文書館」提唱から三十年

幸手市郷土資料館について—開設に至る経緯と機能

原 太平

白岡市生涯学習センター開設に至る経緯とその機能

—地域史料保存活用への取り組みを中心に

板垣 時夫

書評 清水亮著『中世武士畠山重忠 秩父平氏の嫡流』

大井 教寛

研究会報告要旨

平成三十年度埼玉県地域研究発表会

大名転封と領民—忍藩城付村々を事例に

山田 篤史

中近世移行期における武蔵国真言宗寺院の動向について

関口真規子

平成三十年度研究例会

平成三十年度埼玉民俗の会との合同研究会

近世の秩父山村と絹織物—生産と売買の構造

藤原 正克

◆戦国史研究 戦国史研究会（発売：吉川弘文館）

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇77 2019.2 A5 50p 649円

光応寺蓮淳と享禄・天文の錯乱

岩本 潤一

花蔵の乱をめぐる

朝倉 直美

羅針盤

上杉房定に関する一史料
戦国期大内氏の郷村宛禁制
河野弾正少弼通直最後の受給文書
清原マリアと細川家
奥州再仕置に関わる新出の徳川家康書状
本久寺文書の紹介

中村 亮佑
魚屋 翔平
磯川いづみ
日向 志保
大藪 海
黒田 基樹

戦国史関係論文目録(平成30年1月～6月)

例会記録 第463回～第468回

例会報告要旨

第463回例会 毛利元就・隆元期における奉行人組織

—五人奉行制の再検討を中心に

水野 椋太

第464回例会 横浜市歴史博物館所蔵文書見学

文責・事務局

第465回例会 松井康之に関する基礎的考察

谷橋 啓太

第466回例会 今川氏による一字・官途授与

遠藤 英弥

第467回例会 安城松平家中における阿部大蔵の位置

茶間 紘己

第468回例会 足利義晴期の将軍偏諱授受—「遠国」の事例から

渡邊佑里乃

千葉県

◆我孫子市史研究 我孫子市史研究センター

〒270-1132我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404

<http://abikosisiken.main.jp>

◇1 2019.4 A5 184p 1000円

会誌『我孫子市史研究』の創刊にあたって

関口 一郎

西音寺蔵「地藏十王図」の同定への試み

関口 一郎

宗門人別改帳に見る江戸中期の相島新田井上家

金成 典知

名主日記にみる古戸村の村況と信仰

近江 札子

井上佐治兵衛の制剛流柔術印可状

岡本 和男

岩村藩三万石大名松平家(大給)息女お敏の生涯

—相島新田井上家十代佐平治に嫁ぐ

品田 制子

「我孫子宿乗船一件」に見る江戸屋喜兵衛の活動と人物像の考察

阪本 功

代官羽倉外記と手賀沼三九ヶ村一代官は百姓の見方か

清水千賀子

近世小金原における野馬捕について

竹森 真直

昭和初期の軍国主義教育—小学校・旧制中学校教育について

三谷 和夫

我孫子の縄文遺跡

矢野 朝水

常総の内陸水運における水戸藩の関与
活動の歩み

山崎 章蔵

我孫子市郷土資料館設立推進活動この三十三か月の歩み
合同部会の“調査活動”に学ぶ
我孫子市史研究センター年表
会誌発行の意義、継続発行のために

東 日出夫
中澤 雅夫
谷田部隆博



＊我孫子市史研究センターは我孫子市史編さん事業の協力団体として1975年に設立された。2001年に研究団体として独立し今日に到っている。この間、市教育委員会刊行の『我孫子市史研究』（2010年に第16号をもって終刊）や市史関係著作物の執筆に多くの会員が参加したほか、会独自に『郷土あびこ』7冊（1979-97）、『いほりのちり』（2006）などを刊行し、2015年には『市民による我孫子市史研究－我孫子市史研究センター四〇周年記念誌』もまとめた。

本誌はこうした活動をさらに継続、発展させる目的で創刊されたものである。矢田部隆博氏は「会誌発行の意義、継続発行のために」で、職業研究者と併存して市民が地域史を研究する意義は深く、我孫子市史編さん事業においても生活史の分野は主に市民史学が担ったと記す。地誌編さんのあるべき姿と言えるのではないだろうか。今後の活動に大いに期待したい。

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1132我孫子市湖北台5-15-17 岡本方 TEL04-7149-6404

<http://abikosisiken.main.jp>

◇205（通512）2019.3 A4 12p

会誌『我孫子市史研究』創刊号 四月上旬に刊行

谷田部隆博

歴史探訪部会「関宿城と河岸の街 境町を訪ねる」に参加して

鈴木江里子

古代史研究G 3月の活動報告 テーマ：古代集落と谷津田

中嶋 正義

合同部会 3月の活動報告 新木地藏院

中澤 雅夫

九六銭勘定について（古文書解読日曜講座 2月活動報告の訂正）	山本 包介
歴史探訪部会 3月の活動報告	
探訪『関宿城』と『河岸の街境町』を訪ねる	長谷川秀也
◇206（通513）2019.5 A4 16p	
嘉納家と我孫子の関係は60年一治五郎死語、別荘は自宅奈だった	美崎 大洋
嘉納治五郎の銅造建立にみんなで協力しましょう！	関口 一郎
市役所に星野市長を訪問しました	
古代史研究G 4月の活動報告	星野 征朗
歴史部会 3月の活動報告	
テーマ「名主日記にみる古戸村の村況と信仰」	逆井 萬吉
井上家文書研究部会 4月の活動報告	金成 典知
古文書解読日曜部会 4月の活動報告	近江 礼子
古文書解読火曜部会 4月の活動報告	阪元 功
補遺 『我孫子の地名と歴史』—小堀河岸と高札、稲荷社について	山崎 章藏
合同部会 4月の活動報告 地藏院	中澤 雅夫
◇207（通514）2019.6 A4 18p	
「国指定史跡真壁城跡と重要伝統的建造物群保存地区を訪ねる」に参	
加して	中村 千由
我孫子の社寺を訪ねる(35) 新木地区(1) 地藏院	飯白 和子
合同部会 5月の活動報告 新木地区第2回社寺調査	中澤 雅夫
古代史研究G 5月の活動報告	星野 征朗
井上家文書研究部会 5月の活動報告	萩原 正美
古文書解読日曜部会 5月の活動報告	清水千賀子
歴史部会 5月の活動報告 第39回研究講座 テーマ「代官羽倉外記	
と手賀沼39ヶ村—代官は百姓の味方か—」	逆井 萬吉
古文書解読火曜部会 5月の活動報告	中臺 卓夫
歴史探訪部会 5月の活動報告 探訪「風薫る筑波山麓 国指定史跡	
真壁城址と重要伝統的建造物群保存地区」を訪ねる	長谷川秀也
国立歴史民俗博物館訪問記	後藤 美鈴
ミニ講演会報告 「手賀沼の自然と人生」三谷和夫会員	東 日出夫
コラム 『万葉集』巻二十 防人歌	萩原 正美

◆神田外語大学日本研究所紀要

〒261-0014千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL043-273-1389

◇11 2019.3 A5 250p

長州藩処分問題と薩摩藩—幕府・越前藩関係を中心に 町田 明広

青地林宗訳ナポレオン伝「別勒阿利安設戦記」の典拠に関する書誌的
 考察 松田 清
 神田佐野文庫所蔵 宇田川裕菴・辻蘭室筆「彩色ジャワ植物図譜」に
 ついて 松田清／益満まを
 『日本広東学習新語書』所収仮名音注の特徴について 矢放 昭文
 『日本広東学習新語書』及び『明治三十八年 戸口調査用語(広東語)』
 所収の符号仮名(1) 山村 敏江
 20世紀初頭の「世界無銭旅行」考
 一矢島保治郎の第1次入蔵と押川春浪の武侠世界 松本 高明
 日本研究所主催講演会 講演録 明治150年 神田佐野文庫公開記念
 洋楽貴重資料にみる絵と言葉—江戸から明治へ 松田 清
 日本研究所主催講演会 講演要旨 ドイツにおける伊万里焼の収集と
 磁器陳列室の流行—神聖ローマ帝国諸侯の事例 櫻庭 美咲

◆佐倉市史研究 佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当

〒285-0038佐倉市弥勒町78 TEL043-486-3478 1983年創刊

◇32 2019.3 A5 118p

講演録 絵図からみた城下町佐倉 川名 禎
 佐倉藩の兵制改革—安政の改革から相州警備そして慶応の改革へ 山本 哲也
 総武鉄道開業時の佐倉駅舎と佐倉最初の電車敷設計画 白土 貞夫
 資料紹介
 上嶽寺蔵「北条氏重肖像画」及び関係資料 外山 信司
 宝金剛寺所蔵文書—談義所としての様相を伝えるもの 櫛田 良道
 堀田正恒による北海道開発関係史料 坂本 弘毅
 佐倉藩士の婚姻関係文書
 一堀田家中水谷家文書にみる佐倉藩士の婿入り 土佐 博文
 市史編さん事務局から 購入資料紹介 堀田家譜道具図 土佐 博文

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439

年2000円 2012年創刊

◇22 2019.4 A4 12p

志津の地名について(11) 田中 征志
 地名学ノート(1) 佐倉市の地名 編集局
 地名研に入会！ 思い出の数々 伊藤代々子
 顧問 伊藤代々子さん／伊藤代々子氏がお会いした方々 編集局

「大蛇(おおじゃ)町」の語源を考える	小川 眞資
地名コーナー(千代田地区)「臼井屋敷」のロマン	伊藤 清
山登りと色々な出会い	河内 政幸
「天保水滸伝の世界」平手造酒の生涯をみる(1)	千々和 巖

◆市史研究誌 四街道の歴史 四街道市史編さん委員会

〒284-0003四街道市鹿渡2001-10 四街道市教育委員会 2002年創刊

◇13 2019.3 A5 100p

御師龍大夫と四街道市域の伊勢信仰	外山 信司
四街道市の近現代編(9) 大正時代の四街道航空史	榎並 茂朗
特集 戦後七三年をふりかえって 物井駅の移り変わりと戦争秘話	楠岡 巖
資料紹介 大日富士見ヶ丘地区の表採資料について	
一二万年の息づかいと遺物	川端弘士／川端結花
四街道における町村合併問題について(2)一昭和の大合併から	中村 政弘
追悼 故久保木良先生・故宮田省一先生／資料提供者・協力者・協力機関	市史編さん室

◆紙魚之友 房総史料調査会

〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1 東京大学文学部日本史学研究室
1985年創刊

◇40 2019.3 B5 12p

調査報告 旭市イ(旧網戸村)玉置勘一郎家文書	小田 真裕
史料研究ノート 石神村における改革組合村の設定と連印証文	小林 優里

◆千葉・関東地域社会福祉史研究 千葉・関東地域社会福祉史研究会

〒260-8701千葉市中央区大蔵寺町200 淑徳大学アーカイブズ内
TEL043-265-7526 年3000円 1979年創刊 <https://chibakanto.web.fc2.com>

◇42 2018.2 A5 54p

巻頭言 福祉と文学の原点をさぐる	永岡 正己
設立期の横浜市の方面委員の活動と課題	庄司 拓也
試論 「家忠日記」に社会福祉をみる一日記の世界を広げる	大寫 聖子
施設探訪(8) 杉並学園(東京都杉並区)	
一地域福祉からの児童施設の展開	菅田 理一

◇43 2018.12 A5 21+43p

巻頭言 明治期の災害と恩賜金一地方行政文書から学ぶこと	宮城洋一郎
日本における里親制度の歴史研究のために	菅田理一／菊池義昭

100周年を迎えるマハヤナ学園における保育の歴史

―戦前における保育事業の展開

佐藤 成道

施設探訪(9) 横浜家庭学園(神奈川県横浜市)

―新しい状況への絶え間ない挑戦

菅田 理一

書評 淑徳大学アーカイブズ叢書『高瀬真卿日記』

小野 修三

新刊紹介

宮城洋一郎著『日本古代仏教の福祉思想と実践』

大寫 聖子

長谷川匡俊編『現代日本における仏教社会福祉事業の歩み(2001～

2010年)』

菅田 理一

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部内 TEL043-251-1111

年4000円 1982年創刊 <http://chibareki.blog.fc2.com>

◇74 2019.5 A5 69p

巻頭随想 歴史系博物館のコレクション管理のあり方

金山 喜昭

地域へ飛び込む大学博物館

菅谷 祐輔

鈴木貫太郎記念館と没後70年

笹川 知樹

原正忠「韓行日記」について

菅原 憲二

原氏の軍勢と戦国の世一原邦長宛「北条氏政着到定書」を読む

外山 信司

地域歴史文化資料の保存・継承に向けたネットワーク構築へ

天野 真志

書 評

松本良太著『武家奉公人と都市社会』

佐藤正三郎

新刊紹介

市川市史歴史編Ⅲ編集委員会編『市川市史 歴史編Ⅲ一まつりごと

の展開一(通巻3)』

里館 翔大

小高春雄著『房総里見氏の城郭と合戦』

嶺島 英寿

長谷川亮一著『教育勅語の戦後』

中村 政弘

成田高等学校『創立百二十周年記念誌』

矢嶋 毅之

見学記

国立歴史民俗博物館企画展「日本の中世文書―機能と形と国際比較」

山本 昌幸

流山市立博物館開館40周年企画展「小金牧一絵図・古文書・発掘調

査から見た牧と村」

小田 真裕

いすみ市郷土資料館「蔵の中のワンダーランドⅡ」

上田 浄

千葉県立中央博物館企画展示「千葉の鉄道物語―鉄路が拓いた「観

る・住む・運ぶ」

高木晋一郎

近世史部会 7月例会

下向井紀彦「土屋報告にふれて」 報告要旨

文責・下向井紀彦

討論要旨

文責・小田真裕

近世史部会 1月例会

報告要旨

文責・根本みなみ

コメント要旨

文責・藤方博之

討論要旨

文責・小田真裕

近現代史部会 2月例会

小林康平「昭和前期の女子各種学校の宗教教育の差異とその背景―

東洋英和女学校と恵泉女学校を事例に」 報告要旨

小林 康平

討論要旨

文責・矢嶋毅之

◆成田市史研究 成田市教育委員会

〒286-0017成田市赤坂1-1-3 成田市立図書館管理係市史編さん担当

Tel.0476-27-2533 1972年創刊

◇43 2019.3 A5 78p

巻頭カラー 資料紹介 押尾禎一氏所蔵写真(押尾孝氏のアルバムより)

校歌にうたわれた成田市の地理的特色

石毛 一郎

江戸期における祐天の成田不動利生譚の展開と受容

猪岡 萌菜

成田ニュータウンの遺跡(6) 公津原に残された古代の村々

高木 博彦

成田市史研究余話 1

成田市南三里塚宮原第1遺跡出土の石器(1)

小川 和博

成田市の御手長講に出された精進料理

小倉 博

慶応二年の竜台村の火事について

鎚木 行廣

香取神宮の遷宮と下総国の「供給」

木村 修

宗吾霊堂と徳川家達の扁額

高木 博彦

村田尼願性と国府一族村田氏

外山 信司

成田鉄道争議ビラ

中村 政弘

三橋金太郎に宛てた柏原文太郎の書簡

矢嶋 毅之

資料紹介 幕府寄合医師の嘉永六年「糧運建白書」

―外患に対する印旛沼掘割通船論

鎚木 行廣

聞き取り 三橋鷹女の句碑裏面について

話し手：三橋絢子氏・三橋重人氏

成田市史年表稿 2016(平成28)年

解説・矢嶋毅之

成田市関係新聞記事目録 2016(平成28)年

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1980年創刊

◇141 2019.4 B5 8p

3月見学会報告 習志野市谷津・久々田を歩く	木原 律子
金毘羅丸亀街道の灯籠と丁石	米谷 博
10月バス研修旅行参加記 銚子方面の石造物を巡る	三代川千恵子

◆房総の石仏 房総石造文化財研究会

〒275-0001習志野市東習志野5-30-4-404 木原律子方 TEL047-473-3540
年3000円 1982年創刊

◇28 2019.3 B5 59p

幕末の豪力・流山村木ノ村亀吉の力石墓石	新保 國弘
西南戦争出兵碑	藤平 俊雄
館山市の徳本名号塔	石川 達也
地獄と極楽の住人たち(1)	
千葉県とその周辺の主な十王関連石造物	土井 照美
富津市飯野地区の知られざる村環境と道標	猪 武司
君津市寶性寺の砂岩製宝塔について	小高 春雄
磐城薬王寺と下総大慈恩寺の板碑(1)	川戸 彰
口絵写真解説 疱瘡神の姿 両手で杖をつく老婆姿の疱瘡神石塔	木原 律子

東 京 都

◆アーカイブ通信 ネットワーク・市民アーカイブ

〒190-0022立川市錦町3-1-28-301 TEL042-540-1663 年6000円
2014年創刊 <http://www.c-archive.jp>

◇15 2019.3 A4 8p

情報公開法制定から20年 政治家の関与は対象外？

—「知る権利」を脅かす制度の制定過程を「知りたい」	青島 顕
公開シンポジウム シリーズ“原点”から考える(4) 報告 市民活動	
資料を活用する！—市民アーカイブ多摩の今後を見すえて	
読み手の中で何かが「活性化」されるとき	平野 泉
「砂川平和ひろば」の〈場〉が持つ力を活用する	高原 太一
多摩地域・社会教育実践の特徴を活かす	三浦 健
「私」の思いから「活用」を語る	杉山 弘

多くの人の関わりにより拡がる活用	江頭 晃子
新連載 市民アーカイブ多摩の四季 春 モクレン	むらた・じん
私と市民活動資料(11) 私の仕事を支えるもの	竹中 薫
ミニコミ紹介	
年輪通信 NPO法人サポート ハウス「年輪」	安岡 厚子
くらしと教育をつなぐWe	
コミュニティカフェ・スペースナナ／フェミックス	中村 泰子
記憶と記録の場をめぐる旅(13) 立命館大学国際平和ミュージアム	堀越比菜子

◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇614 2019.4 A4 4p

文化遺産調査による修復資料 俳諧活動を物語る《書画貼交屏風》	小林 優
昭和二十五年頃の東洲江小学校(2)	渡邊 梅子
行政文書に見る足立区の水害記録(3)	山崎 尚之

◇615 2019.5 A4 4p

はい、文化財係です。(9) 見沼代親水公園駅のミニ展示	佐藤 貴浩
昭和二十五年頃の東洲江小学校(3)(終)	渡邊 梅子
行政文書に見る足立区の水害記録(4)	山崎 尚之

◇616 2019.6 A4 4p

博物館の刀剣	奥村麻由美)
はい、文化財係です。(10) 改元と板碑	佐藤 貴浩
行政文書に見る足立区の水害記録(5)	山崎 尚之

◆足立史談会だより

〒120-0001足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇373 2019.4 A4 8p

終戦直後の日本の教育改革の原点 米国教育使節団の報告書(36)

米国教育使節に関するマッカーサー元帥の声明	編・堀川和夫
こんなこともやっています 千住宿・大師への道しるべ	

あだち拓本研究会 加藤新助

史談大学第七講 源長寺筆子塚二基を読む

なぜ「西郷どん・せごどん」か

埋没した戦後の記憶双書Ⅲ 続々・中小企業態だった頃の木造二回建

足立区役所物語(2) 千寿陰土著(安藤義雄)

昭和二三年四月に竣工した区庁舎「区政四〇周年写真集」

◇374 2019.5 A4 8p

文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 米国教育使節団
報告書の要旨(1) 続・編 堀川和夫
平成31年度 足立史談会定期総会 資料・議案書
埋没した戦後の記憶双書Ⅲ 続々・中小企業態だった頃の木造二回建
足立区役所物語(3) 千寿陰士著(安藤義雄)

◇375 2019.6 A4 8p

近松組が青森まで開通させた 近松の人たちのこと 小島 和
文部科学省資料 終戦直後の日本の教育改革の原点 米国教育使節団
報告書の要旨(2) 続・編 堀川和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 シイの木は残った
中川水再生センター
5月探訪 三ノ輪から三社祭の浅草へ 東道・永田俊夫さん
埋没した戦後の記憶双書Ⅲ 続々・中小企業態だった頃の木造二回建
足立区役所物語(4) 千寿陰士著(安藤義雄)
埋没した戦後の記憶双書Ⅳ 拾遺・中小企業態だった頃の木造二回建
足立区役所物語(1) 千寿陰士著(安藤義雄)

◆明日を拓く／解放研究 東日本部落解放研究所

〒111-0024台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1863 1993年創刊
<http://www.hblri.org>

◇119 (43-4 通202) 2019.3 A5 92p 1000円

《特集 「人間を冒瀆してはならない」―差別を禁止する法の可能性について》
特集にあたって 井桁 碧
第16回差別論研究会 報告テーマ「表現の自由を守るためにヘイト・
スピーチを処罰する―日本国憲法と国際人権法から考える」 報告
者：前田朗さん
すいへい東京51号(2019.3.1発行より転載)
「国立市人権・平和基本条例」の意義とこれまでの取組み 押田 五郎
資 料
インド・アグラの靴・履物産業とチャマール 友常 勉
付 チャマール身分に対する差別と National Dalit Movement for
Justis の活動―ラフル・シン氏インタビュー

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館

〒183-0026府中市南町6-32 TEL042-368-7921 1987年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇127 2019.3 A4 8p

水とともにくらししたむかし(4) 雨をしのぐ道具の変化	佐藤 智敬
最近の発掘調査 甕を連結させた煙道をもつカマド 日鋼町一丁目	野田憲一郎
NOTE 上棟式と大工の神様	佐藤 智敬
府中の身近な昆虫絵巻(4) 昆虫タイムスリップ	中村 武史
展示会案内 企画展 大西浩次星風景写真展一森から見上げた宇宙	本間 隆幸
史料に見る府中の事件簿(4) 飯盛女の髪切事件	花木 知子

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0075板橋区桜川2-27-3 大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682

1966年創刊 <http://www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/>

◇300 2019.5 B5 68o

《第300号記念号》

表紙写真解説 新河岸大橋と小豆沢河岸広場	写真と文・井上富夫
再考・地域史『板橋学』を探る	小林 保男
中台・若木史話	小松 光衛
東部一九九一部隊下赤塚中隊の悲劇	山下 徹
東京五輪～我が青春の体験記	松浦 勉
「札所・巡礼」紀行	三原寿太郎
板橋第一中学校校歌一作詞者 大木惇夫私考	新井 千秋
緑のカーテン(1)	松浦 勉
板橋区書道連盟会長就任	前田 惣吉
板橋文化財瓦版「かみなか庚申塔」	大澤 鷹邇

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092板橋区赤塚7-18-7 <https://www.okumusashi.club>

◇427 2019.5 B5 26p

平成の終わりに	小泉 重光
鐘撞堂山登山道の石造物	野口 実
埼玉の廃線地図を歩く	町田 尚夫
山徒然(5)	関口 洋介
故 高津裕子さんを偲んで	
高津さん今何処の山?	加藤 恒彦
高津さんとの思い出	村木 悦子
谷川岳、滑落時の泥んこ写真は私自身の戒めだって云ってた高津さ	

ん
突然のお別れでした
高津さんとの思い出
高津裕子さんとのこと

河野 尚久
吉田美知子
中塚智恵美
岡野 守

◆北区飛鳥山博物館研究報告

〒114-0002北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133 1999年創刊

◇21 2019.3 B5 80p

同潤会赤羽分譲住宅初期入居者について

—「佐々木家文書による分析」

本間 孝夫

博物館における利用者層拡大の取り組み

—歴史資料を介した未就学児・子育て世代向け講座の実践

安武由利子

資料紹介 北区役所土木課技師五十嵐重作

中野 守久

博物館事業報告 平成29年度博物館普及事業の概要(続)／平成30年度

博物館普及事業の概要

文責・鈴木直人

平成30年度文化財調査・保護事業の概要と実績

文化財保護事業説明／平成30年度活動概要／刊行物／文化財説明板

報告 旧松澤家住宅の修理について

文責・山口隆太郎

概報 平成30年度古文書調査報告

文責・田中葉子

概報 平成30年度民俗調査報告

文責・田中葉子

指定文化財一覧表(国・都・区)・台帳登載文化財一覧(区)・文化財

説明板一覧(北区教育委員会設置分)(平成31年3月現在)

◆北区史を考える会会報

〒115-0052北区赤羽北1-3-10 大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊

◇133 2019.5 B5 8p

第436回 月例研究会

地域ではぐくむ水環境 浮間水再生センター見学

林 健一

第434回 月例研究会 十条の雨乞い儀礼再考

榎本 龍治

第435回 月例研究会 戦後の赤羽東口駅前商店街の変遷の歴史

萩原 通弘

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会

〒192-0151八王子市上川町3160-9 車田勝彦方 TEL042-654-3101

◇40 2019.3 B5 12p

伝統芸能の継承 表紙:犬目囃子(撮影・伊藤勝之)

瀬沼 秀雄

平成30年度総会・新年会 甲冑の話をとことん楽しむ

岩本 行雄

平成30年度春の見て歩き 植原と犬目の歴史に触れる	関口 衛
「五日市憲法」発見50年 新井勝紘元専修大教授に聞く	岡村 繁雄
市民自由講座 八王子市生涯学習センター川口分館共催	
八王子空襲 今も残る戦争遺物	瀬沼 秀雄
八王子と明治維新ー西郷隆盛と会った男たち	加藤 典子
体験学習フォーラムに参加して	伊藤 勝之
第25回透谷祭 生誕一五〇年の佳節を祝う	吉田 待江
平成30年度川口中学校の総合的な学習を指導	
第一学年地域学習への協力	齋藤 三男
秋の史跡巡り	
武蔵野の晩秋をゆく	中嶋 丈史
星を掴み損ねた男	玉利 勝範

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188

◇213 2019.3 A4 8p

催事スケッチ 春の高山祭り 桜花開くころ神々の目を楽しませる

春祭り：日枝神社 4月14日・15日、秋祭り：櫻山八幡宮

10月9日・10日 岐阜県高山市

春季大会は四月開催

鹿と獅子の民俗芸能競演～岩手の鹿踊り×讃岐獅子舞

久保田裕道

特別企画「会員参拝の集い」 護国山尊重院天王寺

儀礼文化学会

催しものレポート 第28回関西支部 秋季学術大会

飯塚 好

レポート

生活芸術講座(第1回)(儀礼文化講座 平成30年度第6回)

神道「宗像・沖ノ島祭祀の実像」 講師：笹井衛

生活芸術講座(第2回)(儀礼文化セミナー 平成30年度第4回)

古典遊戯「投扇興を愉しむ」

塩澤以知子

儀礼文化セミナー(平成30年度第3回)

民俗芸能「第六十七回 全国民俗芸能大会見学」

久保田裕道

◆記録と史料 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

〒700-0807岡山市北区南方2-13-1 岡山県立記録資料館 TEL086-222-7838

1990年創刊 <http://www.jsai.jp>

◇29 2019.3 B5 112p

特集 平成30年7月豪雨における資料保全活動

特集にあたって	広報・広聴委員会
平成30年7月豪雨による災害への対応	岡崎 雅彦
倉敷市総務課歴史資料整備室の活動の事例について	山本 太郎
広島県における「平成30年7月豪雨」被災文書の保全活動	西向宏介／下向井祐子
平成30年7月豪雨における資料保全活動—愛媛県の活動の事例	大本 敬久
第22期調査・研究委員会の災害対応	林貴史／富田任
アーキビストの眼	
環境アーカイブズ10年の記録	清水 善仁
平成30年度公文書館機能普及セミナー in 静岡 “災害と公文書管理”	
を開催して	大本 悠佑
平成30年度公文書館機能普及セミナー in 静岡 “災害と公文書管理”	
参加記	大本 敬久
公文書館機能普及セミナー in 静岡に参加して	松本 将太
世界の窓	
カナダ・レズビアン・ゲイ・アーカイブズ(GLGA)	藤吉 圭二
米国でのアーキビスト・司書教育について	宍戸 幸枝
ICA-SUV『科学的アーカイブズ第二回ワークショップ』参加記	筒井 弥生
アーカイブズ・ネットワーク	
北海道大学大学文書館公文書室の「国立公文書館等」施設指定について	井上 高聡
近畿大学アカデミックシアターの取組み	岡 友美子
地域とともに歩む文書館を目指して	
—安曇野市文書館の開館について	青木 弥保
東御市文書館の開館について	堀田 雄二
埼玉県立文書館の大規模改修工事とその対応	太田 富康
高知県における公文書館の整備について	徳橋 正人
書評と紹介	
柳与志夫責任編集『入門 デジタルアーカイブ：まなぶ・つくる・つかう』	福島 幸宏
瀬畑源著『公文書問題：日本の「闇」の対応』	大蔵 綾子
東京都公文書館編『ちょっと書庫まで行ってきます—東京都公文書館 SNS の世界—』	篠崎 佑太
石原香絵著『日本におけるフィルムアーカイブ活動史』	志度寺／毛塚万里
富善一敏著『近世村方文書の管理と筆耕—民間文書社会の担い手—』	前澤 健

◆月刊神田画報 カンダデザイン

〒101-0064千代田区神田猿楽町2-2 澤田ビル206 TEL03-3296-7121

◇134 2019.2 A4 4p

昔むかしの神田探訪(52) 「将門の首塚」伝説と将門の祟り 酔馬 主水

◇135 2019.3 A4 4p

昔むかしの神田探訪(53) 心学の大家と神田相生町の「参前会」 酔馬 主水

◆現在学研究 現代学研究会

〒145-0072大田区田園調布本町16-12-101 高久舞方 2018年創刊

◇2 2019.3 A5 94p

新創刊誌紹介 現在学研究会編『現在学研究』 真野 俊和

なぜ家族葬を選んだのか 福澤 昭司

続・道祖神碑石編年試論 倉石 忠彦

渋谷における祝祭の行方 高久 舞

異文化の交流と受容 倉石 美都

育児と衛正観 越志 真希

書評 倉石忠彦『都市化のなかの民俗学』が問いかけるもの 上野 誠

◆交通史研究 交通史学会（発売：吉川弘文館）

〒161-8539新宿区中落合4-31-1 目白大学社会学部地域社会学科

鈴木章生研究室気付 1976年創刊 <http://www.kotsushi.org>

◇94 2019.3 A5 98p 2500円

近代の社寺参詣をめぐる一その視角と方法に関する試論 平山 昇

日清戦後の対清経済政策と居留地経営 渡辺 千尋

綱吉政権期の捨馬札 橘 敏夫

十字路

文化期における大坂目付の「遠国御用」

一京都在勤時の動向を中心に 藤井 明広

戦後巡幸と宮内府改革―『終戦事務連絡書類 自昭和二十二年至昭

和二十三年』にみる田島・GHQ会談 真辺 美佐

新刊紹介

立山一郎『明治前期の大阪肥後航路と汽船便』 星名 定雄

丸山雍成『日本交通史への道1 前近代日本の交通と社会』 山根 伸洋

2018年第2回例会報告要旨

旅の土産品～大森麦わら細工と箱根寄木細工 藤塚悦司／文責・谷田有史

2018年第3回例会報告要旨

関東大震災後における郵便事の復興過程
皇紀二六〇〇年における奈良への「聖地」参拝旅行の動向

田原 啓祐
菅沼 明正

◆市史研究きよせ 清瀬市

〒204-8511清瀬市中里5-842 清瀬市企画部市史編さん室市史係
TEL042-497-1813 2016年創刊

◇4 2019.3 A5 83p

平成三十年度の古文書調査報告 古代・中世部会
市民が語る清瀬の歴史 清瀬の商業と生活—中村キミヨさんに聞く

病院街について

聞き手・黒川徳男

香西 真弓

講演会報告 「明治百五十年—清瀬の近代を考える—」

石碑・石仏探訪(2)

中清戸の庚申塔

齊藤 隆雄

子育地藏尊

黒田 一美

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース 練馬区立石神井公園ふるさと文化館

〒177-0041練馬区石神井町5-12-16 TEL03-3996-4060

<http://www.neribun.or.jp/furusato.html>

◇32 2019.3 A4 4p

表紙：江戸水道配水図 享保2(1717)年～享保3(1718)年頃 館蔵
企画展「練馬の川と文化—人々と水とのかかわり—」

◆じゃんぴん NPO法人歴史資料継承機構 NEWS LETTER

〒198-0063青梅市梅郷3-863-2 西村方 <http://rekishishiryo.com>

◇26 2018.11 A4 4p

立科町高橋家文書保存・調査活動に参加して

山田ちひろ

もろたけじゃんぴんプロジェクトについて

西村慎太郎

福島県双葉町廣田家文書保存・調査活動

西村慎太郎

南伊豆町伊浜肥田家文書調査に参加して

松下 一樹

第22回例会 失われるふるさとを生かす歴史資料保全

宝利ひとみ

常陸太田市武子家文書保存・調査活動

武子 裕美

◇27 2019.5 A4 4p

南伊豆町伊浜肥田家文書保存・調査活動

武子 裕美

立科すずらん学級郷土の歴史文化を学ぶ教室でのワークショップでの

活動を振り返って

杉山 晴香

市田邸文書保存・調査活動について	増田亜矢乃
伊豆国賀茂郡上賀茂村の運送業	
―明治8年「運送稼人名前取調帳」について	西村慎太郎
第11回南伊豆を知ろう会について	内藤美奈子
世田谷区川村家文書保存・調査活動成果報告会「藩校・有造館と川村	
竹坡―東京都世田谷区川村家文書の世界」	

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要

〒195-0063町田市野津田町897 TEL042-734-4508 1987年創刊

◇32 2019.3 A5 107p

講演録

〈デモクラシー〉の夢と挫折

―自著『自由民権運動』とその展望を語る

松沢 裕作

「五日市憲法草案」発見とその意義

―深沢家土蔵内で出会ってから50年

新井 勝紘

家永三郎における天皇・天皇制観の変遷

―家永三郎「私と天皇制・天皇」を史料批判的に読む

小田 直寿

書評 新井勝紘著『五日市憲法』―若手研究者の立場から

高原 太一

2018年度特別展「『五日市憲法草案』と多摩の自由民権」の記録

民権ネットワーク

北海道

國岡 健

青森県

河西 英通

山形県

三原 容子

福島県

鈴木 杏里

茨城県

飯塚 彬

千葉県

矢島 毅之

東京都

福井 淳

多摩地区

松崎 稔

神奈川県

野崎 昭雄

新潟県

横山 真一

静岡県

加藤 善夫

愛知県

中元 崇智

滋賀県

苗村 和正

大阪府

竹田 芳則

広島県

河西 英通

山口県

河西 英通

高知県
熊本県
鹿児島県
旧幕臣
田中正造
文 学

筒井 修一
水野 公寿
久米 雅章
樋口 雄彦
赤上 剛
松原 真

自由民権運動関係文献情報(32)

◆城郭史研究 日本城郭史学会（発売：東京堂出版）

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948 年6000円
1968年創刊

◇38 2019.3 B5 88p 2700円

九州における水軍の活動と戦国大名の「海賊」政策

一上野家文書と丹生島城

鹿毛 敏夫

北条・里見水軍の戦と玉縄城

真鍋 淳哉

芸予諸島の「海賊」の防御機能に関する一考察

一能島城合戦を事例として

大上 幹広

河川と中世の城一駿河江尻城と清水城を例に

西ヶ谷恭弘

碎玉類題

常陸 藤沢城

坂井 尚登

中世韓国の二つの山城における特異性について

一竹洲山城と上党山城

釣 正志

城郭史関係文献目録

阿部 和彦

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691板橋区板橋北郵便局私書箱50号 TEL03-3967-1948
年6000円 1993年創刊

◇105 2019.4 A4 6p

姫路城 石垣の採石場

城郭の塀―戦国時代の城郭塀を考える

塀の種類と場所／塀の構成／海外の城郭塀など

西ヶ谷恭弘

城郭ニュース 多賀城政庁南門の復元計画

日本城郭史学会・秋の探訪旅行記 復元竣工の首里城ほか沖縄の城と

聖地めぐり／沖縄の城と聖地

最近の注目される城郭図書から 高知市史・考古編『遺跡が語る高知

市の歩み』、中野正人・笹崎明共著『壬生藩』、和歌山城郭調査研究

会編『戦国和歌山の群雄と城館』、光成準治著『小早川隆景・秀秋』

◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066世田谷区成城6-1-20 TEL03-3482-1181 1977年創刊

◇42 2019.3 A5 90p

古い町並みに生きる女性の意思

一長野県木曽路の奈良井宿、平沢集落の事例からの考察
妖術について

荒井 浩幸

木下 聖三

フェミニズムの新しい潮流―「第4波フェミニズム」

荒木 生

遊女評判記の書き手と読み手―延宝期前後の吉原物を主として

高木まどか

◆杉並郷土史会史報

〒167-0022杉並区下井草3-12-9 新村康敏方 1973年創刊

<http://www.sugi-chiiki.com/rekishikai/>

◇275 2019.5 A4 10p 400円

近衛文麿自殺の青酸カリ

寺田 格郎

例会記「西郷どん」とその時代考証

東京学芸大学教授 大石学先生

(波巖記)

深大寺へ白鳳仏に会いに行く 紅葉ウォーキング

伊東 勝

下高井戸甲州街道沿いの記憶―「花磯」さんの戦前・戦後の画集より

波 巖

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042台東区寿2-9-9 北村国男方 TEL03-3844-2008 年3000円

1987年創刊 <http://ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/>

◇65 2019.4 A4 12p

勝海舟の生きざま

田村 新吾

隅田川大学公開講座「隅田川環境改善の歴史と海に繋がる昨今の話

題」―マイクロプラスチックなど 講師：風間真理

第27回・神田川サミット2018@善福寺

『川と人と雨活』―善福寺川の上流にくらす人がやれること

藤原 隆

紫川を愛する会 紫川交流会（紫川を愛する会発足30周年記念）

参加報告

篠田裕／猪狩達夫

隅田川大学実践俳句講座『隅田川大学実践講座「俳句を創ろう」』

―築地市場跡地吟行 講師：岡部恒雄

佐藤武レポート 隅田川のユリカモメ 困るほどに増えているのか？

◆すみだ郷土文化資料館年報・研究紀要

〒131-0033墨田区向島2-3-5 TEL03-5619-7034 2015年創刊

http://www.city.sumida.lg.jp/sisetu_info/siryou/kyoudobunka/

◇5 2019.3 A4 22+114p

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 中世牛島地域に関する基礎的研究—牛島の中世的景観の復原 | 小山 貴子 |
| 昭和の隅田川花火 | 河野 晴行 |
| 史料紹介 東京都中央区立郷土天文館所蔵『片岡家文書』について | 金子 千秋 |
| 史料翻刻 | |
| 在心流火術秘伝抄上・下、極秘伝抄 | 安藤 有紀 |
| 弘前藩庁日記(江戸日記・宝永元年十一月) | 福澤 徹三 |
| 津軽家文書「分限帳(宝永三年 御日記方)」 | 福澤 徹三 |

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<http://seikouminzoku.sakura.ne.jp>

◇246 2019.3 B5 29p

- | | |
|----------------------|-------|
| 伊吹島における女性のくらしと出産 | |
| —Tさんのライフヒストリーを中心に | 加藤 紫識 |
| 茨城県阿見町福田の奇祭「馬鹿祭り」 | 近江 礼子 |
| 鯰尾兜の信仰—武家社会にみる鯰のイメージ | 細田 博子 |
| 青森県むつ市海老川町の曙町集会所 | 小池 淳一 |

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報

〒700-0807岡山市北区南方2-13-1 岡山県立記録資料館 TEL086-222-7838

<http://www.jsai.jp>

◇105 2019.3 B5 68p

《第44回 沖縄大会特集号》

大会テーマ「アーカイブズ再考—その価値と活用」

開会行事

- | | |
|---------|-------|
| 会長あいさつ | 定兼 学 |
| 開催地あいさつ | 謝花喜一郎 |
| 来賓あいさつ | 福井 仁史 |

委員会報告 公文書管理及び保存の実態調査について

- | | |
|--------------|----------|
| —災害時作成文書を中心に | 高村恵美／林貴史 |
|--------------|----------|

大会テーマ研究会 アーカイブズ再考—その価値と活用

- | | |
|--------|----------|
| 大会趣旨説明 | 大会・研修委員会 |
|--------|----------|

報 告

アーカイブズが社会にもたらすもの

—琉球政府文書の利用状況から考える

大城 博光

人権とアーカイブズ 西淀川公害を例にして

林 美帆

資料のデジタル化が開く未来を改めて考える

後藤 真

総合討論

コメンテーター 加藤聖文・辻川敦／大会・研修委員会

ポスターセッション

研修会

視察（沖縄県公文書館・東風原文化センター視察見学）

青木 弥保

アーカイブズ入門—利活用の視点から

金原 祐樹

阿波根昌鴻資料の意義と調査活動の歩み

鳥山 淳

アーキビストと人権保護—I C A 文書「人権保護のためのアーキビ

スト及び文書担当者の役割に関する基本原則」を考える

小川千代子

語られる沖縄戦

—『沖縄県史』編さんに用いた戦争体験証言記録と公文書館

久部良和子

大会参加記

アーカイブズが必要なわけ

玉寄 優子

全史料協沖縄大会に参加して

石川 遥

第44回全史料協全国（沖縄）大会を終えて

富見山和美

◆全日本郷土芸能協会会報

〒106-0032港区六本木4-3-6 三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434

年2000円 1995年創刊 <http://www.jfpaa.jp>

◇95 2019.4 A4 20p

麒麟獅子舞 因幡（鳥取県東部）・但馬（兵庫県北部）

金谷堅太郎

2020年「世界無形文化遺産フェスティバル（仮称）」東京で開催！／栃

木県「奈佐原文楽」調査報告書完成

地域×芸能ニューウェーブ 東日本大震災から8年

三陸国際芸術祭2018（全郷芸共催事業）報告

18回目を迎えた、“かながわ伝統芸能祭 地芝居2019” 報告

芦野 孝男

地芝居見聞（30）「雄踏歌舞伎 定期公演」1月20日

北河 直子

岐阜の地歌舞伎ヨーロッパ公演

岐阜県文化振興課

地芝居あれこれ（33） 歌舞伎の挑戦

蒲池 卓巳

会員紹介

大鹿歌舞伎保存会 長野県下伊那郡大鹿村

北村 尚幸

城生野神楽会 宮城県栗原市

佐藤 安美

青木村義民太鼓保存会 長野県小県郡青木村	宮入 貞嘉
活動報告 秩父歌舞伎正和会 「秩父市民俗芸能大会」、「秩父歌舞伎 の世界展」(同時開催)	鈴木 清一
空白の沖縄芸能史(20) 嗚呼!我青春の唄が聞こえる	中坪 功雄
伊勢大神楽と現代日本を歩く(6) 風の暮らし、土の暮らし	神野 知恵
民俗楽器(71) 北イタリアの楽器文化(3)	山本 宏子
はやしはじめ 「鈴木ばやし」とは/実際に参加してみて	高安恭ノ介

◆総合女性史研究 総合女性史研究会

〒154-8533世田谷区太子堂1-7-57 昭和女子大学総合教育センター 友野清文
気付 年3500円

<https://sites.google.com/a/sogojoseishi.com/zong-he-nue-xing-shi-xue-hui/>

◇36 2019.3 A5 136p 1300円

籍帳に見る古代の子ども一半布里戸籍における片籍の分析	田中 禎昭
高群逸枝『母系制の研究』と「血の帰一」の思想	
一十五年戦争下の歴史研究をめぐって	蔭木 達也
高良とみと大東亜共栄圏一大政翼賛会の評価を含めて	高良留美子
女性史と私 手さぐりの日本近代女性史	中寫 邦
書 評	
東海林亜矢子『平安時代の后と王権』	丸山裕美子
長島淳子『江戸の異性装者たち—セクシャルマイノリティ—の理解 のために』	赤阪 俊一

新刊紹介

関口裕子著『日本古代女性史の研究』	小林 茂文
辻浩和著『中世の〈遊女〉—生業と身分』	野村 育世
福田千鶴著『近世武家社会の奥向構造—江戸城・大名武家屋敷の女 性と職制』	柳谷 慶子
石井香江著『電話交換手はなぜ「女の仕事」になったのか—技術と ジェンダーの日独比較社会史』	石月 静恵
上野千鶴子・蘭信三・平井和子編『戦争と暴力の比較史へ向けて』	加藤千香子
地域女性史	
地域における女性史研究の成果—現状と課題(二〇一八)	瀬上 ゆき
文献紹介 岩手女性史を紡ぐ会著『三陸の海とともに—岩手おらは のおなごたち—』	宮崎 黎子
文献紹介 新潟女性史クラブ編『光と陰』第一一号「アジア・太平 洋戦争と新潟の女性 国民精神総動員の時代 一九三七—一九四	

〇年」	海保 洋子
文献紹介 地域女性史研究会編『地域女性史研究—ここに生きこ こを超える』創刊号	石月 静恵
地域女性史グループ紹介(7)	
愛知の活躍する女性を追って 愛知女性史研究会 ひろば	西 悦子
韓国における女性史研究	広瀬 玲子
IFRWH(国際女性史連盟)の大会参加記	具 知 會
「歴史秘話ヒストリア」裏ばなし	長島 淳子
永原和子氏を偲ぶ—総合女性史研究会創設とともに 大会の記録	服藤 早苗
大会趣旨「歴史にみる子どもをめぐる諸問題」	長島 淳子
二〇一七年度大会報告	
籍帳にみる子どもを古代の子ども	田中 禎昭
中世の寺院社会と童たち	土谷 恵
近世社会の子ども—子返しと捨子の子育て意識と社会背景	太田 素子
近代における子どもへのまなざしと子どもの意識	
—雑誌投稿欄にみる表現する子どもたち	石月 静恵
質疑・討論	辻浩和／井上直子
活動の記録	
例会の記録 第150回 古代中世の葬送と女性	
—その社会的関係を通して	島津 毅
例会の記録 第151回 日中・アジア太平洋戦争と高良とみ	高良留美子
例会の記録 第152回 近世後期の満徳寺と大奥	
—本梅の復興活動を中心に	具 知 會
例会の記録 第153回 明治期ニコライ堂の女子神学校と宮城の女性 たち—仙台・東京・北海道標津村をつなぐ裁縫教育	佐藤和賀子
修士論文発表会	
近世京都における尼僧の存在形態	
—山城国葛野郡川勝寺村長福寺を事例に	仲田 侑加
戦間期大阪における紡績業の分析	
—大正時代における紡績女工の賃金を中心に	作田 孝子

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<http://www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/>

◇329 2019.4 A4 2p 100円

第11回江戸の物売りと大道芸 盛会裡に終了

◇330 2019.5 A4 2p 100円

牛頭天王発祥地へ行く 祇園神発祥の景 (疫限国社 [現素戔鳴神社])

◇331 2019.6 A4 2p 100円

猿曳(猿回し)と猿飼 猿廻し(『新文字あづくし』)

◆たちかわ物語 市史編さん広報紙

〒190-0022立川市泉町1156-9

立川市産業文化スポーツ部地域文化課市史編さん担当 TEL042-506-0021

http://www.city.tachikawa.lg.jp/chiikibunka/sisi/hensanshitu/shishi_top.html

◇7 2019.3 A4 12p

表紙 普済寺六面石幢 三次元計測図 谷加工画像

新しい市史の変さんによせて 歴史・記録を未来に伝える 大友 一雄

立川おっこぼれ話 みんなでうたう みんなの歌

立川市唯一の国宝! 普済寺六面石幢

部会特集 普済寺六面石幢の三次元計測 朝倉 一貴

資料をよむ—資料としての青年団機関誌 中野 泰

第3回関連講演会のご報告 「向郷遺跡と多摩の中期縄文文化」谷口

康浩氏、「鎌倉時代の立川氏」鎌倉佐保氏／第4回関連講演会のご

報告 「近世後期における多摩地域の平地林と「山仕事」太田尚宏氏、

「鈴木平九郎と近世文書社会—公私日記」を中心に」富善一敏氏

刊行物紹介

『新編立川市史』資料編『地図・絵図』第1章 近代 解説・保坂一房

『新編立川市史』資料編『地図・絵図』第2章 現代 解説・沖川伸夫

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

<http://tamatiken.web.fc2.com>

◇134 2019.4 B5 8p

第102回例会報告

中島飛行機研究と資料—武蔵野ふるさと歴史館の公文書機能 高野 弘之

資料紹介 今に生きる民具〜ムシカマド 梶原喜世子

◇135 2019.5 B5 6p

第103回例会報告 多摩の中世城館を歩く XI

埼玉県比企郡嵐山町の杉山城を歩く 西股 総生

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<http://www.tamashin.or.jp>

◇174 2019.5 A5 122p

《特集 用水と暮らし》

多摩地域の用水の利用と変遷—武蔵野台地を中心に

小坂 克信

江戸時代の大丸用水

小谷田政夫

本宿用水と四ッ谷用水をめぐる天保九年の用水争論

花木 知子

近代の用水—個人利用とムラの利用

天野 宏司

日野市の用水

笹木 延吉

洋風建築への誘い(63) 村山織物協同組合 武蔵村山市

伊藤 龍也

建物雑想記(58) 村山織物協同組合事務所

酒井 哲

古文書は語る(51) 天保飢饉と八王子横山宿窮民救済仕法

—成内家文書「宿内救方仕法帳」より

馬場 憲一

多摩の金融史(9) 西多摩郡における産業組合の展開(1)

小島 庸平

多摩の歴史を立体視!—赤色立体地図の展開(1) 赤色立体地図こと

はじめ—多摩丘陵で発見されたピラミッドと万里の長城

千葉 達朗

本の紹介

くにたち郷土文化館編『本田家と江戸の文人たち』

原 祥

澤井榮著『加住の歴史散歩—谷地庄滝山郷から加住地区へ』

渡部 恵一

◆調布市郷土博物館だより

〒182-0026調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656 1978年創刊

◇80 2019.3 A4 12p

「明治一五〇年」を迎えて 明治150年関連企画展「明治期の調布—教

育・産業・戦争」の様子

「地域史料のなかの近藤勇・幕末のなかの新選組」抄録 三野行徳氏 土井 昭徳

史料紹介 調布町丸玉葡萄園の代金勘定書(柳屋小柳家文書)

芝崎由利子

◆調布の文化財 調布市郷土博物館

〒182-0026調布市小島町3-26-2 TEL042-481-7656 1986年創刊

◇57 2019.3 A4 8p

市指定有形文化財「武陽多摩郡浮岳山昌楽院深大寺縁起」

赤城 高志

深大寺の文化財

深大寺縁起と国宝・釈迦如来像

赤城 高志

現代語訳『深大寺仮名縁起詞書』

武州多摩郡浮岳山昌楽院深大寺縁起

現代語訳・赤城高志

◇58 2019.3 A4 8p

国指定史跡「深大寺城跡」の第2回追加指定

赤城 高志

新登録の国文化財 国登録有形文化財(建造物)「旧武者小路実篤邸」稲葉 和也
新登録の都文化財

都指定史跡「狐塚古墳」

赤城 高志

市指定有形文化財(建造物)「虎狛神社石鳥居」、市指定有形文化財(歴

史資料)「虎狛神社之碑」

長瀬 出

指定文化財の保存管理

市指定天然記念物「シロハナヤブツバキ」の樹勢回復処置

石川 晶生

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮根団地105 多田統一方 FAX03-3964-

8548／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須絃一方 FAX048-479-7490

年2000円 <http://tias3.web.fc2.com>

◇135 2019.3 A4 6p

報告 2019年度総会・研究大会・記念講演会の概要

文・奥原一三

八木司郎・東京産業考古学会会長の総会挨拶

報告 「東京駅に、谷中のリボンに―アマチュアとしての遺産へのか

かわり―」 講師：権上かおる

文・写真 奥原一三

新刊紹介 『化学史への招待』編集：化学史学会

平井 東幸

報告 見学会「野木町ホフマン輪窯等」(新井家ふるさと記念館編)(4)

写真・文 八木司郎

文献紹介 『アート・ビギナーズ・コレクション もっと知りたい刀

剣 名刀・刀装具・刀剣書』内藤直子監修

多田 統一

産業遺産を訪ねて(20) 旧県庁舎および県会議事堂

―山形市郷土館「文翔館」として公開

文・写真 平井東幸

文献紹介 『博物館と観光―社会資源としての博物館論―』

青木豊・中村浩・前川公秀・落合知子編著

多田 統一

茨城県行方市の赤煉瓦建築物「曹洞宗常安寺煉瓦門」

文・写真 八木司郎

◆東京の文化財 東京都教育庁地域教育支援部管理課

〒160-0023新宿区西新宿2-8-1 TEL03-5320-6862 1979年創刊

◇126 2019.3 A4 8p

東京都指定文化財の新指定

東京都指定有形文化財(建造物) 旧小出邸、ほか
文化財を活かす(渋谷区) 旧朝倉家住宅の保存と活用
文化財を活かす(東村山市)

下宅部遺跡の活用 研究成果をベースとして
重要文化財「東京府・東京市行政文書」の修復事業について

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520 立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付
TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇50 2019.3 B5 28p

巻頭言 日本文化の個性・固有性 岩井 正浩

第32回大阪大会報告 博物館と民俗音楽

さらなる発展を願って 藤井 知昭

第32回大阪大会を終えて 片桐功／岡田千歳

基調講演とシンポジウムを終えて

博物館にきた資料 福岡 正太

協働的なアーカイヴズ活動 寺田 吉孝

「モースの雑巾」効果 笹原 亮二

記録・収集・研究・教育・そして社会貢献 嶋 和彦

シンポジウム余話「私と与那と」 小林 公江

シンポジウムは モー大変！ 小野寺節子

研究発表余話

民俗音楽と教育が会える場所 磯田三津子

タコツボからの逃走 川崎 瑞穂

伝承用映像制作から見えた採譜の問題 荒木 真歩

管弦楽の研究をして思うこと 大久保型子

発表を終えて 山本 真弓

民俗芸能公演一河内仁○加と地車太鼓 「河内にわか」について 塩路鐵砲水

平成30年度日本民俗音楽学会総会報告 山本 幸正

第11回民俗音楽研究会報告 盆踊りの由来と変遷—ナニヤドヤラを例に

第11回民俗音楽研究会を終えて 星野 紘

研究発表余話 萬 司

参加者よりの投稿 “なにやとやら”の詩形と旋律形の展開 城所 恵子

2017年度「小島美子・藤井知昭記念日本民俗音楽学会賞」審査選考に

についての報告 入江 宣子

小島美子・藤井知昭記念日本民俗音楽学会賞の授賞に際して 小島 美子
新刊の紹介 小出英樹著『わらべうたは死なず どっこい生きている
日本人の音楽性―千葉県船橋市のわらべうた調査から』 岩井 正浩
会員の広場 兵庫の民謡と子もり歌 長谷川栄治

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091 1956年創刊

◇372 2019.4 A4 2p

豊島氏関係史料を読む 番外編 平安末～鎌倉期の豊島氏 伊藤 一美
新緑の秩父札所巡り(2) 明智寺／大慈寺／常楽寺／少林寺／野坂寺
／慈眼寺／今宮坊／西光寺／定林寺

◆練馬古文書研究会会報

〒176-0022練馬区向山3-21 保戸塚太地方 TEL03-3999-8871 1985年創刊

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/>

◇62 2019.5 B5 4p

公開講演 「日本の書道史と古文書学研究」を拝聴して 羽鳥 孝明
大山信仰とは何か 高林 鮎太
伊勢・神宮文庫を訪ねて 柴辻 俊六
事務局通信 平成三十一(令和元)年度総会報告 保戸塚太地

◆ねりまの文化財 練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係

〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇104 2019.4 A4 6p

平成30年度新規の登録文化財

金乗院山門(登録有形文化財)、山口家資料(登録有形文化財)

練馬区指定文化財一覧／練馬区登録文化財一覧 有形文化財、無形文
化財、有形民俗文化財、無形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物
山口家資料にみる種子屋 練馬三陽種苗商会／印箱／店内で使用され
た用具／カタログの版下

◆深川東京モダン館だより

〒135-0048個江東区門前仲町1-19-15 TEL03-5639-1776

<http://www.fukagawatokyo.com>

◇75 2019.3 A4 4p

モダン館ボランティアガイドだより(72) 梅雨小袖昔八丈と深川閻魔

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026府中市南町6-32 Tel042-368-7921 1988年創刊

<http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

◇32 2019.3 A4 34+112p

考古学資料の3次元計測、応用と可能性(2)

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 一府中市武蔵台遺跡出土後期旧石器時代石斧(2) | 野口淳／横山真／千葉史 |
| 関東における掛かりの瓦の出現 | 深澤 靖幸 |
| 府中市龍泉寺 木造釈迦如来立像と清凉寺式釈迦如来像について | 齊藤 経生 |
| 「くらやみ祭」の古層へ(1) 大國魂神社例大祭における基層信仰 | 小野 一之 |
| 府中宿の成立に関する一考察 | 花木 知子 |
| 輪王寺宮公遵法親王と徧無為 依田貞鎮 | 野田 政和 |
| 町の人生 戦中戦後府中のくらしと商店街の変遷 | |
| 一大室智夫ライフヒストリー | 佐藤 智敬 |

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 大日方研究室内

1962年創刊

◇97 2019.5 B5 88p 1500円

《特集 幕末維新期の民衆・地域社会と軍事》

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 特集にあたって | 民衆史研究会委員会 |
| 幕末期京都警衛における夫人足徴発 | 岩城 卓二 |
| 幕末維新期の海防・開港をめぐる幕府政策と地域社会 | |
| 一「將軍の港」構築から開港へ | 高久 智広 |
| コメント | 中野 良 |
| 討論要旨 | 渡邊 剛 |
| 書 評 | |
| 似鳥雄一著『中世の莊園経営と惣村』 | 伊藤 俊一 |
| 八鍬友広著『闘いを記憶する百姓たち 江戸時代の裁判学習帳』 | 工藤 航平 |
| 長島淳子著『江戸の異性装者たち』 | 鈴木 則子 |
| 谷山正道著『民衆運動からみる幕末維新』 | 東野 将伸 |
| 食を通して近代の「人びと」の暮らしを描く | |
| 一書評 湯浅規子著『胃袋の近代 食と人びとの日常史』 | 岩崎 正弥 |
| 新刊紹介 | |
| 新村拓著『売薬と受診の社会史—健康の自己管理社会を生きる』 | 萱田 寛也 |

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒190-8520立川市柏町5-5-1 国立音楽大学 山本幸正研究室気付

TEL042-590-0223 <http://www.s-jfm.org>

◇44 2019.3 B5 69p

能の学習が児童の心身に与える影響

—アンケート調査による検証

田村にしき／松浦直己

東京都立高等学校及び東京都立中等教育学校後期課程の芸術(音楽)に

おける我が国や郷土の伝統音楽及び和楽器の取り扱い状況について

浅田 裕

〈第32回大会報告「博物館と民俗音楽」(2018 大阪)〉

基調講演「音楽研究の新しい形を求めて—博物館やアーカイブズとの

連携の可能性」

寺田 吉孝

基調講演「博物館資料としての民俗音楽—いつかどこかで誰かの役に

…」

笹原 亮二

シンポジウム「博物館と民俗音楽」 司会 福岡正太／シンポジスト 寺田吉孝

・笹原亮二・嶋和彦・小林公江・小野寺節子

研究発表 要旨と質疑応答 司会：山本陽子・黒田清子

多文化共生をめざす小学校にみる韓国朝鮮の音楽の役割—大阪市立

御幸森小学校の教育実践を対象に

磯田三津子／文責・黒田清子

民俗音楽の間のテキスト性再考—木内論文の批判的継承に向けて

川崎瑞穂／文責・黒田清子

研究発表 要旨と質疑応答 司会：上西律子・田村菜々子

伝承用映像制作から見る太鼓踊りの芸能—奈良・篠原踊を事例に

荒木真歩／文責・上西律子

広島県の内陸部における管弦祭

大久保聖子／文責・上西律子

地車曳行時における地域空間と地車囃子と曳き手との関係—河内長

野西代地区の地車囃子を事例として

山本真弓／文責・上西律子

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0843新宿区市谷田町2-33 法政大学デザイン工学部建築学科内

TEL03-5228-1496 年9000円 <http://www.folkhouse.org>

◇155 2019.5 B5 101p

扉絵 19世紀初期の美しい民家

道塚 元嘉

巻頭言 日本民俗建築学会シンポジウム展望

杉本 尚次

審査論文 旧北国街道今庄宿における近代町家の建築的特徴

青柳憲昌／坪田叡伴／大場修

2018年度大会発表研究論文

故香月徳男撮影による写真資料の分析

坪郷 英彦

アルミ屋根の放熱効果による雪下ろしの研究

朴 賛弼

和食文化に対する「食」と「温熱環境」に関する基礎的考察

出口 清孝

聖福寺塔頭の本堂と庫裏

佐藤 正彦

再考「くど造り」

土田 充義

シンポジウム報告 地域を支える学校建築の意義と活用

竹下浩子／河村明植／大西直子

見学会報告 伊予の学び舎と民家・町並みを巡る

一歴史の継承と使い続ける建築

河村明植／大西直子／竹下浩子

民俗建築アーカイブ(16) 岡山にある犬養毅の生家と記念館

民俗建築アーカイブ担当

研究会報告 1970年代の韓国農村集落と住居

朴賛弼／寺門征男／大平茂男

One Shot Minka(23) 丹後の笹葺き屋根

長岡 正宏

会員活動情報 早津剛氏の絵画を魚沼市に寄贈

古川 修文

新刊紹介

『住の民俗事典』 森隆男編 編集委員：山崎祐子・松田香代子

土田 充義

◆昔話伝説研究 昔話伝説研究会

〒150-0011渋谷区東4-10-28 国學院大學文学部 花部英雄(1107)研究室

TEL03-5466-0224 1971年創刊 <http://mukaden.tiyogami.com>

◇38 2019.3 A5 110p

心学道話と口承話―『鳩翁道話』を中心に

中村とも子

説経『しんとく丸』―物語構造からの検討

内藤 久義

「多胡羊太夫」伝説について―『縁起』を中心に

清野 知子

「創作妖怪」はいかにして妖怪らしさを感じさせるのか

永島 大輝

芥川龍之介「ひよつとこ」への一考察

一面にまつわる怪異譚との関わりを中心に

西座 理恵

資料 飛島の信仰、俗信、世間話

清野 尚史

資料 日々の俗信・世間話報告

永島 大輝

◆明治維新史学会だより

〒261-0014千葉市美浜区若草1-4-1 神田外国語大学 町田明広研究室

2004年創刊 www.ishinshi.jp

◇26 2019.5 B5 17p

〈2019年度第49回明治維新史学会大会報告要旨〉

幕末期の政治と「御国益」論—盛岡藩と新渡戸十次郎を事例として 岩本 和恵
文久期伊勢神宮の動向—朝廷との関係を中心に 安部 玄将

明治初年の「三河国十藩集会」と「公議」 伊故海貴則

三新法体制下における道路開鑿事業

一府県域の変遷と府県土木事業の成立 濱田 恭幸

小特集 改元

元号の幕末維新 刑部 芳則

明治改元と「恩赦」 宮間 純一

例会報告要旨

幕末維新期の政局と土佐藩—『寺村左膳道成日記』と『神山邦康日記』を中心に 小林 哲也

明治元・二年長崎の外国交際と沢宣嘉—沢宣嘉『九州事件并長崎裁判所御用仮留日記』を中心に 澤井 勇海

三新法体制下における道路開鑿事業

一府県域の変遷と府県土木事業の成立 濱田 恭幸

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011文京区千石2-42-7 田中寛方 Tel03-3945-2497 年3500円

1995年創刊 <http://www.yuubinshi.sakura.ne.jp>

◇47 2019.3 B5 74p 2000円

北清事変と郵便物通送 立山 一郎

「会計」で見る戦後の郵便事業(2) 郵政事業のキャッシュフロー分析 藤本 栄助
資料紹介

郵政博物館所蔵 昭和20年代の切手・葉書の下絵と原画／関連紹介

昭和12年用年賀切手図案の入選作品と選外作品 星名 定雄

旧刊紹介(21) 『通信協会雑誌』第183号 山川 一郎

『通信協会雑誌』第183号 鈴木 克彦

『通信事業図解』と神功皇后切手 山川 一郎

阿部興人宛前島書簡の発見 菊地 勇治

近刊紹介

立山一郎 明治前期の大阪肥後航路と汽船便 近辻 喜一

ジェームズ・バロン(高山祥子訳) 世界一高価な切手の物語 星名 定雄

大橋尚泰 フランス人の第一次世界大戦一戦時下の手紙は語る 星名 定雄

郵政博物館編著 知ってる? 郵便のおもしろい歴史 星名 定雄

追悼抄

早川さんのこと

早川さんを偲んで

2018年度総会・研究発表会の報告

田中 寛

上遠野義久

上遠野義久

◆洋学史研究 洋学史研究会

〒116-0014荒川区東日暮里3-12-17 松本英治方 TEL03-3891-6482

年5000円 1984年創刊

◇36 2019.4 A5 178p 3500円 *終刊

巻頭言 「洋学史研究」終刊号によせて

片桐 一男

蘭学家老 鷹見泉石の著作と収集の優品

片桐 一男

シーボルトが持ち帰った蘭日、日蘭辞書の行方および『バスタード辞

書』について

大井 昇

ビッドル提督が提出した英文の邦訳

三好 彰

箱館における通弁御用の「業前御試」実施について

江本 嘉敏

適塾の塾生水留昇仙の履歴について

塚越 俊志

史料紹介 『江戸新板のんのこぶし・江戸新作のんのこさいさいぶし』長田 和之
書 評

片桐一男著『出島遊女と阿蘭陀通詞』一片桐先生の目力(めぢから) 松尾龍之介

松尾龍之介著『踏み絵とガリバー 鎖国日本をめぐるオランダと

イギリス』

河元由美子

大井昇著『長崎絵図帖の世界』

松本 英治

岩下哲典・安田震一・橋本真吾・塚越俊志・小川唯・高田誠・中川

仁・濱口裕介・吉田雅子著『東アジアの秩序を考える 歴史・経

済・言語』

和田 勉

15分トーク要旨 勝海舟文書の数学書123番とアベブックについて

北邑 一恵

◆洋学史通信 洋学史学会

〒182-8585調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学研究科 佐藤

賢一研究室気付 TEL0424-43-5592 <http://yogakushi.jp.org>

◇31 2019.4 A4 20p

会長挨拶

沓掛 宣賢

洋学史学会総会

『洋学史研究事典』について

新刊紹介

吉岡誠也『幕末対外関係と長崎』

青木 歳幸

松方冬子編『国書がむすぶ外交』	青木 歳幸
化学史学会編『化学史への招待』	青木 歳幸
坂井建雄編『医学教育の歴史—古今と東西』	青木 歳幸
書評 宮田奈奈「1908年から1914年まで横浜に駐在したドイツ領事ハ ンス・キューネとOAG」	堅田 智子

神奈川県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課
Tel046-225-2060 2010年創刊

◇20 2019.3 A4 4p

厚木市域の平安・鎌倉の武士—毛利荘と毛利・大友氏 菱沼 一憲

◆馬の博物館研究紀要 馬事文化財団・馬の博物館

〒231-0853横浜市中区根岸台1-3 根岸競馬記念公苑 Tel045-662-7581
1987年創刊 <http://www.bajibunkajrao.ne.jp>

◇21 2018.12 B5 58p

和式鎧の右と左 片山 寛明
朝倉政元一鞍を作る戦国武士の周辺 長塚 孝
史料紹介 寛永六年「下総国小金野馬売付之帳」について 金澤 真嗣

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0021小田原市早川160 青木良一方 Tel0465-22-8852
年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇257 2019.4 A4 28p

小田原藩士たちの明治維新(上)—「有信会」の結成とその足跡 宍倉 正弘
旧制中学で迎えた学制改革 大橋梓さん・津田貞夫さん
大久保さんと永久寺の天守七尊 市橋匠さん
「不調法」な話で恐縮ですが 市橋貢さん
北村透谷と演劇(上)—囚われ人の恋愛と悲劇 荒河 純
二宮尊徳と『論語』(8) 岩越 豊雄
UMECOでパネル展示 青木 良一
片岡日記 昭和編(16) 昭和3年12月 片岡永左衛門
富士山周りの浅間社を巡る初詣 田中 豊
小田原史談会セミナー要旨 小田原の民俗資料から分かること

講師：保坂匠氏(小田原市郷土文化館学芸員)

山口 隆夫

◆開国史研究 横須賀開国史研究会

〒238-8550横須賀市小川町11 横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内

TEL046-822-8116 年1000円 2001年創刊

◇19 2019.3 A5 179p 800円

口絵解説 文政五年浦賀来航の英船サラセン号船図(中島清司画) 齋藤 純

『開国史研究』第十九号の発刊にあたり 山本 詔一

総会記念講演 ペリーとハリスのあいだ

―世界史のなかの日本開国 後藤 敦史

開国史講演会 小栗上野介と横須賀製鉄所(造船所) 村上 泰賢

開国史研究講座講演録 近代横須賀の市政と人々 吉良 芳恵

ペリー来航対策の大名上申書―徳川斉昭編「遐蛮彙議」による分析 今津 浩一

名村五八郎と仲間たち―日本近代化への実働部隊 碓井 文昭

旧横須賀軍港・逸見波止場衛門の特徴と意義 白石 健一

『横須賀繁昌記』を読む(8) 山本 詔一

史料紹介

上野介小栗君紀功碑について 樋口 雄彦

サラセン号浦賀来航の記録(1) 齋藤 純

ブラザーズ号浦賀来航の記録・補遺(2) 齋藤 純

◆神奈川県立公文書館だより

〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1 TEL045-364-4456 1994年創刊

<https://archives.pref.kanagawa.jp>

◇40 2019.3 A4 4p

神奈川県立公文書館 業務検証委員会報告

ホームページ及び資料検索システムのリニューアル

開館25周年記念展示「公文書を考える 『県民歌関係綴』から」 齋藤 達也

ここが変わります公文書館

◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊

◇65 2019.4 A4 2p

家庭裁判所 調停委員を終えて 高階志津江

江刺昭子氏講演会の報告 江刺昭子「働く女性へのハラスメント―メ

ディアの場合、明治から現代まで」

星賀 典子

◆郷土誌 葉山 葉山郷土史研究会

〒240-0112三浦郡葉山町堀内1874 葉山市立図書館内 葉山まちづくり協会

TEL046-876-0421 2004年創刊

◇13 2019.3 B5 100p 1000円

《『葉山町の歴史とくらし』拾遺その3》

グラビア

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 「ユンカーマンさんの葉山」レンズがとらえた65年前の風景 | 池田 京子 |
| 葉山町のマッチラベルと商盛 | |
| ―葉山町「三枝惣治氏コレクション」より | 内海 孝 |
| 森戸川水系の支流と沢・橋 | |
| ―厨子市桜山大山を含む(大正15年6月資料を基に調査) | 今井 俊夫 |
| 適塾門下生 水留昇仙について | 塚越 俊志 |
| 葉山村の学校基本財産と下賜金 | 小形 克宏 |
| 葉山の古文書から知る離縁の実情 | 藤波勝次郎 |
| 海宝寺の記憶 | 鈴木 美保 |
| コラム 鐙摺祇園会で神輿巡行再開(再録) | 小池 邦夫 |
| 鐙摺山・鐙摺城跡・供養塚 | |
| 町制五十周年記念『葉山町郷土史』の再読 | 鈴木 雅子 |
| 畠山山頂に残る二つの遺跡 | 鳥居 信吉 |
| 葉山の小名「山ノ神」を尋ねて一私の地名散策 | 松元 岑生 |
| コラム 木古庭から葉山町最古の「有舌尖頭器」が出土 | 市川 洋征 |
| 竹のある町とともに歩む「葉山竹細工研究会」 | 寺山ルリ子 |
| 村明細帳にみる下山口村の状況 | 濱岡 辰紀 |
| 江戸後期の下山口村の村況 | 鳥居 信吉 |
| 野帳に計算ミスはあるか | 熊崎 孝 |
| コラム 奇人―50年近く前のこぼれ話 | 藤波勝次郎 |
| 続・コレラの流行と葉山 | 内藤 範子 |
| コラム こんな本あります!『地名でたどる郷土の歴史』(資料紹介) | 松元 岑生 |
| 「朝鮮人來朝(朝鮮通信使)御用御免願書」にみる三浦半島の御用事情 | 加畑千鶴子 |

◆京浜歴科研年報 京浜歴史科学研究会

〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12 大湖賢一方 TEL045-825-3736

1987年創刊 <http://www.asukawa.com/rekika/r001r01.thm>

◇31 2019.2 B5 28p

巻頭言 細井和喜蔵『奴隷』の故地を訪ねて
橘耕斎の人物像をめぐる
慶応四年の外国公使参朝警護

伊東 富昭
塚越 俊志
野村 晋作

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016平塚市東八幡2-8-20 西海賢二 年1000円 1979年創刊

◇157 2019.5 B5 6p

三遠信美流れの結節点—限界の山村暮らしから(5)

小馬寺の信仰が衰退した経緯を生業体系の変化から読む

西海 賢二

◆寒川町史研究 寒川文書館

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 TEL0467-75-3691 1988年創刊

◇30 2019.3 A5 93p

《特集 マッチラベルのデジタルアーカイブ》

特集にあたって—デジタルアーカイブ事業の概要

高木 秀彰

たるみ燐寸博物館はいかに鍛えられたか

小野 隆弘

マッチラベルと寒川地域社会—商業地勢の立体化をめぐる

内海 孝

マッチ国産化政策と吉井友實—資料紹介／交詢雑誌「東京新燧社之記」

内海 孝

講演会 茅ヶ崎と寒川の幕末維新

大口勇次郎

実習レポート 博物館実習Ⅱ実務実習レポート

加山菜穂子

表紙解説 三枝惣治氏マッチラベルコレクションより

◆寒川文書館だより

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 TEL0467-75-3691 2007年創刊

<http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

◇25 2019.3 A4 8p

表紙 扇型栓抜(寒川文書館所蔵)

資料紹介 町制30周年の記念品

三枝マッチコレクションのデジタルアーカイブ

総合図書館・文書館合同企画展示

寒川文書館第28回企画展「平成をふりかえる」

文書館最近の出来事 資料保存ワークショップ／全史料協全国(沖縄)

大会／ミニ展示「亥年のできごと—公文書が語る現代史9」

◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊 <http://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇34 2019.3 A4 12p

戦死の記録一日中戦争における戦死

羽田 博昭

横浜の古着商と「駿河屋」倉田家資料について

平野 正裕

閲覧資料紹介 『戦記 甲府連隊』『甲府聯隊写真集』

羽田 博昭

◆自然と文化 平塚市博物館研究報告

〒254-0041平塚市浅間町12-41 TEL0463-33-5111 1977年創刊

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>

◇42 2019.3 A4 100p

米軍のコロネット作戦に対する第53軍の本土防衛

一鷹取山に構築された本土決戦陣地遺構群(3)

市原 誠

小田原城出張軍監・豆相監察安永又吉の地域支配

早田 旅人

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方 1980年復刊

<http://shounankouko.jimbo.com>

◇155 2019.4 B5 24p

スクラップ

加賀谷真良

卒論要約 弥生時代後期における東海系土器の研究

一相模川流域と引地川・境川流域の比較検討

成澤 亮

心の考古学まで(16) 前方後円墳の築造に関する考察

横穴墓の起源一記紀との接点を求めて

古要 祐慶

「第36回 藤沢市遺跡調査発表会」に参加して

久保 一介

平成30年度かながわの遺跡展『潮風と砂の考古学』見学記

花田 信弘

藤沢市の「大庭城発掘調査報告書」刊行と記念講演会開催等の努力を

高く評価する一出色の講演会内容の紹介と私見

米 諄

2月23日 意見交換会「市民協働の考古学教育の可能性を考える」実

施報告

榊原 智之

◆戦争と民衆 戦時下の小田原地方を記録する会

〒250-0011小田原市栄町3-13-21 井上弘方 1980年創刊

◇82 2019.3 A5 32p

聞き取り 毎年、八月一五日はすいとんの日 話し手: 杉山紋子

解説 戦前の看護婦について	井上 弘
聞き取り 小田原空襲で焼けなかった我が家 話し手：矢口智一	
解説 新玉小空襲と小田原空襲について	井上 弘
『未来へつなぐ小田原の戦争体験』を読んで	
わが身にひきつけて読みました	清水 寛
戦争体験を語り継ぐことの大切さ	碓井 敏朗
心に刻まれた上原さんの慰霊碑	長谷川郁子
多くの人たちに四でほしい	綿引 光友
交流報告	
全国連絡会議第48回松山大会参加記	
(第19回米軍資料の調査・活用に関する研究会)	矢野 慎一
戦災・空襲記録づくり第34回東海交流会参加記	矢野 暁
資料紹介 戦死した伯父・鳥海富士太郎の軍歴証明書	井上 弘
書籍紹介 いのはなトンネル列車銃撃空襲遭難者慰霊の会編『中央本線419列車—いのはなトンネル列車銃撃空襲の悲劇—』	井上 弘
七三回目の敗戦の日を迎えて想うこと	鶴見 尚弘
戦跡巡り報告 2018年夏の小田原市内戦跡巡り	井上 弘

◆治水神・禹王研究 治水神・禹王研究会

〒258-0026足柄上郡開成町延沢110 大脇良夫方 年3000円 2014年創刊

◇6 2019.4 A4 107p 1389円

巻頭 植村善博会長のもと新たな時代へ！	大脇 良夫
建築遺跡としての禹門の特徴とその意義	植村 善博
災害文化遺産の展示手法と防災教育への活用	

一禹王遺跡展の事例から

大邑潤三／片山正彦／谷端郷

『災害文化遺産 日本の禹王遺跡と治水神・禹王信仰展』の目的とその

意義	植村 善博
----	-------

2018年公祭大禹陵典礼に招待参加して	大脇 良夫
紹興市再訪と中日大禹文化国際学術シンポジウム	竹内 晶子
紹興の運河園見学と大禹精神の今日的意味	水野 浩
紹興市の禹王遺跡訪問記録	植村 善博

台湾巡検旅行日記

はじめに	植村 善博
------	-------

第1日目 関西空港—桃園空港—新竹—台中永豊棧酒店泊	大邑 潤三
----------------------------	-------

第2日目 台中—921地震教育園區—埔里—霧社—廬山温泉泊	谷端 郷
-------------------------------	------

第3日目 廬山温泉—日月潭(文武廟)—嘉義公園—阿里山賓館泊	田中 麦子
--------------------------------	-------

第4日目 阿里山祝山駅—玉山ご来光—烏山頭ダム・八田與一像— 鹿耳門天后宮—塩行禹帝宮—台南大飯店泊	中嶋奈津子
第5日目 台南水仙市場—神農街・薬王廟—安平古堡(ゼーランドア 城)—高雄空港	植村 敏子
紹興游記と大禹陵を訪ねて—禹王の「疏」思想	深野 彰
治水神・禹王研究会と萩	淵本 忠信
第7回全国禹王サミット in 海津 現地見学会へのいざない	水谷 容子
禹王遺跡レポート	
出納藤左衛門墓碑と禹翁塔	菊田 徹
武岡充忠編著『淀川治水誌』と禹王	竹林 征三

◆日本の石仏 日本石仏協会（発売：青娥書房）

〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-409 TEL0452-943-4409 年8000円

1977年創刊 <http://www.sekibutukyokai.jp>

◇167 2019.4 A5 64p 2000円

表紙 春の詩 山梨県南アルプス市上宮地 伝剛院	写真・文 中森勝之
巻頭随想 石仏写真に想うこと—協会写真展から	坂口 和子
《特集 熊野磨崖仏の造像の背景をさぐる》	
第40回石仏公開講座より 熊野磨崖仏の造像の背景をさぐる	村松 哲文
石仏探訪15つづき 丸石道祖神ノート(2)	
—丸石信仰の起源(2) 信仰・思考の側面から	岡田 均
石仏論考	
城の石垣に転用された石造物	大久保 修
石橋供養塔を兼ねた日参供養塔	南川 光一
誌上講座	
石仏入門(21) 甲子待塔	門間 勇
名号塔の知識(32) 九州の名号塔	岡村 庄造
第120回石仏見学会報告 埼玉県さいたま市岩槻区 岩槻駅周辺の石仏	
めぐり 案内者：多田治昭氏	多田 治昭
あ・ら・か・る・と—私の石仏案内	
平成の青面金剛像 木更津市戸隠神社	門間 勇
萬神(よろずがみ) 千葉県君津市山本の船塚山	田中 英雄
コラム 新潟の山から(2) 菅笠婆の道標	田中 英雄
会員の広場	
大村市福重地区の線刻仏と仏頭石	中野 高通
石工の仕事—守屋貞治十三仏(覆屋で大切に保存された彫刻)	保坂 涼子

但馬 二つの隔夜塔
 変わった庚申塔二題
 首地藏
 日本石仏協会主催「石仏写真展2019」報告

殿南 直也
 中森 勝之
 早川 孝正
 中森 勝之

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852

年2500円 2003年創刊 <http://hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/>

◇63 2019.3 A5 128p 500円

ハーモニカの神様・錦貫誉

二宮金次郎ガイド抄録

清水宗治の切腹

小田原藩領の報徳仕法廃止の一因

続・ボクの映画館(17) オーソン・ウェルズの『市民ケーン』

越の国を訪ねて

酒匂だより 「湯加減」

橋本樸々『諸佛画集』(8)

続・僕の柔道記 隣の満ちゃんとあの頃

関東十八檀林記(7) 浅草から本所・深川へ

小説 川崎長太郎日誌(8) 抹香町外伝(其の壱)

真言の人・空海(8)

岸 達志

石川 和彦

今川 徳子

尾上 武

平倉 正

下田 勝也

町田紀美子

橋本 龍

武田 敏治

青木 良一

芳賀喜久雄

茂木 光春

◆三浦一族研究 三浦一族研究会

〒238-8550横須賀市小川町11 横須賀市文化スポーツ観光部文化振興課内

TEL046-822-9478 年1000円 1997年創刊

http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0130/culture_info/miura_ichizoku/

◇23 2019.3 A5 175p 800円

口絵資料紹介・解説 『源平合戦図屏風』

総会記念講演 運慶研究の最前線

永享の乱における三浦氏の動向とその位置づけ

野比三浦氏：その山内上杉氏を介した三浦郡および南秋田郡における

動向について

安部川智浩／三浦直子

講演会 南北朝動乱と三浦一門

山田 邦明

基礎講座「史料で読む三浦一族の姿」第1回 史料にみる享徳の乱

と三浦氏／第2回 史料にみる三浦氏の国衆化／第3回 史料にみ

る三浦氏の滅亡／第4回 史料にみる三浦道寸の文化的側面／第5

- 回 史料にみた戦国時代の三浦郡 真鍋 淳哉
 学習講座 幻の執権三浦氏 鈴木かほる
 史跡めぐり 三浦一族の歴史と文化を訪ねて 平成29年度 第3回
 「頼朝ゆかりの三御所を巡る」／平成30年度 第1回「称名寺・金沢
 文庫をめぐる」、第2回「絵図で歩く鎌倉」剣持輝久・編
 吾妻鏡を読む会
 合言葉は「いざ鎌倉！」行間に隠れている歴史の真実に迫る 伯山 敦仁
 平塚市土屋公民館訪問報告 平塚土屋に相模武士の源流を訪ねて 森 敏晴
 会員コーナー 『蒙古襲来絵図』に描かれている「あしなのはんくわ
 ん」は輩名盛宗か輩名頼連か 白石 健一
 幹事のオススメ本・情報紹介コーナー
 清水亮著『中世武士 畠山重忠 秩父平氏の嫡流』 伊藤 一美
 若命又男著『和田義盛 浄楽寺仏像の願主』 森 敏晴
 坂井孝一著『源頼朝と鎌倉』 芳賀 久雄
 三浦一族関係文献目録 (23) 中里行雄・編

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊

◇613 (52-1) 2019.4 A5 24p 350円

下之一色の「流し網」一元漁師 犬飼一夫さんの経験を中心として 長谷川洋一
 販売から見る農具の流通(2)一回転稲扱機について 桂 眞幸

民具短信 第22回常民文化研究講座・国際研究フォーラム「アジア民

具研究の可能性—民具体系と生活構造の比較から—」に参加して 木村 涼

◇614 (52-2) 2019.5 A5 24p 350円

団扇の頒布と祭礼—埼玉県熊谷市 熊谷うちわ祭を事例に 市東 真一
 隅田正三の民具研究—シリーズ 民具と出会う7 樫村 賢二

民具短信 第22回常民文化研究講座・国際研究フォーラム「アジア民

具研究の可能性—民具体系と生活構造の比較から—」に参加して 白石 哲也
 マンスリー掲示板 美濃加茂市民ミュージアム 2019年度収蔵品展

「蚕とまゆ展」／紙の博物館「白石の和紙—名産紙布・紙衣を中心に」

◇615 (52-3) 2019.6 A5 24p 350円

販売から見る農具の流通(三)—近代短床犁について 桂 眞幸

東方学研究国際フォーラム「厕所(便所)革命」に参加して

—共同研究「便所の歴史・民俗に関する総合的研究」に向けて 須崎 文代

民具短信 草刈機の開発過程—まほろしの「イグサ先刈機」 安倉 清博

マンスリー掲示板 高知県立歴史民俗資料館 企画展「土佐 木の民
具ものがたりーくらしとシゴトの木の道具@土佐」／パルテノン多
摩歴史ミュージアム 特別展「刀鍛冶と文明開化ー明治期・多摩の
乞田鍛冶の渡米に見る海外技術導入」

◆悠 久 鶴岡八幡宮悠久事務局（発売：おうふう）

〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊

◇157 2019.4 A5 100p 680円

《特集 践祚と即位》

践祚と即位

藤森 馨

即位儀礼における装束

橋本富太郎

皇位継承における三種の神器

ー古代における神璽と玉・鏡・剣の意味を中心に

小林 宣彦

近代の即位礼と皇室制度

齊藤 智朗

即位礼と礼服

八條 忠基

口絵解説 御即位図・御即位式之御図 國學院大學博物館蔵

吉永 博彰

八幡宮紹介 古谷館八幡神社（宮城県気仙沼市松崎中瀬）

新刊紹介 『古代からの風』神話・伝承・芸能 鈴鹿千代乃著／『生き
た証』岩手県大槌町「生きた証プロジェクト」大槌町役場総合政
策部震災伝承推進室・生きた証プロジェクト推進協議会編

◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒232-0022横浜市南区高根町2-8-12-1001 木村高久方 1984年創刊

◇78 2019.5 B5 66p

平成三十一年度を迎えて 会長就任に際して思うこと

木村 高久

平成三十一年度定期総会開催 新春発表会・新年祝賀会開催

高尾 隆

日本古代の高齢者

松尾 光

間宮林蔵の先祖 間宮氏の流れ

竹村 紘一

「大和守日記」家康ひ孫大名の生活と人生(2)

長尾 正和

初代・紋次郎の東京・横浜乗り込み(後編)

近藤 政次

甲州・海岸寺

清水 漠

細川忠隆・藩主の座と妻への愛

大瀬 克博

くじ引き将軍 足利義教

熊川 誠

やってしまった元平親王

真野 信治

大伯皇女…胎児の船出

遠田千代吉

古歌をたずねて(8) 「行く水に数書く」はかない片思い

丹下 重明

豊饒の海と輪廻転生思想雑感	長谷川憲司
麻と古代日本の祭祀	武田 収功
山里の風景、そしてキツネと草花	高野 賢彦
目白の杜から(1) 学習院と新天皇	村島 秀次
「吾妻鏡」の台風と津波・高潮	西沢 昭
そして…めぐり逢い	加藤 導男
色葉匂へど…歴史に想う事(1)	宮下 元
車窓雑記(3)	佐藤 猛夫
随想 私の川柳考	瀬谷俊二郎
手紙に見る独眼竜政宗の素顔	槇 良生
池の水を抜いたら…鎌倉にて	鈴木美恵子
平成三十年度下半期行事報告 第7回横歴落語会／秋季歴史散歩「知	
らなかつた横浜のこんな所・開港地横浜を歩く」	高尾 隆
追悼の辞 敬愛する友・針靖人さんの死を悼む	渡会 裕一

新潟県

◆郷土史燕 燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会

〒959-1262燕市水道町1-3-28 燕市教育委員会社会教育課文化振興係

TEL0256-63-7002 2008年創刊

◇12 2019.3 A5 234p

村上藩味方組大庄屋の一年

一宝暦八年(一七五八)「大庄屋日記」を見る

亀井 功

『越後輿地全図』なぜ日本唯一なのか―進化し続けた在野の「国絵図」

亀井 功

文化財・「赤門」との関わりから地域の思いを学ぶ 「赤門」移築百周

年に寄せて(校長 村山幸一)／燕東小学校四年生 総合学習での学

びの概要

燕市立燕東小学校四年生

吉田富所家文書「永代録」を読む

塚本 智弘

良寛の友 阿部定珍の『四国の記行』口語訳の試み

阿部 玲子

青年良寛の出奔と空白の四年間について

本間 明

大蛇伝説

平沢 陽一

地藏堂中村家の文人とゆかりの文人墨客

竹内 登

吉田地区の狛犬を尋ねて(7)

大江 登

逸話と「竹山日記」から当地の戊辰役を思う

西海土寿郎

表紙の写真について 御小屋日記 燕市指定有形文化財

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会

〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15 伊藤善允方 TEL025-266-3076

年4000円 1963年創刊

◇59 2019.3 A5 120p

表紙 「鳥屋野詣り」(新潟市歴史博物館所蔵)

親鸞の鳥屋野布教についての覚書(前)

井上 慶隆

新潟湊に現れた異国船と関屋村

一主として関屋村「安政六末年 御用留」から探る

植村 敏秀

国史跡「新津油田金津鉱跡」の価値と特色について

入江 清次

デューク・エリントンと新潟地震

藤井素彦／松本美樹

新潟ドイツ領事による「説明書」のゆくえ

青柳 正俊

新発田歩兵百十六連隊少尉弦巻辰三郎氏について

一日中戦争、家族への手紙を中心に

山上 卓夫

資料紹介 伊藤家『諸日記帳』(6)

伊藤 雅一

平成30年度春の史跡探訪旅行『群馬の史跡を訪ねて』

竹内 公英

第32回「会津と越後を語る会」新潟大会を振りかえって

一そして語る会の閉幕

高橋邦比古

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-2022新潟市西区小針6-29-1 鶴巻武則方 TEL025-231-6100

1935年創刊 <https://fsnp.mints.ne.jp>

◇412 2019.5 A5 48p

土地争いの義民伝承—越後国蒲原郡大蔵村の「白巖様」を交えつつ

星野 岳義

人間の民俗が皆無の南極紀行

広井 忠男

地藏信仰二題

金田 文男

法光院の紫燈護摩とお砂踏み

佐藤 和彦

『北越雪譜』の箱ソリ図

鶴巻 武則

会員出版物紹介 外山正恭編著『土の香—新潟県方言集—』

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会

〒940-0065長岡市坂之上町3-1-20 長岡市立中央図書館文書資料室内

TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊

◇56 2019.5 B5 201p

口絵 郷土の歴史資料紹介(6) 絵葉書「大正記念長岡市立互尊文庫」

(長岡市立中央図書館所蔵)

火焰土器研究のあゆみ～昭和編 越後長岡・火焰土器の話(5)

小熊 博史

新潟を拓いた縄文人を憶うー火焰土器・翡翠玉・寺地遺跡・編布にみ

る文化的遺伝子について

鷺尾 謙治

御館の乱と妙徳院(3)

ー妙徳院に秘されたミステリーと長岡城築城のゆえん

石田 哲彌

城内稲荷の芋引伝説

湯本 泰隆

血ノ峯城の縄張と『温古の栞』の記事をめぐって

目黒 公司

長岡藩主 初代忠成の奥方「永原女」の謎に迫る

ー京都から江戸への歴史とともに生きた女性

福田 則男

良寛の仮住について

本間 明

小千谷談判の検証(1)

稲川 明雄

近代の文献にみる越後孝婦ゆり

小熊よしみ

戊辰戦争から百五十年(2)

太田 修

北越戊辰戦争・明治維新一五〇考

広井 忠男

海舟と白峰駿馬

廣瀬 剛

宮本校百年のあゆみ

長谷川清司

山本元帥の羊羹

小泉 秀也

北越製菓株式会社について

内山 弘

東山油田の繁栄と長岡大花火の隆盛の関係について

ー戦前の長岡花火の目録(プログラム)からわかること

長谷川健一

精神科医三浦岱栄と岱栄が出会った人々

山岸 利光

平成長岡の街・映画上映会事情

長谷川浩一

幻となった長岡ふるさとカルタ

清水 誠一

「ながおか学」補説(2)ー福島江を調べる

米山 忠彦

地域探訪報告

奥羽越列藩同盟ゆかりの地ー加茂と田上椿寿荘を訪ねて

佐藤 信子

前川地区の歴史文化めぐり

広川 潔

巡見バス旅行報告

白虎隊剣舞と「戊辰戦争一五〇年展」を見学する旅

下玉利紀子

開催報告 平成30年度 古文書解読講座

小熊よしみ

資料紹介

平成30年度の長岡市委託事業から

長岡郷土史研究会事務局

表町石井家文書について

樺澤 幸子

古志郡山本村浦瀬関谷家文書について

樺澤 幸子

田中長嶺つれづれ(三島郡上富岡村田中家文書)

小林 芳郎

三島郡上富岡村田中家文書について

桜井奈穂子

三島郡飯島村細川家文書(近世・現代)について

林 朋子

三島郡飯島村細川家文書(近代)について
新潟県産業博覧会の資料調査について

西 和美
岡田佐輝子

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文化博物館新潟分館内
TEL025-222-2262 1978年創刊

◇164 2019.4 A4 16p

「良寛像」(小杉放菴・画) こすぎ・ほうあん(明治14年～昭和39年)

リレーエッセイ 良寛つれづれ(13) 「無一物無尽蔵」と亡父 捧 実穂
良寛遺墨鑑賞(12) 和歌 貞心尼に代てよめる 小島 正芳
折々の良寛(53) 良寛の法華経つれづれ 長谷川義明

「各地良寛会だより」(5) 魚沼良寛会の巻

回想 魚沼良寛会の誕生と魚沼大会 星野 修美
相馬御風の良寛(13) “書”が生活の糧に 金子善八郎

天上大風に想うこと 願真卿と良寛―篠田桃紅著「黒いろ」より／

富士山の素顔について 安達 武男

良寛に学ぶ(中) 仏向上の人・良寛 加藤 僖一

備中玉島と良寛さん(5) 円通寺所蔵の良寛さま遺墨 中藤 秀三

良寛 帰郷行脚の道 吉田 福恵

新刊紹介

『軽やかに生きる』 泉田玉堂著 柳本 雄司

良寛相見の師 宗龍禅師 顕彰会が「研究論集」を発刊

『宗龍禅師研究論集』 大和宗龍禅師顕彰会編 柳本 雄司

良寛を訪ねて(13) 寺泊 照明寺と密蔵院(上) 吉井 清一

富 山 県

◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116高岡市伏木一宮1-11-11 高岡市民文化振興事業団

TEL0766-44-5511 1991年創刊 <http://www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/>

◇29 2019.3 A5 66p

平群氏女郎歌群の実態と虚構―大伴家持による採録・編纂と文芸性 田中夏陽子
大伴家持の歌表記をめぐる 関 隆司

紹介 高岡市万葉歴史館所蔵『萬葉集』断簡 新谷 秀夫

新収蔵 高岡市万葉歴史館蔵 近藤芳樹『萬葉集評林』翻刻(下) 鈴木 崇大

◆富山史壇 越中史談会

〒930-0115富山市茶屋町33-2 富山県公文書館内 TEL076-434-4050

1954年創刊

◇188 2019.3 A5 96p 1300円

前田利長の隠居領と給人平均免試行

木越 隆三

中世越中の諏訪信仰一時代と共に変わる神格

松山 充宏

芦峯寺集落所在の大日如来坐像

一立山山麓に伝わる院派系仏師の一作例

杉崎 貴英

富山城・城下町遺跡出土品の再検討

鹿島 昌也

三嶽神社(岐阜市福富)と三禪定

一芦峯寺日光坊の尾張国での檀那場形成を踏まえて

福江 充

文化財レポート 小矢部市後谷の砦跡とその性格

高岡 徹

平成30年度特別講演会要旨 越中の北前船主と地域の産業化

中西 聡

最近の地方史情報

中条 充子

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315砺波市太田1770 尾田武雄方 TEL0763-32-2772

年3000円 1993年創刊

◇57 2019.4 A4 6p

南無仏と五劫思惟の阿弥陀如来

尾田 武雄

神明宮と白山堂

滝本やすし

花咲神社「刀尾天神」石像

平井 一雄

越中鍋屋彦命の碑

尾田 武雄

十王の石像

滝本やすし

石 川 県

◆加南地方史研究 加南地方史研究会

〒923-0903小松市丸の内公園町 小松市立博物館内 TEL0761-22-0714

1955年創刊 <http://kananchihoushi.com>

◇66 2019.3 B5 87p

未だ見ぬ大杉谷村史を求めて(2)一亀渕家文書から

山前 圭佑

学習指導要領の変遷と各学校の取り組み(1)

橋本 正準

越前国 西光寺過去帳から視られる事

岡田 孝

第4回「無告の岩一再び消えた村へー」石川県民の森・昭和49年保健

休養林施設開園(加賀市山中温泉杉子町字元上新保)

池端 大二

ある大杉村民の明治・大正・昭和の記録
 続・馬場町の小字名・通称地名など
 小松の棟札について考える
 湯浅家文書所載「追悼俳諧」について
 史料紹介 「鶴ヶ嶋村・鍛冶村・中野村」村御印
 報 告

小屋開地稔
 橋本 巖夫
 室山 孝
 綿貫 豊昭
 岡田 孝

小松市の山間部、松東地区の小学校が併合された
 「第二四回寺町サミット in 高岡」に参加して
 長圓寺と蓮如上人のお骨

城至 勝義
 坂山 宗嗣
 竹田外喜男

◆加能民俗 加能民俗の会

〒920-0963金沢市出羽町3-1 石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
 年4000円 1950年創刊

◇162 2019.3 A5 12p

石川県における今世紀の神社合祀研究

旧石川郡蜂屋村の事例について
 三か所の寺社行事を見学して 松尾寺／太郎坊宮／洲原神社

由谷 裕哉
 宮本 美子

◆加能民俗研究 加能民俗の会

〒920-0963金沢市出羽町3-1 石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
 年4000円 1972年創刊

◇50 2019.3 A5 67p

名妓をもとめた時代—東郭・浅野屋音羽の回顧録を読む
 鶴来ほうらい祭りの担ぎ唄—石川の春歌緒言考
 石川県域の年齢階梯制の記録作成調査覚書

大門 哲
 橋 礼吉

—その機縁・調査実施・進展などの概要
 グリ話ぐず話今昔(2)
 折口信夫の依代論における神霊観念

天野 武
 立花 玲子
 由谷 裕哉

◆日本学研究 金沢工業大学日本学研究所

〒921-8501石川郡野々市町扇が丘7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊

◇21 2018.12 A5 174p

災害下賜金と天皇の役割
 C I E宗教課カンファレンスレポートの研究(2)
 『長寛勘文或問』について
 史料 熱田神宮編年史料(稿本) 中世十三

川田 敬一
 清水 節
 平泉 紀房
 藤本 元啓

山 梨 県

◆富士吉田市歴史民俗博物館研究紀要

〒403-0005富士吉田市上吉田2288-1 TEL0555-24-2411 2015年創刊

<http://www.fy-museum.jp>

◇2 2019.3 A4 228p

資料紹介 『富士山禪定四十四図』

篠原 武

北口本宮富士浅間神社と御師の家に伝わる奉納額

篠原 武

富士登山道における境界の儀礼—吉田口を中心に

奥脇 和男

借金証文の中の富士山

菊池 邦彦

お殿様の富士参り

菊池 邦彦

木花開耶姫と民家の間取り

菊池 邦彦

近江国甲賀郡の富士浅間信仰(1)

菊池 邦彦

◆MARUBI ふじさんミュージアムだより

〒403-0005富士吉田市上吉田2288-1 TEL0555-24-2411

<http://www.fy-museum.jp>

◇46 2019.3 A4 8p

博物館Report

謎解き! 「一億總特攻」の石碑—戦争に生きた富士北麓の人々 宮下 仁

長 野 県

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655-7 TEL0265-22-8118

1990年創刊 <http://www.iida-museum.org>

◇29 2019.3 A4 100p

資料紹介 菱田春草筆《鎌倉時代闘牛の図》と一遍上人絵詞伝模写 小島 淳

菱田春草の名画の複製画を用いた鑑賞授業と展示 手塚俊尚／横村洋介

下伊那郡阿南町個人蔵「聖徳太子勝鬘經講讃図」について 織田 顕行

樽木成諸村の年貢(2)一年貢収納からみる『樽木成』 前澤 健

諏訪大工・立川富棟は善光寺で何を作ったのか

一新出の「惣金厨子」と『善光寺五重塔図』から読む 水野 耕嗣

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html>

◇99 2019.4 A4 4p

"ゼミ紹介&募集 近世史ゼミを再開します 担当者：羽田真也／地

域史ゼミを開始します 担当者：太田仙一

地域史講座を開催しました

羽田 真也

研究助成報告会を開催しました

太田 仙一

リレーミニエッセイ(18) 木沢小学校の史料研究

多和田雅保

新刊紹介 『飯田・下伊那の歴史と景観』 飯田市教育委員会発行／飯

田市歴史研究所編集

◆伊 那 伊那史学会

〒395-0081飯田市宮ノ上4048 TEL0265-22-6017 年5500円

◇1091 (67-4) 2019.4 A5 50p 550円

口絵 長野県天然記念物 鹿塩河合地区の「夜泣き松」

北村 尚幸

伊那谷の暖地系植物は増えているか？

小林 正明

千野鳩林(方功)遺聞

鎌倉 貞男

天竜川流域の御社宮司神(1)ー伊那谷南部の小字から(12)

今村 理則

増野原開拓七十年～満州から未開の増野原に挑む(2)

芦部 公一

水戸浪士天狗党の史跡を訪ねて一下諏訪・飯田・清内路・敦賀

橋本 悦子

各町村史学会の動き 第47回 豊丘史学会の総会

◇1092 (67-5) 2019.5 A5 50p 550円

口絵 関係者の熱意が実った文化財の修理

織田 顕行

第8回「文化財の保護保全を考える会」(報告)

開会行事 吉澤健会長挨拶／来賓祝辞 佐藤健飯田市副市長

講演 「文化財保護法」等の改正に伴って施行される今後の文化財

保護のあり方について

上田 典男

事例発表

虎岩の文化財を守る会の活動について

池田 健一

史跡恒川官衙遺跡の整備について

伊藤 尚志

全体討論(討論内容報告)

第1グループ

北原 更一

第2グループ

山内 尚巳

第3グループ

中島 正韶

閉会行事 まとめにかえて 伊坪事務局長

古賀比(蚕飼)神社創立の顛末

小島 稔

増野原開拓七十年～満州から未開の増野原に挑む(3)

芦部 公一

思い出の昭和(10) 内山煙火工場の大爆発事故

今牧詢子／鈴木みつ子／平栗孝子／原田晃／関谷邦彦

◇1093 (67-6) 2019.6 A5 50p 550円

《考古学特集号》

口絵 飯田下伊那で2点目の『富壽神寶』

高島 佳奈

飯伊にみられる縄文局地現象

桐原 健

『縄文時代研究辞典』東京堂出版1994 その中の下伊那

神村 透

下伊那唐草文土器圏内に於ける曾利系土器の様相

吉川 金利

三つの史跡と東山道一神坂峠遺跡・飯田古墳群・恒川官衙遺跡

市澤 英利

御猿堂古墳の埴輪とその系譜

春日 宇光

平成三十年下伊那考古学年報

小林 正春

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4501伊那市西箕輪3180 山口通之方 TEL0265-73-5538 年5000円

◇747 (63-4) 2019.4 A5 40p 500円

旧記に見る片桐城没落についての考察

片桐 充昭

天明の大飢饉の生き地獄を見た石工 餓死萬霊等供養塔

一石工 信州 飯島増右衛門

松橋 由雄

奪衣婆一十王像の中の女性一人

宮下 明子

高遠町諸町の中村家旧蔵資料より資料3点紹介 (1) 雲谷等額《人物往来》、(2) 阪本天山筆の漢詩屏風、(3) 英一蝶《聖像》(阪本天山賛文)

林 洋一

古文書の窓(141) 捨て子の話(上)

三浦 孝美

図説・上伊那の民俗(23) コートー念仏(駒ヶ根市東伊那大久保)

三石 稔

書籍紹介 『中沢区誌』(中沢区誌刊行委員会)

下島 大輔

◇748 (63-5) 2019.5 A5 40p 500円

松本忍び廻り

小池 悟志

伊那市が取り組む古い地名調査(14)

竹松 亨

伊那谷の校歌探索 その2 続・藤澤小学校

春日利比古

大正時代の変遷の政治家 野溝傳一郎

北原 昌弘

中央アルプス地名考(3) 南駒ヶ岳

吉田 保晴

文化短信 「わが河童の故郷に陸軍登戸研究所がやってきた」

清水 久志

図説・上伊那の民俗(24) 古瀬の獅子舞(中川村片桐古瀬)

三石 稔

研究報告書紹介 『地域研究年報 第41号』(筑波大学人文地理学・地誌学研究会 2019年2月)

山口 通之

◇749 (63-6) 2019.6 A5 40p 500円

《自然特集》

戸台の化石(1)―「戸台」を有名にしたトリゴニア	北村 健治
伊那谷の夜鳴く鳥―民俗の窓を通して(36)	吉田 保晴
砂利採取で証明された元禄期の農民愁訴	春日利比古
戦国時代末期の片桐氏の系譜とその動向	片桐 充昭
第6回井月忌の集い 井月忌俳句大会報告	大野田井蛙
第6回千両千両井月さんまつり 後日譚	春日利比古
文化短信 山の神	中崎 隆生
古文書の窓(143)	
高遠藩主参勤交代大名行列につき通し日雇い請負証文	清水 満
思い出の人・思い出の事(27)	
皇太子時代の上皇さまと上皇后さまをお迎えして	桃澤 匡行
図説・上伊那の民俗(25) 上原のお三夜様(伊那市美簗上原勢至堂)	三石 稔

◆伊那民俗研究 柳田国男記念伊那民俗学研究所

〒395-0034飯田市追手町2-655-7 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118

年3000円 1990年創刊 <http://inaminkenhomes.blogspot.jp>

◇26 2019.4 A5 132p

翁ともどき一折口信夫が南信州で考えたこと	小川 直之
長野県における盆の儀礼食―オヤキ・饅頭・天ぷら饅頭	福田 重
第1回伊那民俗研究集会「年中行事を探る」関連	
年中行事研究の現在	福田アジオ
長野県の特长的行事―儀礼食を中心に	倉石あつ子
正月飾りのハチジョウ	板橋 春夫
年中行事にみる民俗連鎖―正月の門松を中心にして	櫻井 弘人

◆市誌研究ながの 長野市公文書館

〒380-0928長野市若里6-6-2 1994年創刊

<http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>

◇26 2019.3 A4 223p 1500円

平成30年度長野市公文書館講演会

長野の出版文化―歴史と人、そして今	酒井 春人
前期評衙の機能とその変遷―屋代遺跡群・埴科郡(評)を題材として	鳥羽 英継
近世中期の煤鼻(裾花)川の災害	宮下 秀樹
佐久間象山の漢詩(10)	佐久間方三
善光寺手水屋の建立と大工達の動向	宮澤 政太

坂井衡平『善光寺史』を著し、国文学研究に捧げた生涯について	草間 律
近代における村の図書館—その成立と展開・消滅	田中 薫
武田軍の信濃侵攻と旗塚—長野県各地の旗塚	町田ゆかり
歿後百年 松井須磨子 墓所考	宮坂 勝彦
史料紹介 佐久間象山と洋学者市川兼恭	北澤 忠雄
アズマヒキガエルの生態	落合 照雄
平成30年度新収蔵資料目録 平成30年度移管「長野市役所文書」	関 秀延
GRAVURE	
松代天王祭絵巻	米澤 愛
神楽面 翁・天狗	樋口 明里
長池水原神社 改築工事図面	宮澤 政太
『善光寺史』の著者 坂井衡平	草間 律
松井須磨子が眠る東京新宿・多門院	宮坂 勝彦
アズマヒキガエルの生態	落合 照雄
長野市公文書館 平成30年度新収蔵品	関 秀延

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213

<http://www.shinano-shigakukai.jp>

◇831 (72-4) 2019.4 A5 84p 1150円

《特集 第三次『信濃』70周年記念研究集会》

記念講演 ほこり高き『信濃』の存在	高埜 利彦
シンポジウム 地域史研究の役割と課題 全体進行・小野和英／司会・後藤芳孝	
信濃史学会の役割を見つめ直す	青木 歳幸
行政をリードする意気込みで活動を	小林竜太郎
博物館の役割と取り組み	山中さゆり
討 議	

記念集会当日の様子

会長挨拶	小松 芳郎
来賓挨拶	川上 元

参加者からの感想

信濃史学会に期待すること	胡桃沢勘司
繋げてゆきたい『信濃』 信濃史学会に期待すること	若山 美帆
多くを学んだ会	百瀬さくら

開催趣旨と準備経過

文責・小野和英

資料 第三次『信濃』70周年のあゆみ

◇832 (72-5) 2019.5 A5 80p 1150円

大日向満洲分村移民における指導層の歴史認識

- 1930年代送出初期における指導理念を中心に 上條 宏之
 元禄期信濃国飯島代官所の「樽木成」改革 前澤 健
 律令制初期の地域再編に関する事後処理 関口 功一
 松本平の終末期古墳 桐原 健
 報告 第103回セミナー 研究報告 竹内靖長氏「近世の都市の生活
 —松本城下町の発掘から」／講演 塩原佳典氏「近世・近代移行期
 における松本地域の医療環境—病院・医学校をめぐる「公」の行方」

市川 包雄

◇833 (72-6) 2019.6 A5 80p 1150円

- 真田家臣・清水家文書の紹介と検討 黒田 基樹
 真田氏上田在城時代創建の藩主関係屋敷をめぐって 寺島 隆史
 満蒙開拓青少年義勇軍送出と郡市教育会の教師たち(下)
 —信濃教育会上伊那教育部会を中心にして 本島 和人

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7 TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊

<http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/>

◇312 2019.4 A5 64p 800円

口絵・表紙解説 四年ぶりにリニューアルオープンした北野美術館

- (長野市若穂綿内) 小林 玲子
 米沢芋川家発「信濃芋川氏の系譜」
 —『芋皮氏累世譜録』についての考察 志村 平治
 福島県桑折町で行った「孝子善之丞感見の曼荼羅」の絵解き 小林 玲子
 北信濃の俳諧を指導した小林迎祥(2) 矢羽 勝幸
 東山道支道について 小尾 登
 郷土史の視界(13) 塚田大峰か冢田大峯か、岩下桜園か岩下貞融か
 —統一著者名の問題点 小林 一郎
 生きた町の歴史を知ろう(18)
 平成の終わりの十年と善光寺門前の「ボンクラ」 小林竜太郎
 出版 長野郷土史研究会テキストブック『善光寺の一茶 200年、句
 が生き続ける門前町』小林一郎著、『信濃芋川一族 芋皮越前守親
 正』志村平治著

◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇270 2019.3 B5 8p

- | | |
|--|-------|
| ザザムシ漁を訪ねて | 三石 稔 |
| 道祖神が“多い”—『長野県道祖神碑一覧』を読む(2) | 倉石 忠彦 |
| 松本市四柱神社えびす講 まつもと伝統芸能まつりに参加して | 太田 真理 |
| 書評 窪田雅之著『信州松本発。博物館ノート—地域博物館でのささやかな試みと実践』 | 安室 知 |
| 書誌紹介 『3.11 靈性に抱かれて』金菱清編 | 下平 武 |

◇271 2019.5 B5 10p

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 長野市大岡地区の人形送り行事概要 | 細井雄次郎 |
| 第214回例会参加記—長野市大岡地区の春彼岸行事を見学して | 市東 真一 |
| 長野市立博物館小正月関係資料コレクションと県内の民俗資料について | 樋口 明里 |
| 第213回例会参加記 | |
| —小正月コレクションと博物館の資料管理について | 石黒 溪介 |
| 書誌紹介 倉石忠彦著『都市化のなかの民俗学』 | 福澤 昭司 |

◆松本市史研究 松本市文書館紀要

〒390-1242松本市和田1058-2 TEL026-347-0040 1991年創刊

◇29 2019.3 B5 124p

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 枇杷の湯のサルスベリ | 小山 泰弘 |
| 信濃国筑摩郡の富豪の輩 | 桐原 健 |
| 肥前唐津藩伝来信濃小笠原家文書調査報告 | 松本市教育委員会文化財課 |
| 江戸時代城下町の緑地空間 | 田中 薫 |
| 追憶「街を花いっぱいにする会」創始者 小松一三夢先生 | 田村 保 |
| 史料紹介 | |
| 善光寺参りの帰路に起きた事件 | 百瀬さくら |
| 昭和期前期の里山辺村 | 三村 國光 |
| 戦時下の暮らし 渡満から帰国までの記録 | 宇野 榮一 |

岐 阜 県

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111 年2800円

1973年創刊 http://www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm

◇131 2019.3 B5 28p

- | | |
|--|-------|
| 岐阜祭奉賛岐阜まち歌舞伎の発足 | 丸山幸太郎 |
| 天保十一年の盆行事 豊田友直『飛騨在勤中日記』より | 野邑 和子 |
| 岐阜県の近現代短歌の流れ | 高井 泉 |
| 徳山五兵衛の実名・通称について | 入江 康太 |
| 信長家臣・鳴海助右衛門の活躍 | 横山 住雄 |
| 神岡軌道の変遷と地域社会 | 入江 隆亮 |
| 書窓の風 | |
| 岐阜城信長居館跡の構造 | 内堀 信雄 |
| さかほぎヒストリアの刊行 | 可児 光生 |
| ふるさとの良さを伝えようⅢ～昔ながらの民俗行事を伝える活動を
区の役員が積極的に関わっています | 小嶋 司 |
| 郷土関係新刊書目録(116) | |
| 郷土関係逐次刊行物文献目録(114) | |

静岡県

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円

◇487 2019.4 A4 4p 100円

- 4月例会レジュメ 『しずおかの女たち 第10集・特集 私たちの現在(いま)を問う』を発行して―「自分の問い」から始める女性史研究
静岡女性史研究会
- 7月例会での講演内容についての補足
井本 三夫

◇488 2019.5 A4 4p 100円

- 5月例会レジュメ 近代インドの“spirituality”と“secularism”
―その用法を「教えて」考える
富澤 かな
- 書籍紹介 北村欽哉『寺子屋で学んだ朝鮮通信使』
小池 善之
- 大谷村の農事改良事蹟―大村方子家文書調査だより
橋本 誠一

◇489 2019.6 A4 4p 100円

- 6月例会レジュメ 大井川の流水問題が投げかけること
小池 善之
- 郡長岡田良一郎と戸長研究会―鷲山恭彦家文書調査だより
橋本 誠一
- 和田守先生、ご逝去
小池善之・記

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇224 2019.5 B5 4p

今川義元生誕五百年を考える	森田 香司
1月例会報告要旨 再考「遠州怨劇」パート2	森田 香司
3月例会報告要旨 守護大名今川氏の内乱と將軍権力	三宅 真人

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇154 2019.3 B5 12p

第122回研究会 福島隆氏の「たにのわのみちのくりくのくに（丹後王国）発生から消滅まで」の概要／望月茂氏の「安倍川をゆく～消えた（安倍鉄道）の地域史」の概要／寺尾弘之氏の「弾左衛門と役職について」の概要

第123回研究会 赤池隆義氏の「江川坦庵と門下生の幕末と明治維新の活躍」の概要／堀川幸美氏の「空海の足跡」の概要／大川誠一氏の「日本国誕生史の秘密」の概要

追悼 鶴飼満夫氏哀悼のこぼし 鈴木 康弘

◇171 2019.4 A4 6p

令和元年度 総会・大会案内 講演 富山昭氏「オカンジャケ考～謎の民俗を推理する」／研究発表 川口円子氏「鰹節の変化と流通（仮題）」、渡邊好洋氏「御殿場市沼田の小正月」

平成30年度第2回例会報告 内野の火伏念仏見学会 (川口)

方言雑考 近世地誌に見る「駿府御城下ノ者言葉」について 富山 昭
シリーズ食(38) ふき味噌 外立ますみ

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061富士市伝法66-2 富士山かぐや姫ミュージアム内
TEL0545-35-6250 1965年創刊

◇73 2019.4 B5 113p

表紙解説 鶴無ヶ淵の御神楽	加藤 昭夫
巻頭言 歴史の中に自分を入れる	加藤 昭夫
吉村家文書から助郷制度を考える	渡邊 誠
絵図に見る江戸時代の東海道(5) 元吉原とその周辺	田辺 泰弘
武田信玄の駿河平定	篠原巳津夫
簗桁製作の記録からみた岳南周辺の紙漉きの状況について	

一旧清水興津藤波簀桁製作所の記録をもとに

須津の庄の旗本・戸田氏(2)

日常生活の数学(6)

古郡代官所有地跡一岩松小学校

白隠さんと富士のかぐや姫

耐え難きを耐えた富士地方の人(1)

◇記念誌 2019.5 B5 140p

《創立五十周年記念誌》

創立五十周年に当たり

駿河郷土史研究会『創立五十周年記念誌』の発刊に寄せて

発刊を祝して

創立五十周年を祝して

駿河郷土史研究会を祝して

駿河郷土史研究会五十年の歩み

駿河郷土史研究会の発足

駿河郷土史研究会の思い出

駿河郷土史研究会の歩み

駿河郷土史研究会創立五十周年について

初代会長 鈴木富男氏を偲んで

渡辺繁治会長を偲んで

初代・二代会長について

活動の歩み

事務局について

機関誌発行について

研修部(講演会)の歩み

見学旅行部の歩み

古文書研究部の歩み

宿場研究部の歩み

市史研究部の歩み

文化財研究部の歩み

仏像同好会(平成14年～20年)

史跡案内部(平成15年～16年)

東海道吉原宿を読む会(平成16年～19年)

民話研究部(平成22年～27年)

東海道四百年祭(平成13年5月20日～6月3日)

史跡石碑建立に協力(平成13年5月)

打田 昌宏

矢崎 巖

渡邊 照好

高田 國義

若竹 秀信

和田 嘉夫

加藤 昭夫

小永井義正

山田 幸男

加藤 豊裕

木ノ内義昭

編集部

矢崎誠治郎

渡辺 誠

和田 嘉夫

矢崎誠治郎

渡辺 誠

高田 國義

矢崎 巖

渡邊 照好

壽 和徳

矢崎 巖

渡邊 好將

馬場 成三

伊藤勇次郎

田辺 泰弘

編集部

編集部

編集部

編集部(中嶋俊次・米山政己)

編集部

編集部

会員投稿

愛郷無限 人生無限

和をつぐる郷土史

はじまりの続きを生きている

戦争は人間を麻痺させる

始まりの人

岳南鉄道の由来

駿河郷土史研究会への入会

駿河郷土史研究会に思う

浜 這

私と郷土史研究会

脳梗塞の後遺症を乗り越えて

伝えよう 郷土の歴史を

歴史民俗資料館の当番

若松町一丁目町内会の歴史

桜で繋ぐ北陸八名城の旅

古代史をながめての雑感

二つのアプローチで歴史事実と事象を探りたい

郷土史の先生

ディアナ号と私

年寄りを大事にする会—駿河郷土史研究会

博物館と歴史民俗資料館の当番

あこがれの駿河郷土史研究会

「短歌」古戦場めぐりあこがれの駿河郷土史研究会

私と郷土史・相手の意見に耳を傾ける

「駿河郷土史研究会」を思う事

戦国時代の富士市

先導の師

渡辺脩さんに誘われて

金森様と青山様

人と係わる

駿河郷土史研究会創立五十周年を祝して

ディアナ号の錨

ディアナ号事件を知ったあのこと

「富士市の仏教寺院」との出会い

齊藤斗志二

壽 和徳

内田 昌宏

矢崎誠治郎

六所美貴代

岸本 勝吾

田辺 泰弘

渡邊 照好

梅原 久司

望月 房子

渡辺 誠

吉村 貴彦

馬場 成三

小野 房雄

矢崎 巖

鳥居 巖

影山 俱陸

高田 國義

加藤 昭夫

桜田 弘

鳥居己至夫

若竹 秀信

時田 泰子

中島 正和

伊藤勇次郎

篠原巳津夫

松野 紀一

渡井 一信

和田 正雄

佐野 總子

長倉 信祐

佐野 雅彦

川島 勝次

渡邊 定正

刊行誌の記録 刊行誌発行の歩み／富士市の神社名鑑／機関誌『駿河』

愛 知 県

◆愛知県史研究 愛知県総務部法務文書課県史編さん室

〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2 愛知県自治センター 8階

TEL052-972-9171 1996年創刊 <http://www.pref.aichi.jp/kenshi/>

◇23 2019.3 A4 110p

口絵 カラー写真でよみがえる占領時代の名古屋 解説・西形久司
材惣店の木材業・不動産経営と近代名古屋木材市場 中西 聡
尾張国真福寺開山能信百年忌法要にみる室町中期の真福寺「一門」 稲葉 伸道
尾張藩士中山家の武術教育について 長屋 隆幸

資料の解題・紹介

古川元也所蔵「尾張国郡司百姓等解文写本(断簡)」の紹介 梅村 喬
『書類綴 官祭招魂社 自明治四十二年 至昭和十一年』について 西 秀成
真清田神社所蔵「永正十三年制札」について 山形 佳恵

平成29年度愛知県史を語る会抄録

あいちの近世を探る～尾張・三河の地域社会
近世尾張の歴史像をめぐって 秋山 晶則
「非領国」地域としての近世三河 池内 敏
近世後期の尾張・三河地域社会の状況一郡中議定・惣代と議定構造 大塚 英二

近刊市町村史誌紹介 『新修豊田市史』(豊田市)、『新編西尾市史研究』

第四号(西尾市)、『新編知立市史』(知立市)

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<http://www.atsutajingu.or.jp>

◇262 2019.4 A5 36p

熱田雑集(18) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧(19) 小久保雅広
奉納和歌に見る熱田信仰(1) 辻村 全弘

◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-084西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<http://iwasebunko.jp>

◇61 2019.4 A4 4p

岩瀬文庫企画展「こんな本があった！—岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展16」

岩瀬文庫企画展 御即位慶賀「帝」

国宝 金蓮寺弥陀堂 春の特別公開

蔵書紹介

『みとものかす』(83-39) 5冊 池原香穂著 明治15年 宮内省刊
西尾市資料館 城マニアによる「お城グッズ展」／関連企画 城マニアによる「お城トークショー」 大野康弘氏×石川浩治×？(シークレットゲスト)

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会

〒448-0852刈谷市住吉町4-1 刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000

1980年創刊

◇40 2019.3 A5 99p

文化講演会 三河国碧海郡の歴史—刈谷の古代を探る 荒木 敏夫
刈谷市域を中心にした「京鎌倉往還」

一泉正寺所蔵「鎌倉街道之図」の検討を中心に 山田 孝
刈谷藩の明治維新 岡本 建国

小山八景の謎 三ツ松 悟

養正館考(上) 加藤 修

泉田夜学校(上) 塚崎 千歳

関東大震災を語る森次郎の手紙—森銑三・森三郎兄弟と刈谷(3) 神谷磨利子

対欧無線電信局依佐美送信所の通信網—イギリス・フランス現地調査

鈴木 哲

市内研修会 敬専寺と天子神社・天子神社貝塚 矢田 直幸

県内研修会

織田信長ゆかりの小牧山城と田縣神社を訪ねる小牧市巡り 長畠 秀雄

『かりや』第30～39号掲載記事目次

表紙 日本無線電信株式会社(Japan, c.1929a)「対欧無線電信局依佐美送信所絵はがき」(封筒裏面) [河野和夫蔵]

◆新編西尾市史研究

〒445-0847愛知県西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会事務局文化振興課 西尾市史編さん担当 TEL0563-56-6660 2015年創刊

◇5 2019.3 A4 90p 500円

吉良義信と吉良義元
一九一〇～三〇年代の町村誌における郷土意識—愛知県幡豆郡の事例
清水 敏之
岡田 洋司

資料紹介

江戸前期に成立した二本の三河吉良氏の系図について 小林輝久彦
豊橋市美術博物館寄託 大河内文書「寺津古城之図」について 奥田 敏春
調査報告
昭和三十～四十年代「葦の文化会」活動の軌跡 加藤 安信
佐久島を構成する地層の放射年代
—フィッシュ・トラック及びウラン-鉛年代 内田義和／吉村暁夫
山本康孝／山岡雅俊
佐久島の潮間帯で発見された後鰐類—佐久島(筒島)のウミウシ類
川瀬基弘／柏尾翔／西浩孝／鵜飼普／大矢美紀
稲・藁・吹—イネ・ワラ・カマス 岡本大三郎

◆豊田市史研究

〒471-0079豊田市陣中町1-19-1 豊田市教育委員会文化財課市史編さん室
TEL0565-36-0570 2010年創刊

◇10 2019.3 A4 144p

口絵 川境争論裁許絵図(天和2年)

平治の乱後の三河国守について 松島 周一
豊田市南東部の局地的降雨と河川水位との関係について 大和田道雄／神谷俊彦
豊田市域とその周辺に見る河川の災害と保全
—市域の不連続堤を中心に 伊藤 良吉
豊田市域の中世集落からみる地域社会 鈴木 正貫
豊田市域の坂参り習俗と産の忌意識 服部 誠
「クルマ」に関する聞き書きノート 松田 篤

資料紹介

九久平町板倉家所蔵資料にみる板倉塞馬と鶴田卓池の後継者問題 清水 禎子
調査報告 豊田市幸海町・祐源寺の十王像について 見田 隆鑑

◆年報 近現代史研究 近現代史研究会

〒464-8601名古屋市中千種区不老町 名古屋大学大学院文学研究科日本史学研究
室気付 TEL052-789-2228 2009年創刊

<http://www.lit.nagoya-u.ac.jp/~nihonshi/kingendaishi.html>

◇11 2019.3 B5

特集 2018年度大会「近代天皇制の形成と変容」

特集にあたって

研究委員会

報告 「靈異ある天子」の登場

羽賀 祥二

報告 二つの天皇代替わりと先帝認識

後藤 致人

コメント 近現代研究会大会報告へのコメントについて

増田 知子

参加記

地域の視点 近世・近代における幡頭神社

—「式内・熱田系縁起」への転換

村瀬 貴則

外国人研究者から見る近現代史研究 国際的・学際的歴史研究の勧め

：若い研究者・院生へのメッセージ

ジョン・ブリー

書 評

田澤晴子著『吉野作造と柳田国男—大正デモクラシーが生んだ「在

野の精神」—』

河西 秀哉

関口智矢著『昭和期の内閣と戦争指導体制』

森山 優

◆年報 中世史研究 中世史研究会

〒464-8601名古屋市中種区不老町 名古屋大学文学部日本史学研究室気付

TEL052-789-2228

◇44 2019.5 A5 210p 2000円

シンポジウム「武家官位から中世を問い直す」

シンポジウム「武家官位から中世を問い直す」にあたって

一四世紀の武家官位論

山田 貴司

中世後期の武士の官途認識と選択

木下 聡

コメント 武家官位の歴史を俯瞰する

青山 幹哉

シンポジウム「武家官位から中世を問い直す」 討論記録

紀州惣国下の土豪連合の地域権力的性格—紀伊国名草郡を事例に

水林 純

戦国期今川氏と和歌・連歌—地方文化の展開過程をめぐって

尾下 成敏

十五・十六世紀における山城国宇治の都市構造とその変容

徳満 悠

書 評

前田英之著『平家政権と荘園制』

松島 周一

芳澤元著『日本中世社会と禅林文芸』

池田 文明

長澤伸樹著『楽市楽座令の研究』

山下 智也

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛西市塩田町砂山25 TEL0567-37-0441 年5000円

◇600 (59-2) 2019.3 B5 8p 600円

表紙写真のことば 鹿島神宮祭頭祭 茨城県鹿嶋市宮中 3月9日	坂本 要
東京・下郷の獅子舞	石川 博司
菊にまつわる文化と伝承(3)一菊師と聞く人形	大森 恵子
まつり通信六〇〇号発刊によせて	
まつり通信六〇〇号に思うこと	伊藤 茂樹
田中先生に出会って	津田 豊彦
入会した頃のまつり同好会	伊藤 良吉
東京砂防会館「大償神楽」公演の思い出	山路 興造
数知れぬ人との出会い	間宮 照子
まつり通信六百号に思う	石川 博司
田中先生と「まつり通信」の思い出	山田 知子

◇601 (59-3) 2019.5 B5 8p 600円

表紙写真のことば 酒田市山王例大祭(酒田祭り)

山形県酒田市日吉町 5月19日～21日	坂本 要
菊にまつわる文化と伝承(4)	
一重陽の節供(句)と菊の被せ綿の習俗を中心に	大森 恵子
新しい山車祭礼と地域社会一美浜町野間地区山車祭礼を中心に	原田 光輝
新刊紹介 ニソの杜と若狭の民俗社会 金田久璋著／甚目寺説経源氏	
節人形調査報告書 加納克己・深谷大 愛知県あま市教育委員会生	
涯学習課発行	
新国指定・登録・選択の民俗文化財一平成31年2月8日文化審議会答申	

◆MIXED MUSES 愛知県立芸術大学音楽学部音楽学コース紀要

〒480-1194長久手市岩作三ヶ峯1-114 愛知県立芸術大学音楽学部内(増山研究室) TEL0561-62-1180

◇14 2019.3 A5 84p

筑前琵琶研究序説 山本百合子

三 重 県

◆皇學館史学 皇學館大学史学会

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 皇學館大学文学部国史学科研究室
TEL0596-22-6456 1986年創刊 <http://kokushi.kogakkan-u.ac.jp>

◇34 2019.3 A5 122p

清水潔先生御退任にあたって・研究業績	松浦 光修
田浦雅徳先生御退任にあたって・研究業績	松浦 光修

講演 六国史と源氏物語
外交官有吉明の対中国政策
中医学の世界戦略

遠藤 慶太
万代 陽華

台湾・中国の中医学医書関係の国際学会に参加して
史料紹介 皇學館大学所蔵「三条西実隆書状」
田中卓先生弔辞

多田 伊織
桐田 貴史
清水 潔

◆皇學館大学研究開発推進センター紀要

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 TEL0596-22-6466 2015年創刊
<http://www.kogakkan-u.ac.jp>

◇5 2019.3 A4 203p

講演 近世神道から国学へ

前田 勉

シンポジウム 平成29年度皇學館大学研究開発推進センター神道研究
所公開学術シンポジウム

神道における道教受容研究の現在 発題者 二階堂善弘・三浦國雄・田中文雄
／企画・司会・コメント 松下道信

発題1 妙見・鎮宅靈符神と玄天上帝

二階堂善弘

発題2 吉田神道と『北斗本命延生經』

三浦 國雄

発題3 慈雲と神道灌頂

田中 文雄

コメント・討論

資 料

日本後紀史料(稿)一延暦十三年

史料編纂所

神宮皇學館第一回卒業生 中西健郎履歴史料

皇學館大学研究開発推進センター館史編纂

神宮皇學館『修学旅行 伊賀日記』(明治二十九年)一神宮皇學館修

学旅行日記・満鮮旅行記(2)

皇學館大学研究開発推進センター館史編纂

『今上天皇大嘗祭絵巻』に見る神宮御親謁

芝本 行亮

史料紹介

神道研究所所蔵資料『近世伊勢神宮関係文書』(11通)について

小林 郁

◆三重の古文化 三重郷土会

〒514-2305津市安濃町清水1008 浅生悦生方 TEL059-268-2671
年4000円 1947年創刊

◇104 (通145) 2019.3 A5 187p

松阪市飯高町谷端遺跡調査概報

一櫛田川上流域における押型文土器の確認

奥 義次

駒返A古墳群の分布と横穴式石室	村上 喜雄
『山雄田興廃記』を読み解く 上	辻本 豊
史料紹介 「不許他見 切腹並介錯人秘録」	浅生 悦生
『近代初期の松浦武四郎』余録	小玉 道明
南家城の漢詩人・岩脇春樹	井上 孝榮
伊東富太郎の足跡(9)～信行焼	石神 教親
津市在住 清水誠吾から貴族院議員美濃部達吉へ宛てた書簡とその時代	田中喜久雄
員弁郡丹生川村(現、いなべ市大安町)片樋所在大神社所蔵石剣	
―続拾 考古少年のノートから	岩野 見司
資料紹介 津波	湊 章治
史料紹介 三重県の養蛙業(1)―大正末～昭和初期の新聞記事より	石原 佳樹
追悼 白寿を過ぎてても研究の徒であった中世古祥道先生	下村登良男
史料復刻 松阪市大是町「閨田家」文書(1)	三重郷土会古文書勉強会
新聞記事から―2018年	下村登良男

滋 賀 県

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<http://www.biwako-arts.or.jp>

◇167 (43-2) 2019.4 B5 96p 584円

《特集 近江の桜物語》

織田桜

甦る「惜花人」

「ここでよかった」を目指して

瑟瑟で広がる輪と和

絵の声を聴く～今橋理子さんの言葉 芳華自中出

石丸 正運

編 集 部

中川 浩三

編 集 室

奥琵琶湖

奥びわ湖の桜 3260本の未来

橋本 勘

奥びわ湖桜マップ

ながはま森林マッチングセンター

桜守たち

10年で千人の桜守 先進地発！

松井 章泰

楽しんで桜守 新住民発！

大石 幸夫

文学の桜

長等の桜 その伝統を伝える

福家 俊彦

清水の桜

溶け合う先人への祈り

三宅 貴江

談話室(25)「祈りのかたち」に魅せられて

文・写真 川島朱実

おもしろ近江考古学(19)

徳利に似た形の壺(大津市太鼓塚古墳群・春日山古墳群)

松浦 俊和

歴史の玉手箱(11) 京阪電車と京津電車

杉原 悠三

ぶらり近江はっけん伝(8)

岸野 洋

湖國藝術紀行(22) 旅する画僧 横井金谷の展覧会に寄せて

大原由佳子

渡邊勇祐さん／冨田由布湖さん／山口真有香さん

大津京、万葉をうたう(11)最終回 高市黒人、大津荒都を嘆く

文と曲・林博通／画・鈴木靖将

芸術研究家 待文麻呂の芸能話(8) 鈴鹿馬子唄

近江の懐(9) 近世の賑わい実感 守山宿

加藤賢治／石川亮

◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇124 2019.3 A4 6p

テーマ展 “こと”のことー日本伝統の鉦楽器／和琴 銘葵 松本重

行作 当館蔵

展示案内 テーマ展 武家の備えー井伊家伝来の弓具、特別公開 国

宝・彦根屏風、テーマ展 “こと”のことー日本伝統の鉦楽器、テ

ーマ展 井伊直弼ー親しき人への手紙

井伊直弼の腰物

古幡 昇子

京 都 府

◆京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 TEL075-703-5491 2015年創刊

◇5 2019.3 A4 81p

第I部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府域)

京都市山伏山町文書の調査

善積沙耶子

三嶋神社資料調査報告

水谷 友紀

雲ヶ畑波多野家文書調査

有賀 陽平

石清水八幡宮警固社土橋本当矢家の古文書調査

ー市民有志と共に歩む史料保存運動

竹中友里代

京田辺市史の文書調査	米澤 千春
京田辺市草内・飯岡地区における石造物調査	京都府立大学文学部考古学研究室
京田辺市旧草内村調査	奥谷 慎也
京田辺市の歴史的建造物調査	山本 浩生
和束町域における文化的景観調査	竹内祥一朗
綾部市君尾山光明寺の総合調査	荒井 陸人
舞鶴市における高大連携と世代間交流の実践	
―藩校サミット参加・東舞鶴高校授業・文書調査	酒向あやか
舞鶴の文化遺産の活用・デザイン編集	
京都文化博物館総合展示「古社寺保存法の時代」への企画協力	安江 範泰
第Ⅱ部 地域の歴史と文化遺産の調査(京都府外)	
岐阜県関市小瀬地区調査	小川 大地
関市小瀬地区の建造物調査	鈴木 萌枝
奈良県十津川村史歴史資料調査	東 昇
丹波市青垣町・氷上町の歴史的建造物調査	小泉 朋大
庚申堂古墳の調査	京都府立大学文学部考古学研究室
津山市史の文書調査	尾松美早都
松野町における文化的景観調査	菊川 歩夢
天草市上田家文書調査と考子褒賞文書群	東 昇
沖縄現地調査2018	伊藤美梨子／田村友希
文化遺産学コースにおける三次元測量技術の導入・活用について	陰地祐輝／小泉朋大
第Ⅲ部 文化遺産デザイン研究報告	
「2018 文化遺産デザイン研修」の記録	藤澤 愛
「京都の歴史を歩こう！―栗田口編―」歴史遠足報告	藤澤 愛
第Ⅳ部 文化遺産フィールド研修報告	
岐阜県関市における文化遺産フィールド実習について	陰地 祐輝
関まつりの浦島山車(常磐町)の現状	佐藤 颯人
小瀬とその周辺における郡上街道のルート	佐野 将大
春日神社石造物調査	陰地 祐輝
春日神社鏡の間・能舞台(建造物)	岸 泰子

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入西大路町146 中西ビル内

Tel.075-462-4292 年8000円 1930年創刊 <https://www.shibikai1930.com>

◇894 (89-4) 2019.4 A5 32p 916円

画論研究1 土佐光起『本朝画法大伝』偽撰考(3)	寺本 健三
古建築調査ノート(3) 柱のかたち 円柱と角柱	矢ヶ崎善太郎
第1053例会 別子銅山の産業遺産	矢ヶ崎善太郎
第38回「石像美術勉強会」報告 大津市坂本里坊の石造美術	田中 康夫
新刊紹介 『日本古代伏流文化攷』寺本健三著	

◇895 (89-5) 2019.6 A5 38p 916円

画論研究1 土佐光起『本朝画法大伝』偽撰考(4)	寺本 健三
高野山山水屏風に見られる新別所の六角円堂	木下 浩良
第1054回例会 秋の岡寺と飛鳥謎の石造物を訪ねて	加藤 繁生
第40回「石像美術勉強会」報告	
茨木市・高槻市の石造美術と切支丹隠れ里	高橋 浩行

◆地名探究 京都地名研究会

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2003年創刊 <http://kyotochimei.wix.com/kyotochimie/>

◇17 2019.4 A4 62p

表紙絵「蹴上発電所水圧鉄管」金坂清則撮影／裏表紙「青蓮院の樟」
金坂清則撮影

講演 地名に刻まれた「名づけ」の深層	伊東ひとみ
『万葉集』の地名一志貴皇子の早蕨のうたの垂見は地名か？	沖村 由香
中世祇園会御旅所3か所仮説	小西 宏之
西郷隆盛の娘 菊草の終焉地について(新史料紹介：西郷菊次郎書簡)	原田 良子
京都西陣地区の地点表示法一図子を中心に	中井幸比古
「匏宮(よさのみや)」(丹後国一宮 籠神社の奥宮)考	糸井 通浩
豊臣政権の寺院移転政策と地名	清水 弘
千早城の語源	杉本 重雄
青蓮院の「受難の樟」をめぐってー裏表紙写真キャプション補遺	金坂 清則

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊 <http://kyotochimei.wix.com/kyotochimei/>

◇65 2019.4 A4 8p

第51回地名フォーラム報告 報告 京都新聞連載「地名ものがたり」
に寄せて 「維新の京都を歩く」入江成治、発表「西郷隆盛のひと
り娘 菊草の終焉地(西郷菊次郎の京都邸)について」原田良子氏

2019年度総会講演会について 研究発表 糸井通浩副会長「偽書の偽書性と資料価値ー『丹後国風土記残欠』の場合」／退任記念講演 網本逸雄会長「万葉の未詳地名を考える(京都編)」

新・地名ものがたり(1) 赤池・血洗町

小寺 慶昭

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより

〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL075-465-8151 1993年創刊

<https://www.ritsumekan-wp-museum.jp/>

◇76 (26-3) 2019.3 A4 18p

スポット ミュージアムの収蔵品(73)

パンフレット：日本万国博 Vol.7

兼清 順子

巻頭つれづれ

「そだねー」と「さもありません」と「むべなるかな」の間

安斎 育郎

平和教育研究

平和博物館における戦争体験継承のための展示モデル構築

兼清 順子

京都欧州人権セミナーを通じての人権問題の共同研究と学術ネットワーク

ワーク 学術講演会「欧州憲法アーキテクチャにおける州憲法裁判所の役割」

出口 雅久

三年目のメディア資料研究会

田中 聡

運営委員リレー連載

「原発事故による被害・影響の多様性と語りえぬ受苦」

金森 絵里

ミュージアムおすすめの一冊 『老いの近代』 天野正子著

前田 信彦

大 阪 府

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845岸和田市阿間河滝1425 井田寿邦方 TEL0724-28-0204

年1200円 <http://www.eonet.ne.jp/~sanonokai/>

◇376 2019.4 B5 12p

大坂の陣の豊臣軍の根来衆

廣田 浩治

18年度 夏の旅行記(下)

よねかずゆうたろう

室町幕府中枢の動きと和泉(12)

井田 寿邦

◇377 2019.5 B5 12p

立石垂顕念典が生きた時代と人々(1)

立石 元

土地台帳にみる土地利用(1)

井田 寿邦

室町幕府中枢の動きと和泉(13)

井田 寿邦

たそがれの泉州弁(46)

中野 恒一

内海の底引船 うたせ船

話者・川端久治／聞き手・北山理

◇378 2019.6 B5 12p

天文四年の室町幕府の九条家領没収の史料

廣田 浩治

「観の会」代表者 岡村親一郎先生を悼む

北山 理

立石垂顕念典が生きた時代と人々(2)

立石 元

室町幕府中枢の動きと和泉(14)

井田 寿邦

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンティークショップ一兵内 TEL06-6931-1081 年5000円 1984年創刊 <http://osakarekikon.cocolog-nifty.com>

◇415 (36-3) 2019.3 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(39) 高津神社(4)

和久 敦也

平成31年2月例会報告(第389回)「中川清秀とその時代」

茨木市文化財愛護会理事 畠山眞悟氏

(報告・寺井)

会員講座(第29回)「歴史と私」 大阪歴史懇談会会長 片倉穰氏 (報告・寺井)

会員の書評 歴史文化ライブラリー四七四『室町将軍の御台所』～日

野康子・重子・富子(田端泰子著 吉川弘文館)

加藤 照也

◇416 (36-4) 2019.4 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(40) 正國魂神社

和久 敦也

平成31年3月例会報告(第390回)「日本古代・中世の女性と仏教」

関西大学文学部教授 博士(文学) 原田正俊氏

(報告・朝山)

会員の書評 新潮選書『スパイだったスパイ小説家たち』(アンソニ

ー・マスターズ著 永井淳訳 吉川弘文館)

加藤 照也

◇417 (36-5) 2019.5 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(41) 正國魂神社(2)

和久 敦也

平成31年度4月例会報告(第391回)

「近世初期、東アジアを駆け抜けた趙完璧」 片倉穰氏

(報告・井川)

会員講座 第30回「大阪の治水」 本会理事 和久敦也氏

(報告・井川)

会員の書評

『「大東亜民俗学」の虚実』講談社メチエ80(川村湊著 講談社)

加藤 照也

◇418 (36-6) 2019.6 B5 8p

巻頭言 神のおやしらのこと(42) 正國魂神社(3)

和久 敦也

平成31年度5月例会報告(第392回)

「東アジア史のなかの阿倍仲麻呂」 片倉穰氏

(報告・和久)

令和元年度春の見学会報告『大阪のライフライン「淀川」見学』

案内人・見学会 和久敦氏・白須一信氏 (報告・井川)
会員の書評 『国家はいかに「楠木正成」を作ったのか』—悲劇日本の
楠公崇拜 (谷田博幸著 河出書房新社) 加藤 照也

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪市北区末広町1-7 成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇80 2019.3 A5 100p

《講演会「再考 大塩平八郎 大塩の乱180年によせて」特集号》

講演録「再考 大塩平八郎 大塩の乱180年によせて」

大塩事件とはなにか

大坂をうたう大塩平八郎—岡田半江、篠崎小竹との交流から

下級武士の身分上昇—大塩の乱と能勢騒動における武功

季刊『大阪春秋』の大塩特集号について

大塩の乱180年記念展「時ならぬ浪華の花火」によせて

平成30年10月例会講演録 大阪を襲った南海地震と津波

『浪華御役録』にみる「大塩平八郎」

資料翻刻「難波美家解」(6)

会員だより 大塩平八郎と鷺谷正蔵

藪田 貫

福島 理子

岩城 卓二

長山 公一

鈴木希実枝

長尾 武

保田 恒雄

大塩の乱関係資料を読む部会

塩野てるみ

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032河内長野市栄町21-11 棕本進方 TEL0721-52-3394 年3000円

1979年創刊

◇61 2019.4 B5 73p

唱文(しょうもん)

法明上人と大江家と楠木正成

錦溪温泉・油屋と天見温泉・南天荘、あづまや旅館について

藩主一行の滝畑巡見と下宿割帳について

久邇宮邦彦王の「大和河内路の御旅」の河内について

報告 第19回知ったのはりまっか?河内講座

第2回 夏休み・学習会—郷土の民話の今日

浅井 五郎

松尾巴留美

松本弘(裕之)

岩根 昭男

松本弘(裕之)

棕本 進

報告文責・井上元良

◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円

◇833 2019.4 A4 16p 300円

東大寺の仏像—「天平仏」と「鎌倉仏」を中心に

関根 俊一

- 旧大和川を歩く(3)一付け替え決定 安村 俊史
 四天王寺—その歴史と伽藍・建築 櫻井 敏雄
 ◇834 2019.5 A4 14p 300円
 謎の石造物を解き明かす 来村多加史
 藤原京の宮と寺 黒崎 直
 初期平安京を鎮護した寺社—東西二寺と常住寺・平野神社・広隆寺 網 伸也
 四天王寺亀井堂の亀形石槽 佐藤 亜聖
 ◇835 2019.6 A4 10p 300円
 當麻寺の仏像 関根 俊一
 伊勢参宮街道を訪ねて(5)—三重県津市美杉町の杉平から上多気まで 来村多加史

◆近畿民俗 近畿民俗学会

〒633-0223宇陀市榛原区石田558-1 浦西勉方 年5000円 1949年創刊

- ◇185 2019.3 A5 110p
 草を結んでシルシをつくる民俗(2) 土井美生子
 ツチノコ伝承を活かす山間地のむらおこし
 —奈良県下北山村の事例を中心に 白石 太良
 スピリチュアルブームの民俗学的文脈による解析
 —民俗メンタリティの再顕在化 高田 伸彦
 民間薬についての民俗学的考察 戸田 静男
 山形県における灸の年中行事の調査報告 舟木 宏直

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒573-0084大阪府枚方市香里ヶ丘6-4-9 上遠野浩一方 年4000円

1995年創刊 <http://www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/>

- ◇95 2019.4 A5 64p 1500円
 巻頭言 直木孝次郎氏と天照大神 河越 尚司
 庄内式土器と邪馬台国 米田 敏幸
 向日神社文書と島院 中村 修
 アンデス通信(48) 太陽と月と「いのちのリズム」 市木 尚利
 山名「舶来山」とその古代の景観について
 —前稿「田島公論文を読んで」補遺 尾関 章
 「白鳳期」についての一考察—その始まりと推移(2) 山下 輝幸
 特集 『日本書紀』撰進1300年記念(2)
 『日本書紀』の編纂過程と読解史 上遠野浩一

◆堺研究 堺市立中央図書館

〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1 堺市立中央図書館総務課図書館サービス係
TEL072-244-3833

◇41 2019.3 A5 101p 660円

表紙解説 『堺御役屋敷絵図』文政2年(1819) 堺市立中央図書館蔵

17世紀中後期堺奉行の寺社統制と寺僧

山下 聡一

堺版教科書の基礎的研究(1)―書状・書式の文例集を中心に

和田 充弘

史料紹介 「堺御奉行御在勤之控(写)」

岡田 光代

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇604 2019.4 B5 20p

3月・第665回例会の報告

播磨 感伏山城を訪ねて 担当幹事：小川実・藪西旭

報告・小川実

麻生氏の城、筑前山鹿城と花尾城

川端 義憲

別冊 第666回 平成31年(2019)4月7日 近江 佐和山城を訪ねて

担当幹事：中西徹・藤岡秀典

◇605 2019.5 B5 20p

4月・第666回例会の報告

近江 佐和山城を訪ねて 担当幹事：中西徹・藤岡秀典

報告・藤岡秀典

湖東三山について 百済寺／金剛輪寺／西明寺

編集部

別冊 第667回 令和元年(2019)5月12日 丹波 篠山城を訪ねて

担当幹事：水品弘樹・藪西旭

◇606 2019.6 B5 16p

5月・第667回例会の報告 丹波 篠山城と城下町を訪ねて

担当幹事：水品弘樹・藪西旭

報告・水品弘樹

別冊 第668回 令和元年(2019)6月2日 近江 湖東三山を訪ねて

百済寺・金剛輪寺・西明寺 担当幹事：川井剛・森田又一

◆摂津市市史編纂だより 摂津市総務部市史編さん室

〒566-0023摂津市正雀4-9-25 摂津市民図書館内 TEL06-6319-0587

2012年創刊

◇3 2015.4 A4 4p

昭和時代の小学校給食

片山 早紀

鳥飼猿楽の登場

川上 孝也

『新修摂津市史 史料と研究』第1号が刊行されました

◇4 2016.1 A4 4p

地名と歴史

佐藤健太郎

江戸時代の鳥獣

片山 早紀

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円

1988年創刊 <http://homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/>

◇375 2019.4 B5 14p

大王陵の改葬と追葬一六、七世紀の天皇と古墳

水谷 千秋

新刊紹介 水谷千秋著『古代豪族と大王の謎』

唐古・鍵遺跡と鏡作神社群を訪ねる

山口 久幸

読書室 『初期農耕社会開始問題に関する近畿からの布石』

森岡秀人／古代学協会編

森岡 秀人

◇376 2019.5 B5 20p

豊中歴史同好会創立三十五周年記念 シンポジウム「邪馬台国の実像

に迫る」特別講演 景初三年の遣使と魏の紀年銘鏡(上)

塚口 義信

豊中歴同に集う仲間作りの功績と西垣健一さんを偲ぶ

森岡 秀人

西垣健一元会長のご逝去を悼む

宮田佐智子

心合寺山古墳と高安千塚古墳を訪ねる

古高 邦子

◇377 2019.6 B5 18p

豊中歴史同好会創立三十周年記念 シンポジウム「邪馬台国の実像に

迫る」特別講演 景初三年の遣使と魏の紀年銘鏡(下)

塚口 義信

大和古墳群を訪ねる

小川 滋

三種の神器

瀬藤 禎祥

◆ヒストリア 大阪歴史学会

〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学文学部 井上研究室気付

1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>

◇273 2019.4 A5 95p 900円

北条政子発給文書に関する一考察―「和字御文」をめぐる

田辺 旬

在地荘官の活動からみた室町期荘園制の変容

赤松 秀亮

近世祇園社社務に求められたもの―一行快と山本隼人の相論を通じて

福眞 睦城

わたしたちの文化財 末永雅雄氏収集中世文書

吉井 克信

書評 原口大輔著『貴族院議長・徳川家達と明治立憲制』

吉田 武弘

訃報 直木孝次郎先生を忍ぶ

榮原永遠男

報 告

高屋築山古墳(現安閑天皇陵)の立ち入り観察
2.11集会の記録

北山 峰生
藤田 裕介

◆枚方市史年報 枚方市教育委員会文化財課市史資料室

〒573-1159枚方市車塚2-1-1 枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154
1996年創刊

◇21 2019.3 B5 42p

日露戦争時の軍事郵便—陸軍歩兵中尉南栖一郎宛書簡を中心に 飯塚 一幸
天保三年琉球使節の淀川通航—「儀衛正日記」より 木工 博成
史料紹介 正月一三日付紀伊大納言齊順書状について 片山 正彦

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所

〒577-8502東大阪市小若江3-4-1 TEL06-6721-2332 1989年創刊

◇30 2018.10 A5 493p

表紙・口絵写真 滋賀県の民俗 網伸也／藤村弘章／鈴木伸二／渡辺良正
《滋賀県の民俗》

近江小幡人形小考 網 伸也

竹生島における山林資源の利用と保全—社寺林の歴史民俗学的考察

藤井弘章／亀田佳代子／牧野厚史／前ゆり

中世の開発フロンティア・葛川の民族誌 鈴木 伸二

阿弥陀寺の二十五菩薩面と近江湖南の迎講 松岡久美子

琵琶湖における風伝承—風と漁撈の関わりを中心に 青柳 智之

竹生島と周辺地域のかかわり—祭祀を中心に 藤井 弘章

滋賀県長浜市早崎町の民俗 藤井弘章／石橋和晃／今岡大樹／大森悠／澤江貴之
／辰巳今日子／縄稚慎太郎／前田唾由／松永夏希

滋賀県米原市醒井の湧水と暮らし—醒井七湧水を中心に 廣部あすか

書評と紹介 畑中章宏著『天災と日本人—地震・洪水・噴火の民俗学』

辻 貴志

付 録

民俗学研究所第二九回公開講演会 妖怪と俗信(講演要旨) 常光 徹

河内平野における初期方形周溝墓とその構造

—東大阪市近大山賀遺跡第5次発掘調査の再整理・報告編

相馬勇介／矢野昌史／荒田敬介／山本亮

星野安治／高棕浩史／篠田義成／網伸也

◆歴史考古学 歴史考古学研究会

〒580-0042松原市松ヶ丘2-12-16 奥村隆彦方 TEL072-331-6679

年3000円 1978年創刊

◇76 2019.3 B5 50p

松尾寺石造九重層塔について

多田 準二

大阪の町石

奥村 隆彦

屋蓋下部請花の宝篋印塔

崎山 行人

兵 庫 県

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 1981年創刊 <http://www.geocities.jp/kakenkyou/>

◇67 2019.5 B5 133p 1500円

武蔵国丹党の起源と習俗(上)

宝賀 寿男

全国安原氏出自総覧(4)

安原 繁俊

大村由己の生き方

安居 隆行

山陰地方の湯一族について(1)

田村 紘一

熊本細川藩士三井弥内の系譜

三井 久安

肥後(熊本藩士)の山形氏について(6)

相良 一夫

伊勢楠氏 楠山楠氏(上)

岡田 有史

安芸守護家武田家とその庶流の系譜

真野 信治

薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話 刀鍛冶の里(10-1)

浪平 博司

表紙家紋「折敷に縮み三文字」

馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 2002年創刊 <http://kakenkyou.g2.xrea.com>

◇68 2019.5 B5 8p

新元号「令和」について

宝賀 寿男

家系研究協議会 平成30年度 冬の例会報告「あなたにもできる家系

図作成」馬原浩一氏

(馬原)

書評 二冊の本を読み比べてみました… 『一揆』勝俣鎮夫著 岩波

新書 1984年発行、『百姓一揆』若尾政希著 岩波新書 2018年発

行

加藤 照也

◆生活文化史 史料館だより 神戸深江生活文化史料館

〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7 TEL078-453-4980

1981年創刊 <http://fukae-museum.la.coocan.jp>

◇47 2019.3 B5 24p

芦屋・親王寺で活躍した深江の大王

室山京子／大国正美

深江の過去と現在の景観をめぐる

～「古写真からたどる深江」展の内容紹介

菊地 真

ブラジル移民から見る日本と深江

西堀 紗世

深江にあった戦争(2)

深江塾(文責・森口健一／修正・大国正美)

深江物語(9) 新道と旧国道

森口 健一

写真が語る戦前の深江の幼児教育

大国 正美

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会

〒676-0004高砂市荒井町千鳥2-23-12 TEL079-442-0658 1986年創刊

◇78 2019.3 B5 6p

本会顧問田中卓博士を偲んで 田中卓先生の書信に思う

加藤 隆久

神戸市須磨区板宿地区の「池」の付く町名について

谷山 由夫

◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<http://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇613 2019.4 B5 8p

西宮町人の名前に使用された文字(續)

藤田卯三郎

西宮文化協会二月行事、豊田みか先生、「西宮」保存箱玉手箱、思い

出話の集い講演会

江寄健一郎

私と廣田神社浪曲寄席

栗山甲山(河野昌弘)

ある迷子の物語

戸田 靖久

◇614 2019.5 B5 10p

キッザニア甲子園探訪記、西宮文化協会三月行事

江寄健一郎

エビスカキ道中記(4) スカイクでつなく高等学校の国際授業から「え

びすかき」をバリ島の高校生に

武地 秀実

◇615 2019.6 B5 8p

関東に醤油を伝えた西宮町人・西宮(伊藤・真宜)九郎右衛門(前)

山下 忠男

安政四年銀目私札を振出した人達(2)

藤田卯三郎

◆年報 香寺町の歴史 香寺町史研究室（発行：香寺歴史研究会）

〒679-2131姫路市香寺町犬飼464-1 犬飼公民館別館 TEL079-280-6665

◇13 2019.3 B5 68p

《特集 ムラの歴史を伝える》

基調講演 地域の歴史を調べるということ—尼崎の場合 辻川 敦

第5回フォーラム「大字誌をつくる」—『村の記憶』を書き継ぐ

基調講演 地域の歴史を調べるということ—尼崎の場合 辻川 敦

研究発表1 行重の防火用水 神崎 修

研究発表2 犬飼の商工業発展の推移 金井 静雄

研究発表3 土師の軍事関係記録 小原 康彦

『村の記憶』を書き継ぐ会

ムラの記憶を伝える 大槻 守

書き継ぐ会に参加して

圃場整備事業を振り返って思うこと 金沢 忠義

狐塚古墳について 岩田 博美

香呂青年団を調査して 市場 正行

書き継ぐ会の記録 尾崎 恭子

歴史研究会活動報告

香寺町歴史研究会事業報告

定期総会の開催 平成三十年度歴史研究会総会／記念講演「宿駅屋

形から見た生野街道」姫路市立蛭地高等学校教諭 水谷康夫 駒田 新安

研修旅行の実施—港町・室津と坂越を訪ねる 駒田 新安

「山の地名」調査に参加して

山の調査をして 大内 義弘

山の地名調査報告を終えて—一片山について思う 小原 康彦

出前授業—“地域の人に学ぶ”

I 生徒に話して

中学生に授業する 牛尾 隆彦

香寺中学校一年三組の皆さんへ 上月 義弘

香寺中学校での授業 沼田 勝博

明治時代の小学校教育について 竹尾 元一

中学校での授業を終えて 駒田 新安

II 「もっと知りたい、香寺！」～地域の人に学ぶ 堀 晶子

III 生徒と先生の感想—「学級通信」から

生徒から寄せられた手紙／先生の助言

レポート

七郎兵衛顕彰碑の建立	神崎 茂樹
大字誌『中屋のあゆみ』の発刊	中安 清行
山の思い出	
少年時代と山の生活	田中 稔郎
山と田野村	藤田 正男
町史研究室事業報告 忘れ難い人々	

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇333 (58-2) 2019.4 A5 49p 600円

《特集 ひょうご中世史再考》

姫路系瓦工人の製作技法的指標の特定にむけて

一置塩城跡出土軒瓦の検討

山下 大輝

多田行廣と福原陥落

田畑 豪一

「竹叟夜話」の怪一姫路の皿屋敷伝説を深読みする

渋谷 武弘

地域から わが故郷の記録『金浦の歩み』

地域史編さんと活用の取り組み

波多野富則

新聞新聞地域版を読む

神戸新聞の文化財記事(2014年7月5日～7月24日)

大国正美／有吉康徳

奈 良 県

◆水平社博物館研究紀要

〒639-2244御所市柏原235-2 TEL0745-62-5588 1999年創刊

<http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/>

◇21 2019.3 A5 93p 1000円

〈水平社博物館開館二〇周年記念国際シンポジウム「水平社創立の思想を世界へ」〉

基調講演 人権博物館の国際発信―「世界の記憶」登録の意義

栗原 祐司

報 告

全国水平社創立の世界史的意義

朝治 武

“京城(キョンソン)地方法院資料”の現況と活用

韓 亘 熙

水平社と朝鮮平衡運動―交通・連帯の歴史とその問題点

水野 直樹

パネル討論

コーディネーター 井岡康時／パネリスト

朝治武・韓亘熙・水野直樹／通訳 徐和伶

◆奈良県立同和問題関係史料センター研究紀要

〒630-8133奈良市大安寺1-23-1 TEL0742-64-1488 1994年創刊

◇23 2019.3 A5 103p

幕末期、在地神職の離壇運動と宮郷

一大和国式下郡蔵堂村森屋社をめぐるって

清水 有紀

中世大和の非人施行に関する一考察

山村 雅史

明治期、被差別部落出身知識人の社会的・文化的基盤

一中尾靖軒をめぐるって

奥本 武裕

研究ノート・中世興福寺の日記にみる風呂

竹田 祥子

◆奈良学研究 奈良学学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1997年創刊

◇21 2019.2 A5 162p

大学教育における実学志向の文化財学

関根 俊一

近現代の交通遺産からみる奈良の産業と地勢

岩井 洋

『痴人の愛』における「奈良の仏像」をめぐるって

杉崎 貴英

わが国における邪鬼の表現—法隆寺金堂四天王像邪鬼から東大寺戒壇

院四天王像邪鬼への変遷を中心として

戸花亜利州

軽・身狭・久米・桃花島—奈良盆地南部における古代の王権と豪族

鷺森 浩幸

奈良県における勧請縄と水神信仰

西連寺 匠

報告 永野鹿鳴荘ガラス乾板資料の調査結果について

服部 敦子

史料紹介

興福寺蔵『明治二十四年九月調 諸堂勤行年中行事』

多川 文彦

宣教師が見た奈良の鹿

伊藤 純

『奈良学研究』総目録(第10号～20号)

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇50 2019.3 A5 157p

「丹波佐吉」の実像

森下 恵介

興福寺中金堂の「法相柱」について～法脈の視覚化

多川 文彦

難波での祭祀からうかがえる平安朝廷の歴史観

伊藤 純

鳥取・大山寺の小金銅仏群をめぐるって—基礎的理解と研究展望

杉崎 貴英

日本書紀の初期仏教記事について

鷺森 浩幸

備前国における報恩大師信仰と備前四十八ヶ寺巡礼

一聖による霊場形成の可能性

平松 典晃

瓦工房の民俗—奈良県生駒郡斑鳩町神南の事例

西連寺 匠

観応の擾乱期の恩賞宛行

花田 卓司

和歌山県

◆熊楠研究 南方熊楠顕彰会

〒646-0035田辺市中屋敷町36 南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909

1999年創刊 <http://www.minakata.org>

◇13 2019.3 A5 303p 3000円

特集1 南方熊楠・熊弥と岩倉病院

南方熊楠・熊弥親子と岩倉

中村 治

南方熊楠と長子熊弥さんの闘病

千本 英史

南方家の女三代の記

槁本 邦子

特集2 熊楠生前の著作刊行計画

南方熊楠の三冊の著書について

雲藤 等

本山桂川の閑話叢書関係資料

一佐々木喜善宛書簡にみるその計画と結末

三村 宜敬

南方熊楠の菌類図譜出版計画とその背景

郷間 秀夫

南方熊楠と山梨の関わり—出版および菌類研究をめぐって

一條 宣好

神社合祀における南方熊楠と柳田国男に対する近年の評価と問題点

一原田健一氏と徳丸亞木氏の見解によせて

武内 善信

「妖怪学」と「事の学」

小田 龍哉

「曼荼羅論」以降の論考から「名」と「印」を読み解く

大和 茂之

『十二支考』『犬に関する民俗と伝説』に見える南方熊楠の学的方法—

イスラームの視点から「地球志向の比較学」の問題点をめぐって

嶋本 隆光

南方マンダラの英訳—土宜法龍宛て書簡にみる熊楠のパラダイム

中西 須美

資料紹介

南方熊楠書簡資料 宮武外骨（明治四十五年～大正五年）

郷間秀夫・岸本昌也・千本英史・川島昭夫編

続・南方熊楠顕彰館に寄贈された小畔四郎収集資料

一主に医学・民俗学関係資料解題

矢野 倫子

書 評

杉山和也『南方熊楠と説話学』

辻 晶子

南方熊楠＋杉山和也＋志村真幸＋岸本昌也＋伊藤慎吾『熊楠と猫』

松下 恵子

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生

Tel.0735-23-3333 年3000円

◇213 2019.4 B5 2p

総会は6月1日(土)／研修講演会「熊野信仰の美術」長田寛康先生／阿須賀神社の御正体が国の重文指定へ／日本ヤタガラス協会の総会／歴史探訪スクール

◆国際熊野学会会報

〒647-8555新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課

Tel.0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇31 2019.5 B5 4p

2019年度の大会紹介 二つの大会？／日本宗教民俗学会との合同大会
／園城寺(三井寺)圓滿院大会 山本 殖生
日本宗教民俗学会・国際熊野学会 合同大会テーマ「伝統文化と女性」
2019年度 国際熊野学会大会 常任委員会・委員会、大会・総会・懇親会、基調講演「園城寺・熊野・修験道」長谷川賢二氏、セミナー1「西国巡礼の歴史と信仰」北川央氏、セミナー2「三十三所観音曼荼羅と三井寺」石川知彦氏、座談会「熊野修験と西国巡礼を語る」

島 根 県

◆郷土石見

〒697-0017浜田市原井町1023-9 森脇晋平方 1976年創刊

◇110 2019.5 A5 144p 1200円

表紙写真 邑南町文化財「旧・山田家住宅」(邑智郡邑南町日貫)

文・山田明子／写真・三浦幹雄

浜田城址の救主・井口益吉小伝

岩町 功

石東安濃郡における米作・麦作の近代史(3)

池田 誠一

近世日朝漂着民について一新史料による

森須 和男

海洋学者・丸川久俊の研究を読む(4)ーヨーロッパウナギの研究

森脇 晋平

石見地方東部農村における戦後の民俗(2)

長尾 英明

昭和の少年奮闘記ー県立浜田中学回想

三上 博

方言で読む民話 三隅編(3)

神本 晃

町から村から

北の国から

岡本 洋

石見神楽 天の岩戸	松原 和博
その他	
古武士の面影・日高伊三氏を偲ぶ	日高 亘
第一回「大元・石見神楽調査研究賞」最優秀賞受賞作	
大元神楽体験記と伝承活動(2)	湯浅 泰男
浜田開府四百年祭の開幕	浜田開府四百年祭実行委員会

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966
年2500円 1974年創刊 <http://www.taisha-shiwa-kai.jp>

◇198 2019.4 B5 46p

出雲大社の宝物シリーズ(4) かむだから一出雲大社教機関紙『幽顕』

より 後醍醐天皇王道再興論旨・後醍醐天皇宸翰宝剣勅望論旨／太

刀「銘 光忠」 附「菊桐紋蒔絵糸巻太刀拵」 出雲大社教務本庁幽顕社

出雲大社幼稚園 創立100周年の足跡 野田 清

「吉兆」とは、「よいことの起こるしるし」

―「大社中学校生徒吉兆」の歩み 松井 和生

塩釜親善訪問の記録 神門 貞良

海民の記憶―老人ホームでの聞き書きから 岩成 俊策

平成30年(2018)10月～12月 出雲市大社町年表 編集部

大社の石造物(11) 奉納山の於國塔の創設 藤原 慧

読者コーナー ふるさとの詩―大社町内での想い出 山田 孝行

お知らせ いづも財団叢書第六号の発刊

『出雲大社の宝物と門前町の伝統』 公益財団法人いづも財団(文責・梶谷光弘)

企画展 古墳文化の珠玉―玉は語る出雲の煌めき 鳥根県立古代出雲歴史博物館

手銭記念館の四季 館蔵絵画展 手銭記念館学芸員 佐々木杏里

出雲弥生の森博物館 春季企画展

ふるさと今昔物語 その3―平田地域 出雲弥生の森博物館(文責・高橋周)

岡山県

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28 光珍寺内 TEL086-222-2028 年2000円
2002年創刊

◇70 2019.4 A4 10p

平成31年宇喜多家史談会総会記念講演

河本家版宇喜多家譜について
末裔から見た宇喜多秀家像(3)―終焉の地八丈島を訪ねて
宇喜多秀家没後三六三年鎮魂祭
物語直家記伝 西大寺辺の城 第41回 姻戚(5)

矢吹 壽年
浮田 靖彦
菊池 まり
山重十五郎

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36 村上岳方 TEL086-942-6156

年1500円 1986年創刊

<http://homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm>

◇147 2019.4 B5 32p

特集 西日本豪雨災害と歴史資料(1)

西日本豪雨被災資料の救出と保全―岡山史料ネットの取り組み

平成三〇年七月豪雨における岡山県立記録資料館の対応

岡山地方史研究会一二月例会参加記

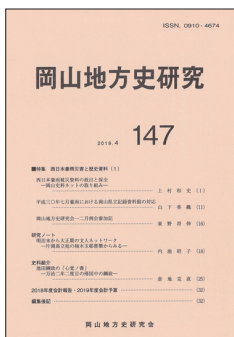
明治末から大正期の文人ネットワーク

一片岡高立宛の柚木玉邨書簡からみる

史料紹介 池田綱政の「心覚ノ書」―万治二年二度目の帰国中の綱政

上村 和史
山下 香織
東野 将伸

内池 昭子
倉地 克直



*2018年7月の西日本豪雨による岡山県倉敷市真備地区の河川氾濫の様子は今も目に焼き付いている。本号は、災害から5か月後の2018年12月に、岡山地方史研究会が岡山県立記録資料館と共催で開催した月例会「西日本豪雨被災資料の救出と保全―岡山史料ネットの取り組み」の報告と参加記による特集号である。

岡山県史料ネットは2005年に県内の研究者や自治体文化財担当者によって結成され、市民向け講演会や歴史資料所在情報データベース構築などの活動を行ってきた。上村和史氏は、情報収集とレスキュー作業の中で浮き彫りになった課題として、行政・専門家・市民とのネットワーク維持拡大や市民の歴史資料への認識の助長について述べる。

岡山県立記録資料館(2005年設立)は県内唯一の公文書館である。幸いにも被災を免れたこともあって、いち早く県・市町村所蔵資料の被災情報を入手し、被災資料の救出、復旧処置活動を行った。山下香織氏は、同館には過去の災害記録資料を所蔵しているが、今回の水害と復興記録も収集・保存していくと述べる。

今年もまた東京、神奈川、千葉、長野、福島、宮城、岩手など広範囲に大きな被害が出た。災害の状況と共に、どのような復旧、レスキューが行われたのか詳細な記録を残し、行政、市民に伝えていくことの重要性を改めて考えさせられる。

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505 1982年創刊

◇38 2019.3 A5 283p

犬養木堂が挑んだ近代日本の光と闇	板野 忠司
岡山をめぐる中世の宗教者たち	菊米 一志
地下構造からみた岡山平野の成り立ちと地震災害	西村 敬一
岡山市中心部の「映画史跡」を巡る	世良 利和

第16回おかやま県民文化祭参加 第8回おかやま文化フォーラム「近

世の実像を求めて 明治維新とは何であったか」

趣旨説明「なぜ明治維新を取り上げるのか」	倉地 克直
講演1「明治維新と現代」	猪飼 隆明
講演2「明治維新を問うー岡山の人びとが願ったことからー」	定兼 学
パネルディスカッション	司会 倉地克直／パネラー 猪飼隆明・定兼学

特別講演会 ユネスコ記憶遺産に登録された朝鮮通信使 倉地 克直

◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14 難波俊成方 年4000円

<http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇222 2019.5 B5 10p

会費減免に関する特例措置の実施について(平成三十年七月豪雨)	難波 俊成
みんなぞく読書会	次田 圭介

民俗歩く会 小田郡矢掛町 テーマ「矢掛の玄奘僧都伝承地を歩く」
平成31(令和元)年度総会・研究発表大会報告 今田節子／吉原睦
平成31(令和元)年度研究発表大会発表要旨について 吉原 睦

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号 TEL086-233-2505

<http://www.o-bunka.or.jp>

◇153 2019.3 A5 14p

- 時空を超えたグレートジャーニーの向こうに見えるもの 臼井 洋輔
「埋める」 小浦 裕子
岡山の人物(92) 鞍懸寅二郎 尾島 治
岡山の自然(148) 両山寺の二上杉 美咲町教育委員会生涯学習課
岡山の文化財(148) 辻本店 山崎真由美
わが町・わが村の自慢 瀬戸内市民図書館(瀬戸内市) 写真撮影・中川正子
ふるさとの思い出 竹喬さん生誕百三十年 没後40年(笠岡市) 上蘭 四郎
会員日より 六甲高山植物園を訪ねて 竹原 光一

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課

〒710-1398倉敷市真備町箭田1141-1 総務課歴史資料整備室

TEL086-698-8151 1991年創刊 <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/1438.htm>

◇29 2019.3 A5 136p

- 備中南山城の縄張りとその成立背景 畑 和良
近世初期備中国の所領構成—小堀政一の知行地を考える 三宅 正浩
倉敷「町並み保存」思想の特色について
—倉敷美観地区の保護対象にまつわる試論 吉原 睦
ノート 大原恵以・寿美子—大原家を支えた女性たち 林 良子
聞き書き倉敷の歴史 瀬戸大橋博覧会の思い出 國守 卓史
史料紹介
松平定信謁見を報せる古川古松軒書状とその受信者たち 別府 信吾
実現しなかった真備町(マキビチョウ)への改名 中山 薫
史料群紹介 倉敷市所蔵備前国児島郡宇野津村木村家文書 山下 洋
アラカルト
吉備真備の「怡土城」築城について 松尾 洋平
有城御崎神社の「ココヤシ絵馬」 岡本 泰典
安曇野市文書館(長野県)をみて 定兼 学
展示会記録
平成三十年度資料展示会 明治の倉敷—変革の時代を生きる
報告
平成29年度歴史資料講座／玉島乙島守屋家文書調査報告会1
平成30年7月豪雨災害における倉敷市総務課歴史資料整備室 文責・山本太郎
新刊紹介 定兼学『江戸時代の社会を考える—岡山の片隅で』／『みんなの知らない水鳥』(水鳥マチヅクリ株式会社)／『稿本 乙島養父小史—温故知新』(養父歴史研究会)

広島県

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会

〒739-8522 広島市鏡山1-2-3 広島大学大学院文学研究科日本史学研究室内
Tel082-424-6643 年3000円 1953年創刊 <http://hiroshima-u.ac.jp/geishi/>

◇313 2019.5 A5 66p 600円

《特集 明治維新再考—広島藩の政治・社会の視点から》

特集「明治維新再考—広島藩の政治・社会の視点から」にあたって

幕末維新时期広島藩の政治過程	三宅 紹宣
維新変革と伝統社会—「内済」的世界の伏流化	勝部 真人
幕末期鳥取藩の政治情報と芸州	笹部 昌利
コメント・質疑応答	司会・田口由香

大会記事(2018年度) 研究報告要旨

幕末維新时期漢学塾での教育活動の変容—備後府中晩香館を対象に	曾原 葵
毛利輝元期の領国支配と奉行人—天正年間前半を中心に	水野 椋太
新刊紹介 牧野和人著『広島県の鉄道—昭和～平成の全路線』	鴨頭 俊宏

新聞記事から(2015年7月～12月)

広島県の地方史研究 雑誌目録／研究活動

芸備掲示板

第27回企画展 海底に眠る軍艦—「大和」と「武蔵」

呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)

収蔵文書展 古文書にみる広島藩士の肖像	広島県立文書館
史跡をあるく 大嶋上島新開厳島夜燈	文・写真 鴨頭俊宏

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824 福山市多治米町5-19-8 Tel084-953-6157 <http://bingo-history.net>

◇206 2019.3 A4 20p

木梨杉原氏と尾道	田口 義之
中世石造物の調査報告	文責・篠原芳秀
謎の福山城図Ⅱ—福山を描いた最古の絵図	瀬良 泰三
山手銀山城跡測量調査報告	杉本 憲宏
田口義之の備後山城50選(31) 備後国人湯浅氏の居城 尾首山城跡	
信念已亥俳句集	野母 寿子
近世福山の歴史講座 水野時代城下の寺々 第三部 城東の寺院	高木 康彦

近世近代史部会「学習会」の紹介

—まだ参加されていない会員の方々へ	岡田宏一郎
笠岡道に関する一考	田口 由実
備後夜話 備後地方の鉱物遺名(2)	根岸 尚克
◇207 2019.5 A4 18p	
「令和」に向けて	田口 義之
備陽史探訪の会「平成トピックス」／福山市の「平成時代」	
謎の福山城図Ⅲ—福山を描いた最古の絵図	瀬良 泰三
山手銀山城跡測量調査報告	杉本 憲宏
中世石造物の調査報告	文責・篠原芳秀
近世福山の歴史講座 水野時代城下の寺々 第四部 城南の寺院	高木 康彦
追 悼	
根岸氏を悼む	高木 康彦
久下本節雄さんを偲んで	田口 由実
郷土探訪 芭蕉の句碑について—福山・尾道地域について	岡田宏一郎
国語辞典を紐解いて	後藤 匡史
改元について思う事	野母 寿子

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇91 2019.3 A5 96p 700円

平成30年度総会・研究会 シンポジウム「広島の民俗—まつりを考える」	コーディネイター・岡崎環
基調講演 広島の祭り	山脇 一幸
話題提供	
通り御祭礼について	西村 晃
砂持ち加勢の歴史的役割について	本田美和子
ディスカッション	
史料から読み込む民俗(2)—「死去ノ時諸控」にみる明治時代の葬儀	菅 信博
備北東城の言葉	山名 年造
福山市春日町「浦上千歳楽」	八幡浩二／秋田萌花／石井貴大／篠塚麻貴／
	田口香奈子／藤埜原望恵／山崎萌加／渡辺歩夢
中四国民具の集い 発表報告 寶水堂コレクションの保存・活用	
—個人収集民具の現状と課題について	水野 恵子

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇337 2019.4 B5 12p

今月の各地 顔施

大坪 一夫

平成29年度 レキカン総会 記念講演記録

小早川家当主(隆治氏)三原を語る(3)

事務局

近年の三原における猿被害とその対策

行長 啓三

◇338 2019.5 B5 12p

今月の各地 三原高校は、2020年に創立100周年を迎えます

山本 公恵

平成29年度 レキカン総会記念講演記録

小早川家当主(隆治氏)三原を語る(4)

事務局

明治政府の財政を支えた酒税、そして三原の酒造家の動向

定森 總治

◇339 2019.6 B5 12p

今月の各地 田植えの頃に

津島 敏子

平成29年度 レキカン総会記念講演記録

小早川家当主(隆治氏)三原を語る(5)

事務局

春のハイキング感想文

春のハイキングに参加して

近藤 正夫

和田・貝野めぐり

一瀬 尚志

和田・貝野を歩く

津島 敏子

徳 島 県

◆徳島県立博物館研究報告

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1991年創刊 <http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp>

◇29 2019.3 B5 73p

飯塚桃葉と波濤蒔絵鞍の制作

大橋 俊雄

阿南市北の臨海岸の古銭

植地 岳彦

徳島県郡代関係文書について―「郡代報告書」の紹介と翻刻

松永 友和

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp>

◇114 2019.3 A4 8p

ウパロバイト

中尾 賢一

Culture Club 黒沢湿原の魚類相

佐藤 陽一

徳島県立博物館60周年記念企画展 ミネラルズ MINERALS 2019

情報BOX

禁門の変と徳島藩

松永 友和

タンポポ調査・西日本2020にご協力ください

小川 誠

レファレンスQ & A

庚申塔にたくさんの石をかけてあるのを見ました。なぜですか？ 庄武 憲子

愛媛県

◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 FAX089-905-2925

◇126 2019.4 A4 16p

速報 松山市小竹3号墳墳丘測量調査写真速報

文責・十亀

四国中央市の古墳(6) 住吉古墳

正岡 睦夫

伊予の河内系神社と舟形水船(1) 一久万高原町仕出河内八社神社水船 十亀 幸雄

◇127 2019.5 A4 32p

速報 松山市小竹3号墳の墳丘測量報告

遺跡発行会(文責・山之内志郎)

松山市小竹3号墳1号石室の天井石の石種

奥田 尚

伊予の石切場(4) 松山市小竹石切場

十亀 幸雄

四国中央市の古墳(7) 向山古墳

正岡 睦夫

伊予の近世城郭石垣構築技術(1)

宇和島城石垣一石垣数量化と多変量解析(1)

十亀 幸雄

◇128 2019.6 A4 24p

愛媛県の漢式鏡(16) 三角縁神獣鏡以前

名本二六雄

松山市浅海小竹1号墳について

河原茂／正岡睦夫

四国中央市の古墳(8) 山口1号墳

正岡 睦夫

豊後から移入された石造宝塔(2) 伊方町松宝塔

十亀 幸雄

◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇393 2019.4 A5 47p 750円

中世伊予府中の海岸地域と「今治津」

藤本 誉博

永禄南伊予争乱の展開と高島・鳥坂合戦

一宇和郡初期様相と毛利氏加勢の推移を中心に

山内 治朗

活動レポート 戦国伊予三城の連携一活用へ向けた取り組み

田中 謙

新刊紹介 山内譲著『海賊の日本史』、長浜市長浜城歴史博物館編『賤
ヶ岳合戦と七本槍』、四国地域史研究連絡協議会編『四国の中世城
館』、愛媛県歴史文化博物館編『伊予かすり 絣文様の世界』 編 集 部
郷土その日その日 自平成30年10月至平成31年1月 編集部(柚山俊夫)

◆四国遍路と世界の巡礼

愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577松山市文京町3 TEL089-927-9312 2016年創刊

<http://henro.11.ehime-u.ac.jp>

◇4 2019.3 A4 68p

特集 巡礼の諸相—四国遍路への影響と展開

六十六部巡礼地再考—八十八カ所の成立とも関わらせて

小嶋 博巳

小豆島霊場と香川県の写し霊場概観

田井 静明

知多半島の巡礼文化と知多四国霊場

山口 由等

「山踏み」と「山廻り」—古典文学と山林修行

西 耕生

厄除けの寺・四国霊場第23番札所薬王寺の調査と地域振興

—官学民連携「県南キャンパス事業」の紹介をかねて

須藤 茂樹

信仰とレジャーの狭間で

—イスラームにおける参詣から社会的心性をまなざす

安田 慎

史料紹介 伊方町で発見された愛媛県最古の四国遍路日記

高嶋賢二／岡本佑弥／胡光

福岡県

◆市史研究ふくおか 福岡市博物館市史編さん室

〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1 TEL092-845-5245

2006年創刊 <http://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/>

◇14 2019.3 A4 126p

《特集 活字文化の過去・現在・未来》

第14回福岡市史講演会講演録 活字文化の過去・現在・未来—金属活

字からデジタルフォントまで

解 説

明治の新聞と活字

—一本木昌造による近代活字導入と現在のタイポグラフィ

大串 誠寿

文字のこぼれ話—活字とデジタルフォント、文字の不思議な世界

野口 勝

文字をつくる

藤田 重信

座談会 活字印刷は死んだのか

大串誠寿／野口勝／藤田重信／藤村興晴／大井実／有馬学

展示記録 パネル展示「本ができるまで」について

戦前初期における西日本新聞社の出版活動

ーローカル・メディアと戦後啓蒙

有馬 学

明治期福博の書肆の動向

梅本 真央

資料紹介 明治十六年創刊の文芸同人誌『文学叢誌』（福岡中学文学会）

と明治初期の雑誌メディアについて

梅本 真央

末永虚舟と『筑前早鑑』—もう一つの『筑前国続風土記』

岩崎 義則

福岡市南区老司採集ゾウ臼歯の再調査

福岡直人／高橋啓一／屋山洋

◆太宰府市公文書館報

〒818-0110太宰府市御笠5-3-1 TEL092-921-2322 2015年創刊

<http://dasaiфу.mma.co.jp>

◇30年度 2019.5 A4 57p *事業報告のみ

◆太宰府市公文書館紀要 年報太宰府学

〒818-0110太宰府市御笠5-3-1 TEL092-921-2322 2007年創刊

<http://dasaiфу.mma.co.jp>

◇13 2019.3 A4 88p

宝満山峰入に係る門札とその背景について

山村 信榮

齋藤秋圃研究(3) 秋圃の周縁

橋富 博喜

太宰府市高尾山城跡の構造に関する予察

ー失われた遺構の類推復元について

岡寺 良

資料目録

旧太宰府町・水城村議会議事録細目録 3

古城戸茂八郎関係資料目録

追悼文 川添昭二先生のご逝去を悼む

重松 敏彦

資料紹介 太宰府天満宮蔵「御記録」 慶応元年三月・四月分

朱雀 信城

作品紹介 鳥飼八幡宮の天満宮御縁起

小林 法子

◆太宰府市公文書館通信

〒818-0110太宰府市御笠5-3-1 TEL092-921-2322 2018年創刊

<http://dasaiфу.mma.co.jp>

◇1 2018.11 A4 4p

太宰府市公文書館パネル展「幕末太宰府こぼれ話—五卿とその周辺」

幕末太宰府こぼれ話—五卿とその周辺

資料紹介 『延寿王院日記』『延寿王院御用日記』（九州大学附属図書館付設記録資料館写本）

◇2 2019.5 A4 4p

開催中 太宰府市公文書館パネル展 太宰府の史跡と風景—栗崎正勝写真展

太宰府の史跡と風景—栗崎正勝写真展

資料紹介 齋藤家資料 齋藤秋圃宛て仙厓書状

佐 賀 県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇217 2019.3 B5 20p

木造聖観音立像 唐津市浜玉町 平原座主 観音堂

志佐 惲彦

海の関ヶ原

寺沢 光世

唐津・発掘・発見の話(5)

谷口古墳の被葬者のことと、親王塚の発見について

徳富 則久

日韓の平和交流の歴史を守る唐津の役割 有田の百婆仙の功績追慕会

韓国陶芸会々長とソウル市議団の来歴(1)

中里 紀元

史料にみる 幕末小笠原時代の唐津藩(3)

山田 洋

読み下し 『平松儀右衛門道中日記』(7)

久我 圭子

古文書史料の紹介 「石炭仕法並勤方一件」(水野家文書)

濱口 尚美

歴史に忘れられた人—友常典膳覚書(3)

田島 龍太

唐津市内探訪会報告 「松浦東郷探訪」

長 崎 県

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052五島市松山町604-10 筑田俊夫方 TEL0559-74-2667

◇107 2019.5 A5 118p

歴史講座 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺跡の世界遺産登録

—その軌跡と今後の取組み

柿森 和年

ある偶然(1)

竹山 和昭

京の片隅で(4)

伴 靖子

済州島の友人

大坪 昇平

「かづき句集」と二十句吟の受賞 坂口かづき氏
「五島」に生きる「私の遺言」(2)

筑田としお
片山 圭弘

熊 本 県

◆郷土 人吉求磨 求麻郷土研究会

〒868-0021人吉市鬼木町924-4 大平哲也方 年8000円

◇37 2018.12 A4 62p

球磨産の鉄鉱石で製鉄実験

宮戸 大

相良清兵衛隠居所の復原

北川賢次郎

宝永元年(1704)「利根川・荒川浚御普請手伝いに付…」

人吉藩の借金と返済計画及び江戸経費節減計画

尾方 保之

平成29年2月例会(第528回)

人吉市鬼木町周辺文化財見学

案内・記録 大平哲也

平成29年3月例会(第529回) 第9回人吉街道を歩こう 案内・記録 北川賢次郎

平成29年4月例会(第530回)

西南戦争の戦跡めぐり

案内 堤悟・有田健一／記録 尾方保之

西南戦争と人吉隊

尾方 保之

平成29年5月例会(第531回)

水上村湯山地区の文化財見学

案内・記録 出合宏光

平成29年7月例会(第533回) 山江村山田文化財見学 案内・記録 大平哲也

平成29年9月例会(第535回) あさざり町旧深田地区の文化財

案内・記録 北川賢次郎

平成29年12月例会(第537回) 五木村南地区及び頭地地区調査 記録 吉松猛

平成30年4月例会(第542回)

宇城市豊野町・同小川町・八代市の文化財見学

案内・記録 溝下昌美

故・鳥飼正人元会長を偲んで

尾方 保之

『郷土』目録 続編(18号～36号)

宮 崎 県

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

<https://hakkouitiunotou.jimdo.com>

◇89 2019.3 A4 8p

石の証言 釜山繁営会 「八紘一字」の塔の西側の礎石群

「国立日帝強制動員歴史館」

回想記「八紘一宇」の塔建設)

土岐 宗春

全日本年金者組合九州・沖縄ブロック支部交流会

(追立)

トピックス 「八紘一宇」の塔(平和の塔)から何を学ぶか「八紘一宇」
の塔か、平和の塔か／血債の塔／日中友好運動懇談会／板垣制四
郎陸軍大臣の副官からの命令書

尋常小学国史絵図 「天の岩屋」「天孫降臨」

宮崎発見の本 『槇峰鉦山 中国人強制連行強制労働事件』 中国人戦
争被害者を支える宮崎の会編・発行／『「治安維持法」のもと反戦、
民主主義に燃えた青年教師群像』 治安維持法犠牲者国家賠償要求同
盟宮崎県本部発行／「許されない 歴史の逆行！」 宮崎県日中友好
運動懇談会

◇90 2019.5 A4 8p

石の証言 南洋庁「八紘一宇」の塔の前方北面の礎石群

2018年度の総括(案) 1. 「八紘一宇」の塔は加害責任を証言する戦争
遺跡であることを伝える／2. 塔を文化財(戦争遺跡)に登録し、平
和ミュージアムを建設する／3. 考える会の組織強化と他団体との
協力協同

山路毘沙門天立像 宮崎県有形指定文化財

まぼろしのレビュー 〈日本少女歌劇座〉のこと

南 邦和

宮崎発見の本 《新しき村》100年 実篤の見果てぬ夢—その軌跡と行
方 南邦和著

日本国憲法と天皇 憲法の国民主権と政教分離原則に抵触

◆みやざき民俗 宮崎県民俗学会

〒880-0211宮崎市佐土原町下田島11858-7 崎田一郎方 年3000円

1955年創刊 <http://blog.goo.ne.jp/mzfolklore/>

◇71 2019.3 B5 112p 2000円

《特集 未来へ伝えるみやざきの行事・祭礼》

表紙写真解説 「松原獅子」(都農町)

文・写真 前田博仁

祓川神楽の継承に関わって—研究者の独り言

大學 康宏

諸塚村における団七踊りの起こり

甲斐 重光

宮崎の神楽に於ける着面舞の位置付け

前田 博仁

小川神楽とその芸態(2)—宮崎県児湯郡西米良村小川地区の神楽と神々

鹿児島大学旧基層文化系民俗学研究室

小川地区民俗調査参加学生一同・徳丸亜木

宮崎県のカッパ考—その姿と伝承と	小山 博
宮崎県内における特色ある食文化について	
一山・里・海の調査メモから	地村 光広
西米良村の民俗文化—伝承を暮らしに生かす村づくり(1の2)	那賀 教史
串間市広野の十五夜行事 「もぐらもち」の用具作りと行事の変遷	三輪 京子
小戸神社と御船講について—安全祈願と船主会合・定法確認	甲斐 亮典
宮崎市吉村町西中近辺の地蔵さんや社について	
地蔵菩薩像、大將軍神社、白髭神社、水神様、屋敷墓を紹介	羽牟 昇次
民俗学と現代詩 金田久璋詩集『鬼神村流伝』を読む	亀澤 克憲
大正期における宮崎への移住の一例—父福富民一の遺品をもとに考察	
	福富 健男
続々 現代川柳の種を撒いた人々	
一宮崎県番傘川柳会の土台を築いた先達	西岡 南風
宮崎県民俗学会会誌目録「みやざき民俗」53～70号目録	
民俗調査を始める人のために	編集委員会

鹿 児 島 県

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会	
〒895-0011川内市天辰町2365 鹿児島純心女子大学附属博物館内	
年2500円 1980年創刊	
◇31 2019.3 B5 136p	
《出水市特集号》	
表紙解説 重要伝統的建造物群保存地区「出水麓」の武家門	
(税所邸武家門)	写真と解説・井上賢一
口絵 箱崎八幡神社農具展示休憩室／出水市高尾野町柴引の馬形版木	
	坂元恒太／森田清美
序文—出水市の民具調査を実施して	森田 清美
出水市特集	
出水麓武家屋敷門	近藤津代志
出水地方の武家住居と民具	有村 澄子
けた打瀬網漁・焼エビと盆行事	牧島 知子
箱崎八幡神社の農具展示休憩室	坂元 恒太
出水市境町針原集落について—平成九年針原土流災害に関連して	
	熊 華磊
出水市の民俗信仰、競技・年占い	森田 清美

出水市の太鼓踊りの幟・矢旗と南九州、日本の太鼓踊りの幟・矢旗	
ーその種類と意義について	下野 敏見
延岡市北川町のナンバヒキと音頭	松原 武実
「鹿籠八景」の詠み人についてー「鹿籠八景」の詠み人は近衛信輔であ	
るという記述の文献に対する意見	牛山 好治
鹿籠金山女郎墓の実態解明(後編)	森田 清美
鹿児島島の石像仏ー廃仏毀釈を免れた謎	中野町正利
藩政時代の仏教文化の痕跡ー悪石島の事例	渡山 恵子
「出水市の民具共同調査」調査位置図／「出水市の民具共同調査」実施	
概要	
出水麓と加世田麓	井上 賢一
出水はちょっと変わっている？	内之浦 昭

沖 縄 県

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963
年3000円 1977年創刊

◇231 2019.3 B5 8p

3月定例会レジュメ 「琉球併合」一四〇年ー「分島問題」

～宮古・八重山人の亡命について

下地 和宏

復帰前の映像にみる宮古上布の現場ー2月定例会を拝聴して

下地 和宏

嘉靖元年の玄屯平良之頭職に任命を考えるー1月定例会を終えて

下地 和宏

平良彦一先生没後六十周年に思う

岩本 文一

慶世村恒任編著 註釈・曲譜付『宮古民謡集』第一輯

下地 和宏

「東洋」と「西洋」をつなぐ密牙古人

大西 威人

シンポジウム 宮古諸島における十五～十七世紀の集落

ー残された「モノ」から読み解く

久貝 弥嗣

展示会 グスク時代～近世琉球期の集落遺跡

久貝 弥嗣

『宮古の史跡を訪ねて』ワーキングチームの進捗報告

忠導氏仲宗根家の清掃について

三回忌を迎える 垣花秀武理博を悼む

仲宗根將二

◇232 2019.5 B5 8p

5月定例会レジュメ 「東洋」と「西洋」をつなぐ密牙古人

大西 威人

6月定例会レジュメ

マラリアから読み解く近代宮古島の歴史空間

崎浜 靖

旧三司官富川親方と宮古人亡命—3月定例会を終えて	下地 和宏
第四四回定期総会開かれる	
『綾道 城辺東・北コース』発刊	久貝 春陽
中国北京学界と交流	下地 和宏
『宮古島市総合博物館紀要』第二十三号発行	新田 由佳
『みやこの自然』発行	下地 和宏
松原部落内遺物散布地出土人骨の年代測定	久貝 弥嗣
第十二回 O I S T 学長主催講演会 琉球民族の遺伝的起源	久貝 弥嗣
クラシック音楽通の漫画家 砂川しげひさ氏逝く	仲宗根將二

◆宮古島市総合博物館紀要

〒906-0011宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 TEL0980-73-0567

◇23 2019.3 B5 240p

宮古のサシバ文化	久貝 勝盛
宮古・池間島のカツオ産業文化誌(1)	
—近現代における池間島カツオ産業史の整理と検討	若林良和／川上哲也
宮古島の牧と沖縄北部のマキ	長濱 幸男
仲宗根豊見親「八重山入の時あやこ」私訳解	
—鎮まり治まって豊んだのは宮古嶋だった	下地 利幸
嘉靖元年壬午(1522)を考える—「忠導氏家譜正統」の検証を通して	下地 和宏
宮古の島々の方言呼称、および季節を表す方言	本永 清
字調査報告 東仲宗根編	
與那覇史香／寺崎香織／久貝かおり／新田由佳／砂川奈津子	
「平良(ピサラ=ヒララ)」の形成は港から	
—官庁街・三通り・市場・料亭街	仲宗根將二

寄贈図書紹介

◆収蔵資料調査報告書21 上林味ト家文書

宇治市歴史資料館編・刊 (〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260)

2019年3月 B5 67頁

宇治市歴史資料館が収蔵する資料の目録と解説からなる収蔵資料調査報告書第21冊。「豊臣期から近代にかけての宇治茶師の実態を明らかにする貴重な資料」として、平成29年度 京都府暫定登録文化財に登録された「上林味ト家文書」を収録。『3 上林三入家文書』『6 上林春松家文書』『9 上林春松家文書2』『15 片岡道二家文書』につづく宇治茶師関係文書の5冊目にあたる。宇治茶関係文

献案内／代官にもっとも近い茶師(坂本博司)／同 関係史料翻刻(坂本博司)／上
林味卜家文書目録(小嶋正亮)／収蔵資料調査報告書

◆大山と三徳—その信仰と行事

坂田友宏編著 編集工房遊発行 今井出版発売 2019年3月 A5 335頁
2600円

山岳信仰の聖地 大山と三徳山の信仰と行事を中心とした因伯の民俗に関する8編を収録。序(宮家準)／Ⅰ 大神岳から大山へ—智明権現社成立の前後(坂田友宏)、伯耆大山信仰—その諸相(長谷部八朗)、伯耆大山信仰—縁起に示された大山の霊威(鈴木岩弓)、「弥山禪定」と「もひとり神事」(福代宏)、大山の年中行事と信仰(坂田友宏)／Ⅱ 三徳山信仰(長谷部八朗)、三徳山をめぐる民俗(福代宏)、三徳山の御幸神事—正善院所蔵『年中行事』を中心に(坂田友宏)／資料紹介 「大山西楽院年中行事」(愛知県西尾市立図書館所蔵・写本)、「年中行事」(三徳山正善寺所蔵・平成二十四年の火災により焼失)／あとがき(坂田友宏)

◆後記

PDF版第1号(通号140号)をお届けします。冊子版終刊社告(第138号)及び冊子版終刊号(第139号)発行後、多くの方から労いと共に、冊子版にはPDF版にない良さがあるのに残念とのお便りをいただきました。ありがとうございました。残念な気持ちは筆者も同様ですが、PDF版は速報性において冊子版をはるかにしのぎ、毎号の収録分量にも制限がありません。今後は2か月毎に更新して、レスポンスを高めていきます。

PDF版の利点を活かして、より充実させていきたいと考えていますので、冊子版にも増してご活用ください。併せて変わらぬご支援をお願いいたします。

10月末に『地方史文献年鑑2018』(岩田書院)を刊行しました。地方誌1476誌の書誌情報と1263誌の記事データを収録しています。こちらも是非ご利用ください。
(飯澤)

地方史情報 140 2019年(令和元年)11月 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。